



釧路市平成年表



釧路市教育委員会

発刊にあたって

釧路市長 蝦名 大也

旧釧路市、旧阿寒町、旧音別町の3市町合併1周年を記念して作成された「釧路市統合年表」発刊以降の出来事を取り上げた「釧路市平成年表」を発刊いたしました。

本年表は、市民の皆様から問い合わせの多い平成17年から平成31年までの出来事を取り上げ、合併により新たに誕生した釧路市が歩んできた足跡を記録したものです。

全国的に人口減少や少子高齢化が叫ばれた平成という時代、釧路市では、長年経済活性化に寄与した企業や老舗の商店などが惜しまれてその歴史に幕を下ろした一方で、地域経済の担い手として多くの会社や街の発展を支える組織が誕生いたしました。また、交通網の整備・拡充に伴い利便性が向上したこと、釧路市の魅力的な観光資源をさらに充実させたこと、国内はもとより海外にむけて情報を発信したこと等により、観光客が年々増加したことも平成の時代の特徴です。

本年表は、このような変化の激しい時代に創意工夫を重ねてきた釧路市の足跡を後世に残すという意味を込めています。これまでの出来事を振り返り、これから向かう釧路市の未来への希望を見出すことができれば幸いです。

結びにあたり、本年表の編集にあたり貴重なご意見をいただいた釧路市地域史料調査研究専門委員の皆様、年表に掲載する写真を提供いただいた関係機関の皆様、ご協力をいただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。

凡 例 等

1 年表記載期間

本年表は釧路市統合年表後（平成17年10月～）の平成年代を取り扱った。なお、統合年表記載の平成元年から平成17年までの出来事を付録として添付した。

2 年表記載内容

釧路市及び周辺市町村の出来事を中心に収集し、加えて、その年代の社会情勢等が分かるように、道内及び国内外の出来事を収録した。

3 年表の記載形式

(1) 月日が不明な事項については、「この年」の欄に「○」で表記し、月が明確なものは当該月欄に「*」で表記した。

(2) 年号は和暦と西暦を併用した。

(3) 記号

『 』は、書籍、新聞等刊行物に使用した。

《 》は、絵画や音楽等の芸術作品名に使用した。

「 」は、漢字ひらがな交じりの団体名など、読み方が紛らわしい場合に使用した。

(4) 省略

(株) = 株式会社、(有) = 有限会社、(社) = 社団法人、(学) = 学校法人、(福) = 社会福祉法人、(一財) = 一般財団法人、(公財) = 公益財団法人、(一社) = 一般社団法人、(公社) = 公益社団法人、(特非) = 特定非営利活動法人、(独) = 独立行政法人
他に、法令名等に慣例による略称を使用した事項も多数ある。

4 その他

(1) 人名や地名、団体名等、漢字表記やカタカナ表記など正式な表記を心掛けたが、不明なものについては、出典の表記に従い、統一できないものがある。

(2) 人名については、敬称を省略した。

(3) 会社や団体等の創立周年行事については、30年、50年、80年、100年を基本に掲載した。

(4) 個人や団体等の受賞については大きなもののみ掲載した。

(5) 「主な国内外及び北海道の事項」については、「釧路新聞」「北海道新聞」「読売新聞」「朝日新聞」「毎日新聞」日本放送協会の「キーワードで見る年表 平成30年の歩み」を参考にした。

(6) 出典は、原則として原典あるいは基本資料によったが、必ずしも果たせなかったものもある。

(7) 3市町合併により誕生した釧路市と合併以前の釧路市が混在しているが、出来事の内容により「釧路地区」「旧釧路市」「釧路市」等の使い分けをした。

(8) 釧路市と釧路管内が明確に区分できない事項については、その内容により釧路市とそれ以外の欄に振り分けた。基準があいまいな部分はあるが、年表のねらいである、事実を伝えることを優先した。

(9) 付録の年表（平成元年～平成17年）については、釧路市統合年表の原文を転記し、写真については削除した。

平成17年(2005)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
10	1 釧路市動物園が開園30周年を迎える。 24 3市町合併後の釧路市初代市長に伊東良孝が就任する。 28 3市町合併後の釧路市議会初代議長に草島守之が選任される。	14 郵政民営化関連法が成立する。 31 障害者自立支援法が成立する。
11	8 阿寒湖、風蓮湖、野付湾などのラムサール条約登録が決定する。 10 道道根室浜中釧路線の釧路昆布森地区が供用開始となる。 12 太平洋炭礦早期退職の会が解散する。 17 釧路市は高速情報通信基盤の整備に着手する。	17 マンションやホテルの耐震強度偽装が発覚する。 22 メルケルがドイツ首相に就任する。 25 ユネスコの無形文化遺産に歌舞伎の登録が決定する。 30 人間国宝中村鴈治郎が坂田藤十郎を231年ぶりに襲名する。
12	1 釧路市商店街振興組合連合会が初のホームページを開設する。 4 釧路市と阿寒町、音別町の合併記念式典が行われる。 6 北海道中小企業総合支援センターの女性起業塾が釧路で初めて開催される。 19 釧路警察署ぬさまい橋交番の閉所式が行われる。 20 釧路警察署昭和交番が新設される。 23 釧路空港の国際チャーター便が1月から数えて300便の大台を達成する。 28 釧路星園高等学校出身の岡崎朋美が4大会連続の五輪代表に選ばれる。 30 北大通の村上金物店が閉店する。	12 この年の漢字に「愛」が選ばれる。 22 記録的な降雪と強風により、近畿地方や新潟県で大規模な停電が発生する。
この年		この年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 閉山した太平洋炭礦の82年にわたる採炭技術の歴史を、太平洋炭礦管理職釧路倶楽部が冊子にまとめる。 ○ 釧路市の観光PRポスター「釧路という異国」が「北海道フォトコンベンション2005」の観光ポスター部門で最優秀賞に当たる大賞に選ばれる。 <p>新語・流行語大賞 「小泉劇場」 「想定内(外)」</p>		

平成18年(2006)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>8 北海道中学校スケート・アイスホッケー大会で、釧路市立青陵中学校が優勝、釧路市立鳥取中学校が準優勝、釧路市立景雲中学校が3位と釧路勢が初めて上位3校を占める。</p> <p>21 市民手作り映画祭「くしろフィルムフェスティバル」が初開催される。</p> <p>26 JR根室本線の釧路港西港周辺で鉄道高架化工事が始まる。</p>	<p>1 東京三菱銀行とUFJ銀行が合併、三菱東京UFJ銀行が発足する。</p> <p>23 日本郵政(株)が発足する。</p>
2	<p>4 昭和中央児童センターが完成し、落成記念式が行われる。</p> <p>8 釧路出身の作曲家伊福部昭が91歳で死去する。</p> <p>20 釧路市総合計画の策定に提言を行う、釧路市まちづくり市民委員会が発足する。</p> <p>28 釧路市のホームページで市議会本会議の生中継が始まる。</p>	<p>3 石綿健康被害救済法が成立する。</p> <p>22 北海道のタンチョウ生息状況一斉調査で、生息数が初めて1000羽を超える。</p> <p>23 トリノオリンピック女子フィギュアスケートで荒川静香がアジア人初の金メダルを獲得する。</p>
3	<p>1 3市町合併により最後となる『音別町史』が発刊される。</p> <p>5 アイスホッケーの日本製紙クレインズが第73回全日本選手権大会で王子製紙レッドイーグルスを破り、初優勝を果たす。</p> <p>10 釧路、根室、十勝管内のすべての110番通報を、道警釧路方面本部通信指令室で一括して受理する新システムの運用が開始される。</p> <p>16 釧路市は日本製紙釧路工場と災害時にティッシュペーパーなどの日用品の無償提供を受ける支援協定を締結する。</p> <p>21 雌阿寒岳が1998年11月9日以来7年ぶりに小噴火する。</p> <p>31 釧路市文化団体連絡協議会が50周年を迎え、創立50周年記念誌『創造と継承の歩みII』を発刊する。</p>	<p>20 野球の第1回WBCで日本が優勝する。</p> <p>31 NTT東日本とNTT西日本のICカード公衆電話とICテレホンカードが廃止される。</p>
4	<p>1 春採保育園が民営化され、市内2か所目の子育て支援センターが併設される。</p> <p>1 介護保険法改正に伴う、地域包括支援センターが市内6か所でオープンする。</p> <p>1 北海道立釧路芸術館に指定管理者制度が導入される。</p> <p>1 釧路市高山の釧路広域連合清掃工場が本格稼働する。完成式は18日。</p> <p>1 釧路市は「自然の番人宣言」を行う。</p> <p>3 (株)釧路厚生社のS&K環境ワクチンセンター釧路事業所が完成し、下水道の汚泥処理などを始める。</p> <p>13 釧路空港で世界最高水準の着陸システム「カテゴリーⅢb」の運用が始まる。</p> <p>16 日本建築学会北海道支部の第31回北海道建築賞に、釧路市こども遊学館が選ばれる(最優秀にあたる北海道建築賞は、第27回の札幌ドームの設計以来)。</p>	<p>1 地上デジタルテレビ放送のワンセグが開始される。</p> <p>1 高齢者虐待防止法が施行される</p> <p>8 釧路管内でフットサルの振興を目指す、釧路フットサル連盟が発足する。</p> <p>20 北海道ちほく高原鉄道ふるさと銀河線が廃止される。</p> <p>20 北海道初のプロバスケットボールチーム レラカムイ北海道が設立される。</p>
5	<p>4 文芸誌『北海文学』を主宰し、道東文壇をリードしてきた鳥居省三が死去する。</p>	<p>1 会社法が施行される。</p>

平成18年(2006)

	<p>12 阿寒町タンチョウ鶴愛護会が釧路市タンチョウ鶴愛護会として再スタートを切る。</p> <p>20 全日本女子アイスホッケー選手権大会で2年連続日本一に輝いた六花亭ベアーズの優勝祝賀会が開かれる。</p> <p>26 釧路市漁業協同組合の濱隆司組合長が金井俊一の後を受け、釧路水産協会会長に選任される。</p>	<p>12 キトラ古墳の壁画『白虎』が、奈良文化財研究所飛鳥資料館で公開される。</p> <p>13 今金町で国内26例目のBSE感染牛が見つかる。</p> <p>31 出納長、収入役を廃止、助役を副市町村長とする地方自治法が参議院本会議で成立する。</p>
6	<p>1 釧路市音別町、白糠町、鶴居村、幌呂の4農協が合併して釧路丹頂農業協同組合が発足する。</p> <p>1 釧路産炭地域総合発展機構が釧路地方の炭鉱遺産を紹介したDVD『炭鉱遺産を訪ねて』の一般販売を始める。</p> <p>5 合併前の3市町の団体を統合した交通安全運動推進委員会の設立総会が開かれる。</p> <p>17 「くしろ港町ビールビアクラブ友の会」の第100回記念例会が行われる。</p> <p>30 釧路を代表する水産会社金井漁業(株)(1919年創業)が私的整理に関するガイドラインに基づく再建計画を発表する。</p>	<p>1 北海道で地上デジタルテレビ放送が始まる。</p> <p>1 火災予防条例により、新築住宅への火災報知器の設置が義務付けられる。</p> <p>3 シンドラーエレベーター(株)社製のエレベーターが誤作動する。</p>
7	<p>2 日中韓観光担当大臣会合が、ニュー阿寒ホテルで行われる。</p> <p>4 合併後の市歌を決める釧路市の歌選定委員会が、採択した歌詞の原案を答申する(歌詞は宮川正男の作品を補作したもの)。</p> <p>14 釧路市は「交通安全都市宣言」を行う。</p> <p>15 日本基督教団釧路教会が100周年を迎え、記念行事が行われる(～16日)。</p> <p>15 市民参加劇 『アイス運送人吉良平治郎』の公演が行われる(～16日)。</p> <p>16 釧路川下流で手こぎの渡し舟が半世紀ぶりに復活する(愛称「釧路ゆめこい渡し」)。</p> <p>20 豪華客船、飛鳥IIが釧路港に初入港する。</p> <p>30 旧ぬさまい橋交番の跡地に、幣舞観光ガイドステーションがオープンする。</p> <p>31 釧路空港整備促進期成会は、釧路空港のサブネームを「たんちょう釧路空港」とすることを全会一致で承認する。</p>	<p>14 パロマ工業(株)のガス瞬間湯沸かし器事故が明らかになる。</p>
8	<p>1 釧路市は「暴力追放・防犯都市宣言」を行う。</p> <p>2 釧路港が国土交通省の、みなと観光振興の社会実験事業の2006年度モデル港に指定される。</p> <p>2 釧路北陽高等学校が全国高等学校文化連盟の第30回全国高等学校総合文化祭で優秀賞にあたる文化庁長官賞を受賞する(～6日)。</p> <p>5 釧路市大楽毛地域づくり協議会が日本都市計画家協会の北海道支部賞に選ばれ、東京で表彰式が行われる。</p> <p>15 釧路市は「核廃絶平和都市宣言」を行う。</p> <p>20 丸井今井釧路店が閉店する。</p> <p>26 第1回国際民族文化祭ミンタラの前夜祭が開催される。</p> <p>27 桜ヶ岡の新学園台中央町内会が30周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>29 KOM(協同組合くしろデパート)が閉店する(創業昭和39年)。</p> <p>31 新市誕生後初の官民一体の釧路市防災総合訓練が阿寒、音別地区を含む市内各地で行われる。</p>	<p>11 京都大学の山中伸弥教授のグループが「iPS細胞」を作り出すことに成功する。</p> <p>19 バスケットボール世界選手権が日本で初開催される(～9月3日)。</p> <p>20 第88回全国高等学校野球選手権大会決勝で、早稲田実業と駒大苫小牧が決勝戦としては37年ぶりの再試合になる。</p> <p>24 冥王星が太陽系の惑星からはずれる。</p> <p>* 北方4島周辺水域で根室湾中部漁協のカニかご漁船がロシア警備艇に銃撃され、乗組員1名が死亡する。</p>
9	<p>2 釧路市は旧音別町の姉妹都市だった徳島県那賀町と友好都市の調印式を行う。</p>	<p>30 YS-11が、日本国内の定期航路から引退する。</p>

平成18年(2006)

<p>4 市立釧路総合病院の精神神経科の新病棟が完成し、外来診療を開始する。併せてリハビリテーション施設を新設する。</p> <p>5 米坂ヒデノリが母校釧路市立寿小学校に彫刻館トッカリ美術館をオープンさせる。</p> <p>16 (株)大塚製薬工場釧路工場の新工場の竣工式が行われる。</p> <p>17 布伏内ふれあいフェスタが初開催される。</p> <p>21 ホームヘルパー養成スクール「介護のがっこそんぐ」が完成し、落成式を行う。</p> <p>22 釧路駅周辺防災まちづくり協議会が設立総会を開く。</p> <p>24 俳句結社えぞにう社が、創立60周年と俳誌『えぞにう』創刊700号を祝う式典を市内ホテルで行う。</p>	
<p>10 1 障がい者自身が組合員となって企業組合を立ち上げたウェルフェアグループが犬専用のペットショップ「くしろわんこ」をオープンさせる。</p> <p>2 日本司法支援センター(法テラス)釧路地方事務所が業務を開始する。</p> <p>2 初の阿寒湖温泉観光シンポジウムが阿寒湖温泉で行われる。</p> <p>5 日本弁護士連合会主催の第49回人権擁護大会が開かれる。</p> <p>6 児童養護施設、まりも学園が50周年を迎え、休止状態だった後援会が復活する。</p> <p>11 3市町合併後の釧路市誕生1周年記念式典が行われる。</p> <p>11 3市町合併後の釧路市の「歌」「花・木」「市民憲章」が制定される。</p> <p>27 春採公園が、日本の歴史公園100選に選ばれる。</p>	<p>2 「法テラス」が全国で業務を開始する。</p> <p>10 車のご当地ナンバーが17地区で導入される。</p> <p>24 富山県の高校で教科の未履修問題が発覚し、その後全国の高校で未履修問題が発覚する。</p> <p>24 番号ポータビリティ制度が始まる。</p> <p>26 プロ野球日本ハムファイターズが前身の東映フライヤーズ以来44年ぶりの日本一になる。</p> <p>28 自殺対策基本法が施行される。</p>
<p>11 12 化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウムが釧路市観光国際交流センターで開かれる(～14日)。</p> <p>20 釧路市連合町内会会長矢野忠治が2006年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞し、総務省講堂で表彰を受ける。</p> <p>26 全国大学女子アイスホッケー大会が開かれる(～27日)。</p> <p>30 釧路市立寿小学校と釧路市立共栄中学校の肢体不自由児学級「ほほえみ学級」が開設30周年を迎え、記念公開授業が行われる。</p>	<p>7 佐呂間町で竜巻によるものと思われる突風被害が発生、工事現場のプレハブが倒壊する。</p> <p>11 プレイステーション3が発売される。</p>
<p>12 4 釧路市は、釧路市建設事業協会と災害時の復旧活動支援協定を結ぶ。</p> <p>15 第75回全日本スピードスケート選手権大会が開かれる(～17日)。</p> <p>23 北大通で創業80年の老舗、酒類・米穀販売の東梅商店が閉店する。</p>	<p>2 任天堂(株)の家庭用ゲーム機Wiiが日本で販売される。</p> <p>12 この年の漢字に「命」が選ばれる。</p> <p>13 道州制特区推進法が成立する。</p> <p>15 改正教育基本法が成立する。</p>
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市は小学生以下の子供を対象とした予防接種を個別接種に全面移行させる。 ○ 福司酒造(株)が、石炭採掘及び販売の釧路コールマイン(株)の海底坑道を使って清酒を熟成させる「海底力」に取り組む。 ○ 音別地区の酪農家5人が、音別名産のフキのPRのため、「なかよし工房」を設立する。 ○ アミューズメントパーク・スガイ釧路北大通店が営業を停止する。 ○ 釧路川の大切さを次世代に伝える、釧路川元気の会が発足する。 ○ 釧路駅前の複合商業施設ISMが閉館する。 ○ 釧路啄木会が市内で設立され、設立総会が行われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボーダフォン日本法人が、ソフトバンクモバイルに社名変更する。

平成18年(2006)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 音別地区の特産品を道内外に発信する、おんべつまちづくり特産品研究会が発足する。○ 阿寒の郷土芸能丹頂鶴音頭保存会、丹頂ほろろん会が発足する。○ 釧路市は北海道キリンビバレッジ(株)と、災害時の飲料提供協定を結ぶ。 | |
|--|--|

新語・流行語大賞 「イナバウアー」 「品格」

平成19年(2007)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>13 釧路市立鳥取中学校男子剣道部が第7回北海道中学校新人剣道大会の団体戦で釧路勢初の優勝をする。</p> <p>31 釧路パシフィックホテルが再建を断念し、営業を終える。</p> <p>* 釧路空港駐車場の拡張工事が終わる(駐車台数209台増)。</p>	<p>9 防衛庁が防衛省に昇格する。</p> <p>10 (株)不二家の消費期限切れ洋菓子問題が発覚する。</p> <p>21 国内最大級の国立新美術館が開館する。</p>
2	<p>1 釧路市教育委員会と釧路警察署が、子どもの健全育成サポートシステムの協定を結び調印式が行われる。</p> <p>5 釧路新道の市道「星が浦北通」と道道「釧路鶴居弟子屈線」を結ぶ鶴野の3.2キロが開通する。</p> <p>6 第27回全国中学校スケート・アイスホッケー大会で釧路市立青陵中学校アイスホッケー部が学校統合後初優勝する。</p> <p>12 ベスト電器釧路北大通店が閉店する。</p> <p>21 釧路市消防本部は119番通報の発信地を瞬時に特定できる新しい消防緊急システムの運用を開始する。</p>	<p>18 第1回東京マラソンが開催される。</p>
3	<p>3 硬式野球チーム釧路リトルシニア球団の結団式が行われる。</p> <p>12 ホテル、ラビスタ釧路川が完成し、落成式を行う。</p> <p>20 阿寒湖畔で育苗里親制度がスタートする。</p> <p>21 阿寒湖畔スキー場で釧路・根室管内では初の阿寒湖畔スノーボード技術選手権大会が開かれる。</p> <p>23 (社)釧路地方建築協会が創立100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>25 第1回全日本少年アイスホッケー大会が開催される。</p> <p>29 釧路湿原シニア大学第1期生の卒業式が釧路市高齢者生きがい交流プラザで開かれる。</p> <p>29 釧路市老人クラブ連合会、阿寒町老人クラブ連合会、音別町老人クラブ連合会統合の協定書調印式が行われる。</p> <p>30 (独)釧路労災病院が小児科と産婦人科を休診する。</p> <p>30 近海郵船(株)の釧路-東京航路が「ましう」の出港で35年の歴史に幕を下ろす。</p>	<p>6 夕張市が財政再建団体に移行する。</p> <p>31 住宅金融公庫が廃止され、4月1日より(独)住宅金融支援機構になる。</p>
4	<p>1 釧路市と釧路市連合町内会が月に一度の全市清掃を始める。</p> <p>1 市立釧路図書館がインターネットを使った蔵書検索や貸し出し予約などができる新電算システムを稼働させる。</p> <p>1 釧路市医師会と釧路国医師会が一体化する。</p> <p>5 釧路市立中央小学校(寿小、旭小が統合)と同青葉小学校(新川小、駒場小が統合)が開校し、開校式を行う。</p> <p>10 新設された釧路明輝高等学校(釧路北、釧路西、釧路星園の3校が統合)の開校式と入学式が行われる。</p> <p>19 釧路アイスホッケー連盟の矢口正光会長が67歳で死去する。</p> <p>21 釧路初の陸上競技クラブチームとなる釧路アスリートクラブが正式に発足する。</p> <p>28 演劇グループ「ザ・どらま」の旗揚げ公演が行われる(～29日)。</p> <p>30 釧路市立武佐児童館の内部が全焼する。</p>	<p>1 4月以後発売の第3世代携帯電話に位置情報等通知機能搭載が義務化される。</p> <p>3 奈良県明日香村の高松塚古墳の石室解体作業が始まる。</p> <p>8 北海道知事選挙で高橋はるみが再選される。</p> <p>13 生命保険各社による保険金等の不払いが多数判明する。</p> <p>24 小学6年生と中学2年生を対象に、43年ぶりの全国学力・学習状況調査が実施される。</p>
5	<p>2 釧路コールマイン(株)は2007年度から実施する産炭国石炭産業高度化事業の研修生受け入れを行う。</p>	<p>10 熊本市の慈恵病院に「赤ちゃんポスト」が設置される。</p>

平成19年(2007)

	<p>12 国際ソロボチミスト釧路の認証30周年記念式典が行われる。</p> <p>13 女子アイスホッケーチームの六花亭ベアーズが解散する。六花亭釧路が通告を行う。</p> <p>14 釧路市教育委員会が釧路フィッシャーマンズワーフMOO4階に移転する。</p> <p>20 旧釧路市、旧阿寒町、旧音別町の統合による新しい釧路市連合町内会の設立総会が開かれ、新体制がスタートする。</p> <p>25 国内初となる津波による漂流物を止める防護柵、津波スクリーンが完成する。</p> <p>29 (公社)日本港湾協会の通常総会が釧路市で開催され、全国から900人が参加する。</p>	<p>20 ゴルフの石川遼が日本ツアー史上最年少優勝を果たす。</p> <p>25 改正児童虐待防止法が成立する。</p> <p>28 カンス国際映画祭で河瀬直美監督がグランプリを受賞する。</p>
6	<p>3 日本舞踊の寿芳会が50周年を迎え、記念公演を行う。</p> <p>4 釧路市朝市が、くしろ丹頂市場と改名し営業を始める。</p> <p>9 第40回日本女子ソフトボール1部リーグ釧路大会が、釧路市民球場で開催される(～10日)。</p> <p>22 釧路市議会の議会改革等検討協議会が発足する。</p> <p>23 第58回全国水道研究発表会が釧路市観光国際交流センターなどで1600人が参加して開かれる(～25日)。</p>	<p>20 苫小牧市の食品加工業者ミートホープ(株)による食品偽装事件が発覚する。</p> <p>20 教育改革三法が成立する。</p> <p>23 北見市の浄水場に大量の濁水が流れ込み、市のほぼ全域が断水する。</p> <p>24 苫小牧市で第58回全国植樹祭が開催される。北海道での開催は46年ぶりとなる。</p>
7	<p>1 米町2で、かねさしショップを経営するカネサ佐藤商店が、91年の歴史に幕を下ろす。</p> <p>9 釧路市農業担い手育成推進協議会が設立される。</p> <p>28 西消防署音別支署と音別町コミュニティセンターの多目的施設が完成し、落成記念式典が行われる。</p>	<p>14 屈斜路湖畔の国立公園敷地内で原生林の大規模な違法伐採が発覚する。</p> <p>16 震度6強の新潟県中越沖地震が発生する。</p> <p>29 第21回参議院議員通常選挙で民主党が大躍進し、参議院第1党になる。</p>
8	<p>18 鶴野東1号公園が完成し、供用を開始する。</p> <p>25 第2回国際民族文化祭ミントラが開催される(～26日)。</p> <p>26 第22回釧路湿原全国車いすマラソン大会に、重度障がい者のためのショートコースが新設される。</p> <p>31 北大通の山下書店が閉店する。</p>	<p>1 根室市が市制施行50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>9 サブプライムローンの焦げ付き問題で世界同時株安となる。</p> <p>30 尾瀬国立公園が誕生する。</p>
9	<p>2 釧路ライオンズクラブ50周年記念事業で萩本欽一率いる茨城ゴールデンゴールズが北海道マーリンズとオープン戦を行う。</p> <p>4 市立釧路総合病院がへりポートの供用を開始する。</p> <p>8 釧路北陽高等学校が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>14 障がい者や高齢者、生活保護受給者、母子家庭の人たちが共に支え合い生活・就労するコミュニティハウス冬月荘が開設される。</p> <p>17 羽生輝の作品《海霧》が創画展の最高賞「創画会賞」を受賞し、授賞式が行われる。</p> <p>22 iPodを観光客に貸し出し、観光情報を提供する社会実験が釧路空港で3日間行われる。</p> <p>23 コーブさっぽろ富士見店が閉店する。</p> <p>29 トリノ五輪金メダリストの荒川静香選手らが出演するプリンスアイスワールド2007が釧路アイスアリーナで開催される。</p>	<p>13 インドネシア・スマトラ島沖でマグニチュード8.4の地震が発生し大きな被害が出る。</p> <p>14 月周回衛星「かぐや」の打ち上げが成功。</p> <p>19 飲酒運転ドライバーの罰則が強化される。</p> <p>26 福田康夫内閣が成立する。</p> <p>28 富士スピードウェイで1977年以来30年ぶりのF1が開催される(～30日)。</p> <p>30 NHKBSアナログハイビジョン放送が終了する。</p>
10	<p>14 昭以南6丁目町内会が発足し、設立総会が行われる。</p>	<p>1 気象庁が緊急地震速報の運用を開始する。</p>

平成19年(2007)

	<p>22 釧路コールマイン(株)はベトナム大手炭鉱会社マオケー石炭会社と技術協力に関する覚書に調印する。</p> <p>30 釧路市や釧路コールマイン(株)などが、バイオディーゼル燃料製造のための釧路BDF研究会を設立する。</p> <p>31 最後となる第30回くしろ菊まつりが開幕する(～11月4日)。くしろ菊まつり会は翌年1月16日に解散総会を行う。</p>	<p>1 (株)マルハと(株)ニチロが経営統合し、(株)マルハニチロホールディングスを設立する。</p> <p>1 郵政民営化に伴い、日本郵政公社が解散する。</p> <p>21 道東自動車道の十勝清水～トマム間が開通する。</p> <p>26 英会話学校の(株)NOVAが会社更生法の適用を申請する。</p>
11	<p>8 日本を代表するジャズイベント、富士通コンコードジャズフェスティバルが釧路市生涯学習センターで行われる。</p>	<p>1 プロ野球日本シリーズで中日ドラゴンズが勝利し、53年ぶり2度目の日本一になる。</p> <p>20 京都大学の山中教授らがiPS細胞の作製成功を科学誌『Cell』に発表する。</p> <p>29 道東5地区のアイヌ民族文化保存団体が、連合組織アイヌ文化道東連合保存会を立ち上げる。</p>
12	<p>1 (医)釧路孝仁会記念病院が開院する。</p> <p>2 釧路交響楽団が、30回記念定期演奏会を開催する。</p> <p>7 バレーボール第3回北海道新人大大会が釧路で初開催される。</p> <p>15 武田信玄の幻の軍師、山本勘助の存在が確認された釧路市指定有形文化財『市河家文書』が一般に初公開される。</p> <p>16 津軽三味線家元澤田勝秋流澤田連合勝愁会が発会記念大会を開催する。</p> <p>22 全日本スプリントスピードスケート選手権大会が釧路市で開催される(～23日)。</p> <p>24 第2回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会で釧路選抜が初優勝を飾る。</p> <p>27 新釧路川に沿って走る釧路市道「新釧路川右岸通」が開通する。</p>	<p>1 気象庁は全国108の活火山を対象に噴火警報のシステムをスタートさせる。</p> <p>1 コンサドーレ札幌がJ2で優勝し、J1に昇格する。</p> <p>12 この年の漢字に「偽」が選ばれる。</p>
この年		この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北大通の活性化を目指す北大通都心部青年会が発足する。 ○ 釧路湿原のタンチョウの死骸複数から多量の水銀が検出される。 ○ 阿寒湖畔で自転車をそのまま載せるバス「りんりん号」が運行を開始する。 ○ 釧路市が(公社)日本観光振興協会の主催する第1回産業観光まちづくり大賞の銀賞を受賞する。 ○ 国の特別天然記念物「マリモ」とは別種の「タテヤママリモ」が阿寒湖で見つかる。 ○ くしろ港町ビールが事業を停止する。 ○ 建築家毛綱毅曠の《反住器》が、国際団体ドコモモ・ジャパンの選定建築物となる。 ○ 米内印刷(株)が自己破産する。 <p>新語・流行語大賞 「どげんかせんといかん」 「ハニカミ王子」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消えた年金問題、全国で調査を開始する。

平成20年(2008)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>13 第28回北海道中学校スケート・アイスホッケー大会のアイスホッケー競技決勝で、釧路市立北中学校は3年ぶりの優勝を果たす。</p> <p>21 クジラをイメージしたユニークな外観の釧路港津波漂流物対策施設が完成し、釧路開発建設部が完成式典を行う(愛称:ケーたん)。</p> <p>31 釧路港船舶通航信号所が廃止され、今後は釧路埼灯台に名称を変え、引き続き気象情報を提供する。</p>	<p>7 NTTドコモがPHSサービスを終了する。</p> <p>9 年賀はがき用再生紙はがきの古紙配合率偽装が発覚する。</p> <p>25 北海道のタンチョウ生息状況一斉調査で、前年度比214羽減少する。</p> <p>30 中国製餃子による食中毒事件が発生する。</p>
2	<p>2 第1回くしろ水産食品まつり(釧路水産協会主催)が始まる。</p> <p>11 全国中学アイスホッケー大会で釧路市立青陵中学校が2連覇を果たす。2位は釧路市立北中学校。</p>	<p>3 関東地方の大雪で、首都高速道路や空港など、交通機関に大きな影響が出る。</p> <p>3 JR北海道の「SL冬の湿原号」が乗客累計15万人を達成する。</p>
3	<p>8 北海道立釧路高等看護学院は、35年の歴史に終止符を打ち、閉校式と最後の卒業式を行う。</p> <p>19 マリモを擬人化したキャラクター「まりもっこり」の公式ソングが全国発売される。</p> <p>22 釧路市医師会が運営する釧路市夜間急病センターの完成記念式典が行われる。4月1日から診療を開始する。</p> <p>24 釧路市立布伏内小学校で釧路市への校旗返還式が行われ、閉校する。</p> <p>24 釧路ガス(株)は、都市ガスを石油系ガスから天然ガスに転換する。</p> <p>24 アイスホッケーアジアリーグ2007-08で、釧路市が「ホッケータウン・イン・アジア」に選ばれる。</p> <p>30 釧路市消防団・阿寒町消防団・音別町消防団が統合、結団式が行われる。18分団で新消防団がスタートする。</p> <p>31 釧路市材木町の東釧路交番が廃止される(55年の歴史に幕)。</p>	<p>10 「木の城たいせつ」が自己破産を申請する。</p> <p>14 国際宇宙ステーションに日本初の実験棟「きぼう」が設置される。</p> <p>28 イー・モバイルが携帯電話音声通話サービスを開始する。</p> <p>31 小樽短期大学が閉校する。</p> <p>31 KDDIがツーカー携帯電話サービスを終了する。</p>
4	<p>1 釧路市立釧路小学校が開校する(日進小、東栄小、柏木小が統合)。</p> <p>1 市立釧路図書館が指定管理者制度に移行し、開館時間が延長される。閉館は午後7時30分になる。</p> <p>19 (財)MOA美術・文化財団の釧路支部が発足する。</p>	<p>1 京セラ(株)が、三洋電機(株)の携帯電話事業を買収する。</p> <p>1 特定健診・特定保健指導を義務化する。</p> <p>1 後期高齢者医療制度がスタートする。</p> <p>24 政府主催の日系ブラジル人移民100周年記念式典が行われる。</p>
5	<p>8 釧路星園高等学校出身の佃咲江が北京五輪自転車競技トラックレース日本代表に選ばれる。</p> <p>24 釧路市動物園で足に障害のあるアムールトラの「タイガ」と「ココア」が生まれる。</p> <p>* (独)中小企業基盤整備機構北海道支部が釧路オフィスを開設する。</p>	<p>15 弁当店プレナスが、「ほっともっと」ブランドを立ち上げる。</p>
6	<p>5 第50回日本公園緑地全国大会が、釧路市観光国際交流センターで開催される。道内での開催は30年ぶりとなる。</p>	<p>6 アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議案を採択する。</p>

平成20年(2008)

	<p>6 阿寒農業協同組合の阿寒TMRセンターが完成し、竣工・安全祈願祭が行われる。</p> <p>7 千代ノ浦マリンパークが完成し、記念式典が行われる。</p> <p>9 釧路市地域公共交通活性化協議会が発足し、初会合を開く。</p>	<p>8 東京・秋葉原で無差別殺傷事件が発生する。</p> <p>14 岩手・宮城内陸地震が発生する。</p> <p>28 支庁制度改革条例が成立する。</p>
7	<p>1 釧路管内路線価で北大通5が9年連続前年割れとなる。</p> <p>5 くしろ環境カルタが、お披露目される。</p> <p>7 クルーズ船を歓迎する「釧路港おもてなし倶楽部」が結成される。</p> <p>8 旧五十嵐邸が初めて一般公開される。</p> <p>8 釧路市中心街再生事業の中核、まちづくり釧路が設立される。</p> <p>26 第100回記念釧路種馬共進会が大楽毛共進会場で開催される。</p>	<p>4 「ダビング10」が運用を開始する。</p> <p>7 北海道洞爺湖サミットが開かれる(～9日)。</p> <p>11 日本でiPhoneの発売がスタートする。</p>
8	<p>1 釧路川の工事現場で不発弾が見つかる。</p> <p>4 釧路市動物園で、国内で初めてクマタカの人工ふ化に成功する。</p> <p>13 くしろ湿原ノロッコ号の累計乗客数が100万人を達成する。</p> <p>16 釧路新花火大会の第50回記念大会が開催される。</p> <p>21 釧路聖徳太子講が創立100周年を迎え、記念石碑除幕式や記念式典を行う。</p> <p>27 釧路市丹頂鶴自然公園が、開園から50年を迎える(1958年8月27日開園)。</p>	<p>8 北京オリンピックが開幕する。</p> <p>18 燃料価格高騰による窮状を訴えるため、全国サンマ棒受け網漁船約230隻が一斉休漁に入る。</p> <p>31 JR北海道の夜行特急「まりも」が、運行を終了する。</p> <p>* 日本は、北島康介をはじめとする9個の金メダルを獲得する。</p>
9	<p>11 (株)釧路日商連が民事再生法の適用を申請し経営破綻する。</p> <p>21 全釧路剣道連盟の男子中学生選抜チームが、第19回北海道中学生剣道錬成大会で初優勝する。</p> <p>27 美原の大規模運動公園に総合体育館「湿原の風アリーナ釧路」がオープンする。</p> <p>29 日本振興銀行(株)が末広町にオープンする。</p> <p>30 釧路赤十字病院と(独)釧路労災病院が、医療事故防止や感染対策の相互点検、評価を始める。</p>	<p>15 リーマンブラザーズ証券が経営破綻する。リーマンショックが起こる。</p> <p>24 麻生太郎内閣が成立する。</p>
10	<p>20 阿寒ビューホテルが閉館する。</p> <p>25 第45回全日本トランポリン競技選手権大会が「湿原の風アリーナ釧路」で開催される。釧路市での全国大会は初(～26日)。</p>	<p>1 (株)日本政策金融公庫が発足する。</p> <p>1 松下電器産業が社名をパナソニック(株)に変更する。</p> <p>7 小林誠、益川敏英、南部陽一郎、3名のノーベル物理学賞受賞が決定する。</p> <p>8 下村脩のノーベル化学賞受賞が決定する。</p> <p>14 (株)北洋銀行と(株)札幌銀行が合併する。合併後の銀行名は(株)北洋銀行。</p> <p>25 JR北海道がICカード「Kitaca」を導入する。</p>
11	<p>2 釧路市長選挙で即日開票の結果、蝦名大也が当選する。</p> <p>9 釧路市動物園開園当時から人気があったアフリカゾウ「ナナ」が死ぬ。</p>	<p>1 パナソニック(株)が三洋電機(株)を買収する。</p>

平成20年(2008)

	<p>15 釧路市立朝陽小学校の開校50周年記念式典が行われる。</p> <p>17 JR根室線新大楽毛-新富士間の鉄道高架工事が完了する。</p> <p>18 雌阿寒岳が2年8か月ぶりに小噴火する。</p> <p>20 釧路点訳奉仕「はなあかり会」の発足30周年記念式典が行われる。</p> <p>24 釧路では17年ぶりのバスケットボール女子「Wリーグ」公式戦が「湿原の風アリーナ釧路」で行われる。</p> <p>27 釧路少年鑑別所後援会の創立30周年記念式典が行われる。</p>	
12	<p>2 市立釧路図書館と釧路工業高等専門学校(高専)図書館が連携協力事業を行うための覚書を交わす。</p> <p>12 道道「山花鶴丘線」の拡幅工事が終了し、全線開通する。</p> <p>20 武佐児童センターが開館し、落成記念式典を行う。</p> <p>28 釧路市生涯学習センター9階のレストラン「ポルト」が閉店する。</p>	<p>1 刑事裁判への被害者参加制度がスタートする。</p> <p>12 この年の漢字に「変」が選ばれる。</p> <p>31 新宿コマ劇場がこの日を最後に閉館する。</p>
この年		この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市の3病院(市立釧路総合病院、釧路市医師会病院、釧路市労災病院)の循環器内科を集約する。 ○ 日本画家・羽生輝の作品が日本画界最高峰の第35回創画会展で「創画会賞」に決まる。道内初の同会会員に推挙される。 ○ 国土交通省が設定した「潜在力のあるまち」に釧路市阿寒湖温泉が選ばれる。 ○ 釧路市スポーツ振興財団が、釧路根室圏総合体育館「湿原の風アリーナ釧路」の指定管理者に選定される。 <p>新語・流行語大賞 「アラフォー」 「グ〜!」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本各地でゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な激しい雷雨による被害が多発する。 ○ アメリカの金融危機のあおりを受けて日経平均株価が下落を続ける。 ○ 冷凍インゲンなど中国から輸入した食品から相次いで有毒物質が検出される。 ○ アイスホッケーチームSEIBUプリンスラビッツの今季限りでの廃部が決定する。

平成21年(2009)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>19 (特非)こぶし作業所が旧東栄小学校に移転し、活動を再開する。</p> <p>20 ガレットを広めようと有志が、「それいけ!北のガレット大作戦会議」を設立し、設立総会を開く。</p> <p>28 台湾の復興航空による初のチャーター便が釧路空港に到着する。</p> <p>28 釧路市は、(一社)北海道LPガス協会釧路支部及び釧路根地方石油業協同組合と災害時の物資調達に関する協定を締結する。</p>	<p>20 第44代米大統領にバラク・オバマが就任する。初の黒人大統領誕生。</p> <p>23 作曲家遠藤実が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>29 (株)丸井今井が札幌地方裁判所に民事再生法適用を申請する。</p>
2	<p>12 幣舞橋のもとにラッコが現れ、3か月にわたり人気者になるクーちゃんフィーバーが起こる。</p> <p>15 初の「くしろ検定」が釧路キャッスルホテルで行われる。受験者が250人を超える。</p>	<p>7 オーストラリア・メルボルン近郊で大規模な山火事が発生する。</p> <p>22 映画『おくりびと』がアカデミー賞最優秀外国語映画賞に選ばれる。</p>
3	<p>7 スピードスケートの名門として知られる道内唯一の公立女子高等学校、釧路星園高等学校の閉校式が行われる。</p> <p>15 釧路市立仁々志別中学校が閉校式を行う。</p> <p>31 釧路フィッシャーメンズワーフMOOがリニューアルを終える。</p> <p>31 釧路市厚生年金体育館(柳町)が営業を終える。</p>	<p>10 日経平均株価終値がバブル崩壊後の最安値を更新する。</p> <p>16 宇宙飛行士の若田光一が日本人初となる宇宙での長期滞在を行う。</p> <p>31 モバイル放送サービスが終了する。</p> <p>31 将棋の中原誠永世名人が現役を引退する。</p>
4	<p>10 釧路市と早稲田大学大学院公共経営研究科が人材育成や、産業振興、教育などの分野で包括的な協定を締結する。</p> <p>16 阿寒湖「まりむ館」の落成式が行われる。</p> <p>20 釧路市建設事業協会、阿寒建設協会、音別建設協会が合併する。 * (医)三慈会が釧路市医師会病院の事業を継承する。</p>	<p>1 根室管内のJA上春別、JA西春別、JAべつかい、JA根室の4農協が合併し生乳生産量日本一の「道東あさひ農協」が誕生する。</p> <p>30 アメリカの自動車大手、クライスラーが経営破綻する。</p>
5	<p>9 自主夜間中学「くるかい」が開校する。</p> <p>10 第63回愛鳥週間全国野鳥保護のつどいが釧路市観光国際交流センターで開かれ、常陸宮夫妻がご出席される。</p> <p>10 釧路市丹頂鶴自然公園の高橋良治名誉園長が環境省の日本鳥類保護総裁賞を受賞する。</p> <p>27 釧路市有形文化財『市河家文書』が山梨県教育委員会に売却される。</p>	<p>21 裁判員制度が施行される。</p>
6	<p>4 横浜開港150周年を記念したクルーズの参加者を乗せた旅客船「ふじ丸」が釧路に寄港する。</p>	<p>1 自動車会社ゼネラルモーターズが経営破綻する。</p> <p>11 世界保健機構が、新型インフルエンザのパンデミックを宣言する。</p>
7	<p>1 釧路市議会事務局が市議会のインターネット録画放映を開始する。</p> <p>1 一般旅券(パスポート)の発給申請受理・交付窓口が釧路市役所に開設される。</p> <p>12 大型荷役機械ガントリークレーンが釧路港西港に陸揚げされ、設置される。</p> <p>18 エストニアのエレルヘイン少女合唱団が釧路公演を行う。</p> <p>29 釧路市立青陵中学校軟式野球部が第60回北海道中学校軟式野球大会で初優勝し、全国大会に出場する。</p>	<p>1 俳優の森光子が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>16 トムラウシ山、美瑛岳でトレッキングツアー客ら2グループが遭難し、死者10名、負傷者9名を出す事故が起きる。</p> <p>19 国際宇宙ステーションで日本が担当する実験棟「きぼう」が完成する。</p> <p>24 弟子屈飛行場が廃止される。</p>
8	<p>4 釧路港は、明治32年8月4日の開港から110年、明治42年の築港事業着手から100年を迎える。</p>	<p>30 第45回衆院選で民主党が308議席を獲得し、大勝する。</p>

平成21年(2009)

	<p>6 『新釧路音頭』が完成する。作詞:渡邊政之、作曲:二橋潤一。</p> <p>25 釧路市動物園のアムールトラ「タイガ」が急死する。</p> <p>28 釧路市で初となる全市一斉「ノーマイカーデー」が実施される。</p>	
9	<p>6 釧路市立興津小学校が開校30周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>7 道は北海道求職者総合支援センターを釧路フィッシャーマンズワーフMOO2階に開設する。</p> <p>12 創業111年の(株)勉強堂ハマノ薬局が閉店する。</p> <p>14 第1回全国・釧路女相撲大会が鳥取神社で開かれる。</p> <p>* 中山茶紙店が創業100周年を迎える。</p> <p>* 火災で焼失した老舗菓子店二幸が鶴ヶ岱1に新しく店舗と工場をオープンする。</p> <p>* JR釧路駅の釧路ステーション画廊が月末で閉館する。</p>	<p>1 消費者庁が発足する。</p> <p>16 麻生内閣が総辞職し、民主・社民・国民の3党による鳩山由紀夫内閣が成立。15年ぶりの非自民政権が誕生する。</p> <p>30 西武百貨店札幌店が閉店する。</p>
10	<p>4 鶴ヶ岱暁自治会は、創立50周年を記念し式典を行う。</p> <p>5 道東ドクターヘリの運航が開始される。</p> <p>20 作家の原田康子が81歳で死去する。</p> <p>24 道東書道連盟は50回目の開催を迎えた道東書道展と連盟創立20周年を祝う記念式典を行う。</p>	<p>6 北海道日本ハム・ファイターズが2年ぶりにリーグ制覇する。</p> <p>15 井山裕太8段が囲碁の最年少名人になる。</p> <p>24 北海道横断自動車道の占冠IC-トマムIC間が開通する。</p>
11	<p>3 釧路市民文化会館が開館30周年となる(開館1979年11月3日)。</p> <p>10 丸井今井が釧路市内での営業を再開する。</p> <p>13 釧路江南高等学校蝦夷太鼓部が、全道高等学校郷土研究発表大会で9年連続となる最優秀賞に輝く。</p> <p>19 釧路海上保安部は、2代目巡視船「いしかり」の解役式を行う。</p> <p>21 釧路市子ども遊学館の入場者が50万人の大台を達成する。</p> <p>28 「釧路ゆうやけライオンズクラブ」の結成式が行われる。</p> <p>30 釧路霧笛保存会が設立される。</p>	<p>4 トヨタ自動車がF1撤退を発表する。</p> <p>5 国内初のプルサーマル発電を開始する。</p> <p>11 行政刷新会議が、事業仕分けを開始する。</p> <p>14 イギリスの寝台列車オリエント急行の定期列車が廃止される。</p>
12	<p>3 このシーズンのししゃも漁獲量は、釧路港が252トンで1位になる。</p> <p>11 釧路市は「定住自立圏中心市宣言」を行う。</p> <p>27 釧路市動物園に動物慰霊碑「いのちの碑」が完成し、除幕式と慰霊祭が行われる。</p> <p>28 スピードスケート女子500メートルで岡崎朋美選手が日本女子初となる5大会連続冬季五輪代表入りを決める。</p> <p>30 美原公設小売市場が開設から30年で閉鎖される。</p>	<p>12 この年の漢字に「新」が選ばれる。</p> <p>22 俳優の森繁久彌が国民栄誉賞を受賞する。</p>
この年		この年
	<p>○ 80年前に当時の商工会議所が発行した『釧路大観図絵』の復刻版をささき画廊が製作する</p> <p>○ 釧路川リバーサイド整備事業で、夏から旭橋-鉄橋間に着手する。</p> <p>○ FMくしろは、第4回北海道コミュニティ放送賞の番組部門で大賞を受賞する。</p> <p>○ 釧路鳥取報恩会が120周年を迎える。</p> <p>○ 釧路市埋蔵文化財調査センターは国の指定史跡、東釧路貝塚で縄文時代前期の貝塚1カ所、同時代の竪穴式住居2カ所を新たに発掘する。</p> <p>新語・流行語大賞 「政権交代」</p>	<p>○ プロゴルファー石川遼選手がゴルフツアー史上最年少(18歳2か月)の賞金王に輝く。</p>

平成22年(2010)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>12 スーパーを展開する(株)妹尾商店が釧路地方裁判所に自己破産を申請する。</p> <p>19 国際宇宙ステーションに滞在する宇宙飛行士野口聡一と釧路の子供たちとの交信が行われる。</p> <p>19 阿寒湖のマリモ保全対策協議会の設立に伴う、設立記念シンポジウムが行われる。</p> <p>20 13年ぶり4回目となる第59回全国高校総体スケート・アイスホッケー競技選手権大会が釧路市で開幕する。</p> <p>27 第65回国体冬季大会、くしろサッポロ氷雪国体スケート・アイスホッケー競技会が釧路市で開幕する。</p>	<p>1 日本年金機構が発足する。</p> <p>1 肝炎対策基本法が施行される。</p> <p>12 ハイチでマグニチュード7.0の直下型の地震が発生し、被害が甚大となる。</p> <p>19 日本航空(株)が会社更生法の適用を申請する。</p>
2	<p>6 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会がサントリーホールで自主公演を行う。</p> <p>15 韓国系の金融機関、あすか信用組合が釧路支店を札幌支店に統合し、釧路から撤退する。</p> <p>16 釧路地方裁判所で初の裁判員裁判が始まる。</p> <p>22 (独)釧路労災病院内に病院内のコーヒー店としては初のドトールコーヒーが開店する。</p>	<p>12 バンクーバー冬季オリンピックが開幕する(~28日)。</p> <p>27 南米西部で発生した地震により根室で1m、釧路で70cmの津波を確認する。</p>
3	<p>1 阿寒町の国有林で道内初のボランティアハンターによるエゾシカ駆除が始まる。</p> <p>19 釧路港の霧笛が廃止になり、釧路海上保安部が霧信号廃止式典を行う(84年の歴史に幕)。</p> <p>24 釧路市と釧路町が定住自立圏の形成協定を結び、調印式が行われる。</p> <p>29 釧路市消防団が、2009年度末で統合される第5分団と第7分団の解団式と新設される五七分団の結団式を行う。</p>	<p>31 現行市町村合併特例法の期限が切れ、「平成の大合併」が終わる。</p> <p>31 高校授業料が実質無償化となる法律が成立、1日から施行する。</p>
4	<p>1 北海道の支庁制度改革で釧路支庁が釧路総合振興局となる。</p> <p>1 釧路市上下水道サービス課の大部分の業務が民間委託される。</p> <p>1 釧路市消防本部は、中央・西の2消防体制をスタートさせる。</p> <p>1 釧路水産試験場が地方独立行政法人となる。</p> <p>1 釧路土木現業所が釧路建設管理部と名称変更になる。</p> <p>19 午前9時50分ごろ、音別町直別のJR駅北東側で野火が発生する。</p>	<p>1 北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例が施行される。</p> <p>21 英会話学校大手の(株)ジオスが破綻する。</p> <p>22 三井アウトレットパーク北広島がオープンする。</p>
5	<p>6 イトーヨーカドー南側に移った鳥取支所が開所する。</p> <p>7 釧路市は釧路公立大学地域経済研究センターと釧路市都市経営戦略会議を立ち上げ、第1回会議を行う。</p> <p>10 通信事業を手掛ける(株)日本総合施設の釧路営業所(阿寒町布伏内)が事業を開始する。</p> <p>17 釧路市は、バンクーバーオリンピックで活躍した岡崎朋美選手と出島茂幸選手に市長特別表彰を贈呈する。</p>	<p>21 金星探査機「あかつき」が打ち上げられる。</p> <p>28 アップルの多機能端末「iPad」が発売される。</p>
6	<p>8 阿寒農業協同組合は、釧路市桜田の釧路TMRセンターの竣工式と安全祈願祭を行う。</p> <p>14 釧路東水冷凍の窒素氷の自動製氷工場が完成し、稼働する。</p> <p>17 釧路霧笛保存会が最後の霧笛の響きを録音したCDを発売する。</p> <p>21 道内大手テレマーケティングのコールセンター総合サービス(株)アイティ・コミュニケーションズ釧路支社の開所式が行われる。</p>	<p>8 菅直人内閣が成立する。</p> <p>13 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還する。</p>

平成22年(2010)

	23 釧路市と浜中町、鶴居村は定住自立圏の形成協定を結び、調印式を行う。	28 地方高速道路の一部を無料にする社会実験が始まる。
7	2 釧路市は、大楽毛海岸でハマナス群落修復作業を行う。 5 酒類卸売商、(株)敷島商会在事務所を閉鎖し、事業を停止する。 16 釧路港西港で不発弾が見つかる。	
8	5 亜細亜大学硬式野球部が大学野球チームとしては初めて釧路市で強化合宿を行う(14日間)。 6 旭小学校跡地をスーパーチェーンの(株)福原が落札する。 6 白樺台地区にビッグフーズひろせ白樺店が開店する。 6 釧路市民球場屋内練習場が完成し、竣工式を行う。 23 釧路市内の企業や行政が集まり、釧路市木質バイオマス燃料化策定委員会を設立する。 25 22年ぶりに「阿寒湖のマリモ」の個体数調査が行われる(～31日)。 25 阿寒湖のパンケーターで着生型マリモの群生を初確認する。 28 釧路版事業仕分けが行われる。	5 南米チリのサンホセ鉱山の大规模な落盤事故で、地下に閉じ込められた33人が、69日ぶりに奇跡的に救出される。
9	1 エヌシーくしろが(株)エヌシーおびひろの子会社としてオープンする。 1 道東の観光と物産をPRする、釧路地域活性化協議会などの訪問団が中国・上海に向けて出発する。 11 釧路校歌を保存する会が第6回釧路・校歌を歌う会を開き、6年間の活動に終止符を打つ。	2 秋サケ定置網漁で、マグロがまとまって水揚げされる。 7 尖閣諸島沖で中国漁船衝突事件が発生する。 10 日本振興銀行(株)が経営破綻する。
10	2 日本陸上競技連盟が主催するアスリート発掘育成プロジェクトU-12クリニックが釧路市民陸上競技場で初めて開催される。 5 釧路ゆかりの版画家 阿部貞夫の生誕100年を記念した作品展が釧路市生涯学習センターで開かれる(～10日)。 16 大規模津波を想定した国土交通省の防災総合訓練が道内で初めて、釧路港西港を主会場として行われる。	1 根室測候所が131年の歴史に幕を下ろし、無人の根室地域気象観測所となる。 7 根岸英一・鈴木章のノーベル化学賞受賞が決まる。 24 羽田空港の新国際線ターミナルビルがオープンする。
11	6 浪花町の小池豆腐店が100年の歴史に幕を下ろす。 7 釧路市動物園に仲間入りしたアルパカのお披露目会が行われる。 7 阿寒町商工会が50周年を迎え、記念式典と祝賀会を行う。 20 北海道芸術学会の例会が釧路市で初開催される。 26 ベトナム名誉領事館が釧路市大町に開館する。	28 内部告発サイト、ウィキリークスが米政府の外交公文25万点の公開を始める。
12	5 青森県五所川原市で行われたスコープ三味線世界大会で釧路のアップルシャベルズが団体の部で特別賞を受賞する。 18 第79回全日本スピードスケート選手権大会が開かれる(～19日)。 20 就労や日常生活の自立を支援するパーソナル・サポートサービス事業が釧路市内で始まる。	12 この年の漢字に「暑」が選ばれる。 25 群馬県の児童相談所玄関先に10個のランドセルが置かれる。差出人は伊達直人。 31 文具券の利用と販売が終了する。
この年		この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市の自立支援プログラムを学ぼうと、他自治体からの視察が急増する。 ○ 釧路市が街なかへ季節居住を進めるライフケアビレッジのパイロットプランを策定する。 ○ 釧路市が試験販売する「くしろ阿寒百年水」の製造が始まる。 ○ 不況で協賛金が集まらず、すえひろ祭りが中止される。 ○ 釧路地区保護司会が道内唯一、2010年度瀬戸山賞に選ばれる。 	○ (特非)トラストサルン釧路が標茶町コッタロの山林203ヘクタールを取得する。

平成22年(2010)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 北海道麦酒醸造(株)が釧路港町ビールの釧路工場を廃止する。○ 炭鉱事業を行うKCMエンジニアリング(株)が、同社開発の集中監視システムをベトナムのマオケー炭鉱に輸出する。 | |
|--|--|

新語・流行語大賞 「ゲゲゲの」

平成23年(2011)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>6 第83回日本学生氷上競技選手権大会が6年ぶりに釧路市内で開かれる(～9日)。</p> <p>13 ホーマック創業者の石黒靖尋会長が死去する。</p> <p>15 雇用形態に関わりなく、1人から加盟できる労組ユニオンくしろが発足する。</p> <p>17 先住民族の知的財産に関する国際シンポジウムが、阿寒湖温泉で開かれる(～18日)。</p> <p>28 秋田銀行釧路支店が最終営業日を迎え、46年余の歴史に幕を下ろす。</p>	<p>14 チュニジアでジャスミン革命が起きる。</p>
2	<p>3 第31回全国中学アイスホッケー大会の開会式が釧路市で行われる。</p> <p>6 「くしろ検定」で初の上級試験が実施される。</p> <p>15 釧路和商市場が地域限定の有料宅配を始める。</p> <p>20 釧路市動物園のヒョウ、「安佐太郎」が22歳で死ぬ。</p> <p>20 浪花親交老人クラブが30周年を迎え、祝賀会を行う。</p> <p>24 釧路市と(独)土木研究所寒地土木研究所は土木技術に関する連携・協力協定を結び、調印式が行われる。</p> <p>24 「くしろザンギ推進協議会～ザンギでくしろを盛り上げ隊」が設立される。</p> <p>28 釧路市が戸籍事務を電子化する。</p> <p>28 3年ぶりに復活した日本航空(株)の鶴丸ロゴマーク入り1号機が初フライトで釧路空港に飛来する。</p>	<p>6 八百長問題の影響で、大相撲春場所が本場所としては65年ぶりに中止となる。</p> <p>22 ニューージーランドでマグニチュード6.1の地震が発生し、富山県の外国語学校留学生の関係者が多数犠牲になる。</p> <p>26 ニンテンドー初の3D携帯ゲーム、ニンテンドー3DSが発売される。</p>
3	<p>6 混声合唱団コール・フロイデが釧路初となる、ヘンデル作曲の《メサイヤ》全曲演奏会を開く。</p> <p>7 北海道釧路児童相談所が桜ヶ岡に移転する。</p> <p>26 第20回全道中学生バレーボール優秀選手選抜大会で釧路女子選抜が5年ぶりに優勝する。</p> <p>28 釧路市民活動センター「わっと」の移転セレモニーが行われる。</p> <p>30 幣舞橋の道東の四季像 夏の作者佐藤忠良が死去する。</p> <p>31 釧路港副港内の釧路水産センターで営業していた食堂、魚市が閉店する。</p> <p>31 釧路一帯広間の都市間バスが廃止になる。</p>	<p>1 ジャスコとサティが一部店舗を除き、イオンの名称に統一される。</p> <p>11 マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、東北地方を中心に津波による大きな被害が出る(東日本大震災)。</p>
4	<p>1 釧路市の広報誌広報くしろの制作業務が民間委託される。</p> <p>1 釧路土地家屋調査士会が、「境界問題解決支援センター道東」を設立する。</p> <p>1 釧路信用金庫が道内信金では初のカーボンオフセット通帳を導入する。</p> <p>5 東日本大震災の津波被害のため休館していた釧路フィッシャーマンズワープMOOが営業を再開する。</p> <p>12 アベニュー・クシロに入居するスーパーフクハラが営業を終了する。</p> <p>13 釧路コールマイン(株)が、ベトナム石炭鉱物工業グループと石炭の輸入契約を交わす。</p> <p>16 曹洞宗大本山總持寺の貫主を8年6か月無事に務めあげた定光寺先代住職の大道見仙禅師がふるさと釧路に戻る。</p> <p>17 悠和会の特別養護老人ホーム「きんれんかの里」の開所式が行われる。</p> <p>23 旭町ショッピングセンターのビッグハウス旭町店がオープンする。</p>	<p>1 NHK衛星放送BS1とBSプレミアムが開局する。</p> <p>1 完全実施される新学習指導要領で小学校5・6年生の外国語活動が必修となる。</p> <p>10 道知事・道議会議員選挙で、高橋はるみが3選を果たす。</p> <p>21 プレイステーションネットワーク不正侵入事件が発生、過去最悪となる個人情報流出する。</p> <p>29 東北新幹線が全線運転を再開する。</p>
5	<p>11 釧路観光ガイドの会は、幣舞橋観光ガイドステーション2階に『挽歌』の作者原田康子の資料展示室を開設する。</p>	<p>12 東京都立川市で6億円強奪事件が発生する。</p>

平成23年(2011)

<p>13 知床国立公園と摩周湖、阿寒湖がミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの最高の三つ星評価で掲載地に選ばれる。</p> <p>14 スーパー太郎が美原で移転オープンする。</p> <p>14 釧路市連合町内会の新会長に西村毅が選任される。</p> <p>15 釧路大規模運動公園に「自然ふれあい広場」が完成し、利用を開始する。</p> <p>16 釧路市交流プラザさいわいが改修工事を終えて、約2年半ぶりに再開する。</p> <p>20 コーブさっぽろ新橋大通店がオープンする。</p> <p>22 釧路マチナカコンシェルジュ「くるる」がオープンする。</p> <p>30 市民有志が市民団体、釧路夕焼け倶楽部を設立する。</p> <p>31 釧路港が、国土交通省の国際バルク戦略港湾に選定される。</p>	<p>27 JR北海道の石勝線列車脱線火災事故が発生する(釧路発スーパーおおぞら)。</p>
<p>6 1 釧路市議会は6月定例会市議会から本会議の一般質問に一問一答方式と市理事者への反問権を導入する。</p> <p>1 デイスクウントスーパー大手の(株)トライアルカンパニーの道東初の店舗、スーパーセンタートライアル益浦店がオープンする。</p> <p>7 阿寒農業協同組合が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>9 釧路市議11名が、基礎学力問題研究議員連盟を設立する。</p> <p>12 名古屋空港と釧路空港を結ぶフジドリームエアラインズの初チャーター便が釧路空港に到着する。</p> <p>18 大型船が接岸する釧路港東港区耐震旅客ターミナルが供用を開始する。</p> <p>23 釧路市と標茶町、弟子屈町との定住自立圏形成協定調印式が行われ、管内の全市町村が釧路定住自立圏を形成することになる。</p> <p>24 釧路日中友好協会が設立される。</p> <p>24 (一社)釧路建設業協会の若手経営者らで構成する釧路建親会が50周年を迎え、記念式典を行う。</p>	<p>16 中日の岩瀬投手が通算287セーブのプロ野球新記録を樹立する。</p> <p>20 復興基本法が成立する。</p> <p>24 小笠原諸島がユネスコの世界自然遺産に登録されることが決定する。</p> <p>26 平泉の文化遺産が世界文化遺産に登録されることが決定する。</p>
<p>7 2 釧路アイスホッケー連盟の総会が開かれ、釧路と韓国の中学生チームが4年間相互訪問する交流事業を行うことが決まる。</p> <p>4 釧路港国際バルク戦略港湾推進協議会の設立総会が行われる。</p> <p>14 市民有志が釧路空襲慰霊の集いを開催する。</p> <p>25 「たんちょう釧路空港」が開港50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>29 ノーベル化学賞を受賞した根岸栄一が、釧路湖陵高等学校で地元中高生に特別講演を行う。</p>	<p>17 サッカー第6回女子ワールドカップドイツ大会で、なでしこジャパンがアメリカを破り初優勝する。</p> <p>24 テレビ放送が地上デジタル放送に完全に移行する。</p>
<p>8 1 TMRセンターが音別町で稼働、酪農家へ飼料供給を開始する。</p> <p>2 音別町の「しんこう音別(株)」がエミューの試験飼育を始める</p> <p>19 北海道釧路赤十字血液センターがイオン釧路昭和ショッピングセンターに移転する。</p> <p>20 釧路赤ちょうちん横丁が現在の川上町4に移転して50周年を記念する夕べが行われる。</p> <p>22 旧産炭地研究会のメンバー11人が3日の日程で、釧路市を初訪問する。</p> <p>26 17日に釧路管内で試験放送を開始したテレビ北海道(TVH)の釧路中継局が開局する。</p> <p>29 釧路市と釧路町は水道事業統合の基本協定を結び、協定書に調印する。</p>	<p>17 静岡県浜松市で天竜川川下り船転覆事故が発生する。</p> <p>18 なでしこジャパンが国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>23 リビアでカダフィ政権が事実上崩壊する。</p>

平成23年(2011)

9	<p>1 釧路市防災会議が、大地震に伴う災害発生を想定した釧路市防災総合訓練を行い、1500人が参加する。</p> <p>7 釧路市出身のアイヌ紋様刺しゅう家チカップ美恵子の初の作品集が出版される。</p> <p>20 1931年9月20日に東釧路-網走間が全通した釧網本線が80周年を迎える。</p> <p>27 カラカミ観光のホテルエメラルドが阿寒グランドホテルに売却される。</p>	<p>2 野田佳彦内閣が成立する。</p> <p>3 藤子・F・不二雄ミュージアムが神奈川県川崎市に開業する。</p> <p>26 サンマ漁が記録的豊漁となり、24時間休業を行う。</p>
10	<p>2 市民団体「くしろ橋南西ゆめこい倶楽部」が、第9回日本都市計画家協会賞で優秀まちづくり賞を受賞する。</p> <p>5 3月の東日本大震災で運休していた復興航空の台北-釧路間のチャーター便が再開される。</p> <p>5 中心街にある空き店舗のシャッターを活用した街づくりなど、釧路の活性化を目指す「たちあがれ釧路」が設立される。</p> <p>6 釧路市議会が初の議会報告会を市内5カ所で開く(6.7日)。</p> <p>11 阿寒観光協会まちづくり推進機構が北海道景観サポート企業に釧路管内で初めて登録される。</p> <p>15 釧路少年鑑別所が、初の一般市民向け見学会を行う。</p> <p>21 釧路市が、公共施設の改修などでPFIを導入することについての検討を行うプロジェクトチームを設置する。</p> <p>28 釧路市西部子育て支援拠点センターが完成し、記念式典を行う。</p> <p>29 釧路桂恋保育園の開園30周年記念式典が行われる。</p> <p>31 釧路シーサイドホテルが閉館する。</p>	<p>5 アップルのスティーブ・ジョブズ元CEOが死去する。</p> <p>23 トルコ東部で大規模な地震が発生する。</p> <p>29 道東自動車道夕張IC-占冠ICが開通する。</p> <p>30 台湾の台北市立動物園で釧路から無償貸与されたタンチョウの公開セレモニーが行われる。</p>
11	<p>4 釧路信用組が釧路市内など6支店を閉鎖する。</p> <p>5 地域生活支援ネットワークサロンが、高校生や若者の就労支援事業「まじくるハイスクール」を開始する。</p> <p>6 釧路市立景雲中学校が開校50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>14 釧路そば商組合が50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>15 雌阿寒岳の初冠雪を発表する。例年より31日遅く、大正2年の観測開始以来、最も遅い観測となる。</p> <p>19 国鉄分割・民営化に伴うJR不採用問題の釧路闘争団の解散総会が開かれる。</p> <p>20 米町地区の歴史を学ぶ、釧路の歴史を語る会が発足し、初会合が開かれる。</p> <p>30 スタンダード石油が釧路地方裁判所から破産手続き開始決定を受ける。</p>	<p>8 オリジナル(株)の粉飾決算が発覚する。</p>
12	<p>3 アイヌ文化伝承者「弟子シギ子」がアイヌ文化賞に選ばれ、授賞式が行われる。</p> <p>4 バイオリニスト川畠成道とキエフ国立フィルハーモニー交響楽団の釧路公演が行われる。</p> <p>13 釧路市議11人が、カジノ誘致に係る特定複合観光施設研究議員連盟を設立する。</p> <p>20 武佐地区と釧路町別保地区の国道44号を直接結ぶバイパス、道道釧路環状線が供用開始となる。</p> <p>20 釧路市漁業協同組合がブランド化に取り組む「釧路ししゃも」の地域団体商標への登録を申請する。</p>	<p>12 この年の漢字「絆」が発表される。</p> <p>17 北朝鮮の最高指導者金正日総書記が死去する。</p> <p>21 政府が北海道新幹線の札幌延伸を了承する。</p>

平成23年(2011)

<p>23 釧路市で日本小学生バドミントン連盟創立20周年記念第20回全国小学生バドミントン選手権大会が初開催される(～27日)。</p> <p>30 (有)三共パンが閉店する。</p> <p>* (株)工藤写真館が1911年12月設立以来100周年を迎える。</p> <p>* 釧路混声合唱団が解散する。</p>	
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市海洋少年団が結成50年目を迎える。 ○ 観光庁の2011年度観光地域づくりプラットフォーム支援事業に、釧路湿原・阿寒摩周観光圏が選ばれる。 ○ 釧路の夕焼けを動画配信する釧路ライブカメラ企画が立ち上がる。 ○ (特非)浪花町16番倉庫が解散する。 ○ 老朽化が進む釧路副港第1魚揚場の改修工事が始まる。 ○ 釧路昆虫同好会が、7年かけた春採湖周辺の調査結果を報告書として刊行する。1082種の昆虫を確認する。 ○ 郷土資料館、洲崎町なつかし館「蔵」で大正末期ごろに作製されたとみられる釧路市の地図が発見される。 ○ 釧路家庭生活カウンセラークラブが30周年を迎え、記念誌を発刊する。 <p>新語・流行語大賞 「なでしこジャパン」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童養護施設に匿名で寄附を行うタイガーマスクが全国に広がる。 ○ 釧路湿原の再生に向けた釧路川の蛇行復元工事が完了する。 ○ タイ王国で大規模水害が発生する。国土の3分の1が水没し、現地の日本企業の工場が操業停止に陥る。

平成24年(2012)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>11 湿原の画家、佐々木榮松が死去する(享年98歳)。</p> <p>21 旧釧路新聞理事の佐藤国司宅跡地横に建てられた、石川啄木釧路訪問初日の宿泊地を示す記念碑の除幕式が行われる。</p> <p>23 阿寒病院民営化の住民説明会が始まる。</p> <p>24 阿寒の恵まれた食や自然を発信する、丹頂の里千年祭が初開催される。</p> <p>31 釧路市動物園が台湾の台北市立動物園と友好園協定を締結する。</p> <p>* 釧路川柳社の『川柳くしろ』が2012年1月号で500号を迎え、記念新春大会・定期総会を開く。</p>	<p>6 北朝鮮漂流船問題が起こる。</p>
2	<p>1 釧路市が、市税や国民健康保険料などの滞納者情報を一元化する。</p> <p>1 釧路市は、児童生徒の不登校対策の一環で、スクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>7 (株)釧路振興公社が管理運営していた日本料理庭園、六園荘の太平洋建設工業(株)への売却が決まり、仮契約を結ぶ。</p> <p>18 経済研修団体あすなろクラブが創立50周年を迎え、記念式典と祝賀会行う。</p>	<p>7 さっぽろ雪まつりの雪像が倒れ、観光客が負傷する。</p> <p>10 復興庁が発足する。</p> <p>10 パナソニックが、VHS方式の家庭用ビデオテープレコーダーの生産を終了する。</p> <p>12 東京ゲートブリッジが開通する。</p> <p>16 JR石勝線東追分駅構内で貨物列車が脱線し、物流や観光に大きな影響が出る。</p>
3	<p>3 釧路市医師会看護専門学校は、准看護学科の卒業式と閉科式を行い、准看護学科48年の歴史に幕を下ろす。</p> <p>4 子どもの基礎学力向上のための民間の取り組み「くしろ子ども未来塾」が、初開催される。</p> <p>13 釧路魚商業協同組合の中川隆理事長が、第33回食品産業優良企業等表彰の食品流通部門で農林水産大臣賞を受賞する。</p> <p>31 釧路フィッシャーマンズワーフMOOの釧路市フィットネスセンターが廃止される(1989年オープン)。</p>	<p>1 全日本空輸系ピーチアビエーション(株)が初就航する(関西-新千歳・福岡)。</p> <p>3 スキージャンプW杯で高梨沙羅が日本人女子選手として初優勝する。</p> <p>4 日本善行会釧路支部の設立総会が行われる。</p> <p>23 道議会で、道水資源保全条例が成立する。</p> <p>31 NTTドコモのPDCによる携帯電話サービス「mova」が終了する。</p>
4	<p>1 釧路市内17番目の分団、釧路消防団の昭和丹頂分団が発足し、結団式と開所式が行われる。</p> <p>1 (独)釧路労災病院が、検査データの信頼性が評価された医療機関に与えられる精度保証認証施設の認定を取得する。</p> <p>2 生活保護受給者ら生活困窮者に雇用の場をつくる釧路市の調査研究事業で釧路社会的企業創造協議会が設立される。</p> <p>4 (有)野崎重機工業が自己破産手続き開始決定を受ける。</p> <p>7 釧路鳥取てらこやがスタートする。</p> <p>17 (株)石井電工が事業を停止する。</p> <p>17 釧路市教育委員会は、釧路市立の全小中学校で初めて独自の標準学力テストを実施する。</p> <p>20 くしろ市民後見センターが設立され、設立総会が開かれる。</p> <p>20 幣舞橋かいわい景観保存事業を行う市民団体、幣舞橋かいわい市民会議の発会式が開かれる。</p> <p>29 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」がオープンし、記念式典を行う。</p>	<p>1 中学校体育で武道が必修化される。</p> <p>29 関越自動車道でデイズニーランドに向かう大型バスが事故を起こす。</p>
5	<p>1 釧路市立阿寒幼稚園の空き教室を利用した阿寒町子ども交流広場が開設される。</p> <p>11 釧路市は釧路短期大学と教育や文化振興に関する連携協力協定を締結する。</p>	<p>5 北海道電力の泊発電所が運転を停止し、国内の全原子力発電所が稼働停止する。</p>

平成24年(2012)

	<p>16 釧路市は公有資産マネジメント推進のため釧路公立大学地域経済研究センターと連携協力協定を締結する。</p> <p>16 第68回全国消防長会救急委員会が13年ぶりに釧路市で開かれる。</p> <p>22 中野吉次が材木町に私設博物館を開設する。</p> <p>25 旅行業の(株)HISがJR釧路駅前に釧路営業所を開設する。</p> <p>27 市民団体「4ours」が、家庭などに眠っている本を学校などに無償提供するブックシェアリング活動を道東で初めてスタートさせる。</p>	<p>19 73歳になる渡辺玉枝が女性としての世界最高齢でエベレスト登頂に成功する。</p> <p>22 東京スカイツリーがオープンする。</p> <p>23 里美香奈棋士が史上最年少で将棋の女流4冠を達成する。</p>
6	<p>20 釧路市スポーツ合宿誘致推進委員会が設立され、初会合が開かれる。</p> <p>30 アニメ化40周年を記念するルパン三世展が、釧路市立美術館で始まる。</p>	
7	<p>4 釧路市民防災センターの地震体験室に、揺れとともに緊急地震速報を模擬体験できる映像が導入される。</p> <p>16 台湾の先住民族タイヤル族の小学生22人が阿寒湖温泉を訪れ、アイヌ民族と交流を深める。</p> <p>18 釧路市と(一財)北海道でんき保安協会が災害時協力協定を締結する。</p> <p>22 釧路市が3か年計画で進めてきた事業仕分けが終了し、3事業が廃止、27事業が見直し・改善となる。</p> <p>23 青少年の健全育成に長年尽力したとして、釧路市丹頂鶴自然公園の高橋良治名誉園長への法務大臣表彰の伝達式が行われる。</p> <p>29 子供向け職業体験イベント「くしろキッズタウン2012」が釧路市観光国際交流センターで初開催される。</p>	<p>1 食品衛生法により生の牛レバー(レバ刺し)の提供が禁止される。</p> <p>3 日本航空系ジェットスター・ジャパンが就航する。</p> <p>23 北海道電力泊原子力発電所の停止などに伴う節電要請期間がスタートする。</p> <p>27 ロンドンでオリンピックが開催される(～8月12日)。</p>
8	<p>1 釧路商工会議所が栄町平和公園B面で「釧路すえひろピア(冷)ガーデン」を初開催する。</p> <p>1 釧路交通(株)が介護タクシー事業を開始する。</p> <p>18 日本生物教育学会の第93回全国大会が北海道教育大学釧路校で開かれる。</p> <p>19 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会が、東京都内で開かれる東京国際和太鼓コンテスト-歴代グランプリの祭典に出演する。</p> <p>19 2012マウンテンバイクフェスティバルin釧路が高山の特設モトクロスコースで開かれる。</p> <p>20 ささき画廊が74年の歴史に幕を下ろす。</p> <p>22 日本製紙釧路工場で、新規事業クラフト紙生産設備の改良工事が完了し、竣工式を行う。</p> <p>25 大楽毛に(医)釧路優心病院が完成し、新築落成記念祝賀会を行う。</p> <p>31 市立釧路総合病院など道内の4自治体病院は、災害時の病院間相互支援協定に調印する。</p>	<p>25 北海道新幹線新函館北斗-札幌間の起工式を行う。</p>
9	<p>2 第50回北海道障がい者スポーツ大会が釧路市と周辺4町で開かれる。</p> <p>7 台湾・復興航空が釧路-台北に定期便を就航し、釧路空港初の国際定期便となる。</p> <p>8 マリモの特別天然記念物指定60周年を記念し、国内外の専門家による国際シンポジウムが開かれる。</p> <p>15 ボランティア愛ランド北海道in釧路が釧路市観光国際交流センターで開かれる(釧路での開催は21年ぶり)。</p> <p>15 野球の北海道知事杯争奪KB秋季野球大会(兼)第7回U-15全国KB野球秋季大会北海道予選会で釧路選抜が4連覇を果たす。</p>	<p>11 日本政府が尖閣諸島の魚釣島、南小島、北小島を国有化する。</p>

平成24年(2012)

<p>20 釧路市漁業協同組合の加工品直売店「マルリョウカロエ」が釧路港副港にオープンする。</p> <p>24 釧路管内8市町村が災害時に市町村間で職員や物資を融通し合うことを柱とする防災基本協定に調印する。</p> <p>26 釧路市女性保護の会が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>29 釧路湖陵高等学校が創立100周年を迎え、記念式典を行う。</p>	<p>19 原子力規制委員会が発足する。</p> <p>28 オリンパスとソニーが資本・業務提携する。</p> <p>28 レスリングの吉田沙保里が世界選手権で優勝し、世界大会13連覇となり、アレクサンドル・カレリン選手の記録を破り世界最多記録となる。</p>
<p>10 6 日本社会教育学会の全国大会、第59回研究大会が北海道教育大学釧路校で開催される。</p> <p>6 第25回北海道演劇祭が16年ぶりに釧路で開催される。</p> <p>11 第29回法人会全国大会北海道大会in釧路が開催される。</p> <p>21 釧路市長選で蝦名大也が再選を果たす。</p> <p>25 美川憲一の大ヒット曲《釧路の夜》を作詞・作曲した釧路出身の宇佐英雄をしのぶ音楽墓碑の除幕が行われる。</p> <p>26 陶器のみずのを営む水野商店が100周年を迎え、創業100年記念展を行う。</p> <p>26 (独)釧路労災病院が地域のかかりつけ医を支援する地域医療支援病院として北海道の指定を受ける。</p>	<p>1 郵便事業会社と郵便局会社が合併、新会社日本郵便(株)が誕生する。</p> <p>1 新日本製鐵と住友金属工業が合併し、新日鐵住金(株)となる。</p> <p>8 JR北海道の特急おおぞらが十勝・釧路地方への乗り入れ50年を迎える。</p> <p>8 山中伸弥がノーベル生理学・医学賞を受賞する。</p> <p>9 パキスタンで子どもの権利を守る活動で有名なマララ・ユスフザイが銃撃される。</p>
<p>11 1 刑務所を出所した人の更生保護施設、慈徳会が創立100周年を迎え、記念式典が行われる。</p> <p>21 映画『僕等がいた』の原作者で釧路在住の小畑友紀に市長特別表彰が贈られる。</p> <p>21 小中学校の学習支援などを行う市民有志のボランティア団体「ミライエ」が設立される。</p>	<p>7 レスリングの吉田沙保里が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>10 道央道森IC-大沼公園IC間が開通する。</p>
<p>12 6 発達した低気圧の影響で、釧路根室管内では暴風雨となり、音別町では約100戸が停電する。</p> <p>10 老朽化のため新築された釧路警察署音別駐在所の開所式が行われる。</p> <p>14 釧路市の基礎学力保障条例が市議会で可決される。</p> <p>16 JR釧路駅構内のキヨスクがセブン-イレブン・ジャパン店舗に転換し、オープンする。</p> <p>17 釧路地区保護司会が活動拠点施設、釧路地区更生保護サポートセンターを釧路市宮本町に開設する。</p> <p>18 釧路市街地で12センチと、異例の本格的な降雪に見舞われる。</p> <p>28 第38回全日本スプリントスピードスケート選手権が柳町スピードスケート場で開かれる。</p>	<p>2 中央自動車道笹子トンネル上り線で天井板落下事故が起こる。</p> <p>6 「那智の田楽」がユネスコの無形文化遺産に指定される。</p> <p>12 この年の漢字に「金」が選ばれる。</p> <p>16 第46回衆議院議員選挙で自由民主党が大勝し、与党に返り咲く。</p> <p>18 根釧の活性化を図る「KONSEN魅力創造ネットワーク」の設立総会が行われる。</p> <p>26 第2次安倍晋三内閣が成立する。</p> <p>27 ヤンキースの松井秀喜が現役を引退する。</p>
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<p>○ 1993年度から整備を進めてきた国道274号の徹別道路が全線開通する。</p> <p>○ 米町ふるさと館が市の直営施設となる。</p> <p>○ 市立釧路図書館が第1回くしろ図書館を使った調べ学習コンクールを行う。</p> <p>○ 王子製紙釧路工場が新聞用紙生産設備を停止する。</p> <p>○ 釧路市在住の彫刻家米坂ヒデノリが代表作の《コタンコロカムイ》など30作品余りを釧路市教育委員会に寄託する。</p> <p>新語・流行語大賞 「ワイルドだろお」</p>	<p>○ シンジャモが不漁となり、高値が続く。</p>

平成25年(2013)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>12 釧路空港で日本航空(株)のMD90の引退イベントが行われる。</p> <p>24 モンゴル・ボルガン県の小中学生10人の訪問団が釧路に到着する。</p> <p>31 釧路市は、域内循環を実践している市内の39業者に認定証を交付する。</p>	<p>1 復興特別所得税が導入される。</p> <p>16 アルジェリアで日揮社員らの人質事件が発生する。</p> <p>19 昭和の大横綱大鵬の納谷幸喜が死去する。</p>
2	<p>2 市民が手作りした電飾の美しさを競う、イルミネーションコンテストが釧路で初開催される。</p> <p>20 日本紙パルプ商事(株)は、釧路市音別町に大規模太陽光発電所を建設する計画を明らかにする。</p> <p>21 釧路コールマイン(株)は2010年5月29日に始まった休業災害ゼロ、1000日を達成する。</p>	<p>1 福島復興再生総局が発足する。</p> <p>1 ニホンウナギが絶滅危惧種に指定される。</p> <p>2 午後11時17分ごろ、十勝地方中部を震源とする地震が発生する</p> <p>17 スキージャンプの高梨沙羅がW杯で総合優勝を果たす。</p> <p>25 元横綱大鵬の納谷幸喜が国民栄誉賞を受賞する。</p>
3	<p>2 釧路短期大学の音楽ゼミの学生による最後となる《こどものためのオペレッタ》公演が行われる。</p> <p>9 釧路(医)孝仁会看護専門学校が完成し、竣工式を行う。</p> <p>30 第7回全日本少年アイスホッケー大会で釧路選抜が4連覇を達成する(26～30日)。</p> <p>31 (株)AIRDOの釧路-羽田線が就航し、1日2往復する。</p> <p>* 釧路昆虫同好会が月末で活動を休止し、2016年3月末で解散することを決める。</p>	<p>2 道東を中心に暴風雪になり、犠牲者が出る。</p> <p>14 習近平が中国国家主席に就任する。</p> <p>15 新幹線200系電車が定期運用から引退する。</p> <p>24 大相撲の横綱白鵬が9度目の全勝優勝を果たす。故大鵬、故双葉山の記録を更新する。</p> <p>31 JRグループのオレンジカードならびに周遊きっぷの発売が終了する。</p>
4	<p>1 阿寒高等学校が釧路湖陵高等学校の支援を受ける地域キャンパス校になる。</p> <p>19 阪急交通社が、涼しい釧路市で長期滞在の旅を楽しむ旅行商品を企画し、大阪市内で説明会を開催する。</p> <p>24 北海道バス釧路特急ニュースター号が運行を開始する。</p> <p>25 釧路市女性団体協議会が解散し、新たに女性団体連絡協議会が発足する。</p> <p>30 十條アイススケートセンターが一般開放を終了し、閉鎖される。</p> <p>* 釧路おたのしけ保育園が民間保育園としてスタートし、開園式が行われる。</p>	<p>1 宝くじ「ロト7」の発売が開始される。</p> <p>1 障害者総合支援法が施行される。</p> <p>15 ボストンマラソン爆弾テロ事件が発生する。</p> <p>19 公職選挙法の改正案が可決成立し、インターネットでの選挙運動が解禁となる。</p>
5	<p>1 阿寒観光協会まちづくり推進機構は、阿寒湖周辺でマリモのガイドツアーを始める。</p> <p>7 日本銀行釧路支店が、免震構造を取り入れた新店舗(幸町9)の営業を開始する。</p> <p>7 (一社)立支舎が就労継続支援A型事務所「めいく」を開設する。</p> <p>7 阿寒町森林組合が釧路地裁に自己破産を申請する。</p> <p>10 釧路社会的企業創造協議会が生活困窮者から就職や生活費などに関する相談を受ける「くらしごと」を開設する。</p> <p>18 雷さとう興津店が閉店する。</p> <p>28 美原サクラ守が結成される。</p>	<p>1 女流棋士の里美香奈が史上初の女流5冠を達成する。</p> <p>5 長嶋茂雄と松井秀喜が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>23 三浦雄一郎が世界最高峰エベレストに史上最高齢で登頂する(80歳7か月)。</p> <p>24 三陸復興国立公園が指定される。</p>
6	<p>6 阿寒湖のマリモ保全推進委員会が設立される。</p> <p>15 画家佐々木榮松の作品を常設展示する佐々木榮松記念釧路湿原美術館が開館する。</p>	<p>18 安愚楽牧場元経営者ら3人が特定商品預託法違反で逮捕される。</p> <p>22 富士山が世界文化遺産に登録される。</p>

平成25年(2013)

	<p>16 釧路市音別町の北のビーナス路まつりが市街地中心部に移動して開催される。</p> <p>22 北海道が認定するフラワーマスターの釧路市内の団体「釧路フラワーマスター花くらぶ」の設立総会が行われる。</p> <p>* 釧路市教育委員会は、市内全域で学校・家庭・地域とともに考える地域懇談会を初開催する(～7月)。</p>	
7	<p>12 大楽毛海岸ハマナス群落修復事業が同海岸で行われ、はまなすの苗200株を植える。</p> <p>13 2年ぶりに釧路空港への季節運航が決まったフジドリームエアラインズの名古屋からの第1便が到着する。</p> <p>17 第149回芥川賞・直木賞の選考会が開かれ、釧路市出身の作家桜木紫乃の作品『ホテルローヤル』が直木賞に選ばれる。</p> <p>20 釧路市立博物館が開館30周年を迎え、特別展を行う。</p> <p>26 春採湖の貸しボートが復活する。</p> <p>29 釧路市動物園で29年ぶりにライオンの赤ちゃんが生まれる。</p> <p>30 釧路市物産協会海外部会が、初めて釧路港から台湾へ地元釧路産の水産物を輸出する。</p>	<p>3 エジプトで軍部によるクーデターが発生する。</p> <p>15 JR北海道の千歳線で列車が出火事故を起こす。</p> <p>30 (株)釧路丸水が民事再生法の適用を申請する。</p>
8	<p>1 釧路全日空ホテルがANAクラウンプラザホテル釧路に名称を変更する。</p> <p>6 くしろ水産センター内の食堂が「くしろ港食堂ジョナサン」として営業を再開する。</p> <p>11 釧路市北斗遺跡の復元された竪穴住居が全焼する。</p> <p>19 釧路市は、最大クラスの津波による浸水予測に対応した新しい津波ハザードマップの市内全世帯への配布を始める。</p> <p>23 雌阿寒岳の噴火を想定した大規模な総合防災訓練が、阿寒湖温泉で行われる。</p> <p>31 アンテナショップ「マルシェくしろ」が和商市場内にオープンする。</p> <p>31 「くしろブックシェアリング」は、アベニュー・クシロ2階に事務所と本の回収拠点をオープンさせる。</p> <p>* 春採湖で保全活動に取り組む春採湖の会が50周年を迎える(1963年3月創立)。</p>	<p>12 高知県四万十市で日本国内観測史上最高気温となる41.0度を観測する。</p>
9	<p>4 釧路市は初代観光大使に、漫画『僕等がいた』の主人公2人を任命する。</p> <p>7 釧路市はヒートボイス(HEATVOICE)を観光大使に任命する。</p> <p>7 国際啄木学会2013年度釧路大会が、釧路市生涯学習センターで開かれる(16年ぶりの釧路大会)。</p> <p>8 在京釧路会が創立50周年を迎え、第50回記念総会と祝賀会を開催する。</p> <p>16 台風18号の接近に伴い、釧路市内では記録的な大雨になり、住宅の床上、床下浸水が89戸に達し、大きな被害が出る。</p> <p>20 チャイルズエンジェルが釧路市動物園に寄贈した、アミメキリン「スカイ」が来園する。</p> <p>20 釧路市老人クラブ連合会の創立50周年記念式典、祝賀会を行う。</p> <p>22 釧路市は作家の桜木紫乃を観光大使に任命する。また、市長特別表彰を授与する。</p>	<p>7 IOC総会において2020年夏季オリンピック開催地に東京が選出される。</p> <p>19 函館線・貨物列車脱線事故が起こる。</p>

平成25年(2013)

	<p>30 市内ラーメン店4店で釧路ラーメン元気横丁がオープンする。</p>	
10	<p>4 ディスカウント店、ザ・ビッグ鳥取大通店がオープンする。</p> <p>5 釧路の中小企業経営者などが経営戦略や人材育成について学び合う日創研釧路経営研究会が発足する。</p> <p>5 釧路市と鳥取県鳥取市、秋田県湯沢市との姉妹都市提携50周年記念式典が行われる。</p> <p>6 神八三郎の功績を継承してきた(財)神翁顕彰会が2013年度での解散を決め、記念事業として第1回釧路ばん馬大会を開催する。</p> <p>6 地域振興などを目的に釧路市音別町初の秋イベント「2013北のビーナスBBQまつり」が開かれる。</p> <p>10 動物園にキリンを寄贈したチャイルズエンジェルの活動を追った志茂田景樹の作品『ほくらの街にキリンがやってくる』が発売される。</p> <p>13 道内各地の和太鼓団体が競演する和太鼓フェスティバルが釧路市生涯学習センターで開かれる(初の全道規模イベント)。</p> <p>15 「ぷちどー」の(株)花月が釧路地裁へ民事再生法の適用を申請する。事業は「(株)とかち製菓」が引き継ぐ。</p> <p>18 釧路岩手の会が100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>18 釧路市内で初霜が観測される。初雪の後に初霜が観測されるのは、観測を始めた1910年以来3回目、25年ぶりとなる。</p> <p>25 第44回ジュニアオリンピック陸上大会女子100メートルハードルで釧路市立景雲中学校2年生の村岡柊有が優勝する(～27日)。</p> <p>26 伊勢神宮で行われた第62回神宮式年遷宮の奉納行事で北海道くしろ蝦夷太鼓保存会が奉納演奏を披露する。</p> <p>27 阿寒国際ツルセンターのオグロヅル「サラ」が繁殖目的の貸借で、鹿児島市の平川動物公園に出発する。</p> <p>31 釧路商工会議所の山本壽福15代会頭が退任する。</p> <p>31 第18回全国高等学校総合学科教育研究大会が初めて釧路で開かれる。</p>	<p>1 海洋気象台が廃止される。函館海洋気象台は、地方気象台の内部組織になる。</p> <p>8 プロ野球 楽天の田中将大投手が史上初の無敗の最多勝投手となる。</p> <p>22 関西や東京のホテルで相次いでメニュー偽装が発覚する。</p>
11	<p>1 栗林定正が釧路商工会議所の16代会頭に就任する。</p> <p>1 春採湖の会が50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>5 釧路市危険物安全協会が50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>11 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会が2013年度地域文化功労者として文部科学大臣から表彰を受ける。太鼓団体としては全国初受賞。</p> <p>17 釧路理容協同組合が100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>* 釧路市の委託を受けた情報誌『フォトグラ・くしろ』が創刊される。</p>	<p>1 釧路丸水の事業を受け継ぐ釧路丸水(株)が業務を開始する。</p> <p>11 JR北海道のレール検査改ざんが発覚する。</p> <p>21 小笠原諸島・西之島南南東沖の海域で、海底火山の噴火による新島が出現する。</p> <p>30 日本傷痍軍人会が解散する。</p>
12	<p>1 アイスホッケーの日本製紙クレインズが第81回全日本選手権大会決勝で王子イーグルスを破り、2年ぶり6度目の日本一に輝く。</p> <p>1 日本航空(株)の釧路-羽田線が40年を迎え釧路空港でセレモニーが行われる。</p> <p>13 市議会議員全28人が、日越友好促進議員連盟を設立する。</p> <p>13 釧路新道の工事が完了し、全線開通する。</p> <p>28 スピードスケートの岡崎朋美選手が引退を発表する。</p> <p>31 釧路市阿寒町の「まりもスタンプ」が終了する。</p>	<p>4 「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録される。</p> <p>5 南アフリカ共和国のネルソン・マンデラ元大統領が死去する。</p> <p>6 特定秘密保護法が成立する。</p> <p>12 この年の漢字に「輪」が選ばれる。</p>

平成25年(2013)

この年	この年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路工業高等専門学校がタイのキングモンクット工科大学と学生や教職員の交流に関する覚書を締結する。 ○ 釧路市は、「釧路市高齢者地域あんしんネットワーク事業」を開始する。 ○ 阿寒女性ボランティアの会が、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰に選ばれる。道内からは5団体が選出される。 ○ 釧路地域活性化協議会が、観光のフリーペーパー『KUSHILOG』を創刊する。 ○ ジャズ喫茶「ジス・イズ」が閉店する。 ○ マリモを通じて地域活性化を図ろうと、「マリモでくしろを盛り上げ隊」が発足する。 ○ 釧路市が、道内主要都市では初となる、釧路市権利擁護成年後見センターを釧路市総合福祉センターに開所する。 ○ 釧路市社会福祉協議会が北海道社会福祉協議会から業務委託を受け、日常生活自立支援事業をスタートさせる。 ○ 春採湖畔の名物旅館「チャランケ荘」が営業を停止する。 ○ 釧路市が、高齢者の孤独死を防ぐため、地域ぐるみで高齢者を見守る「地域安心ネットワーク事業」を始める。 ○ (株)釧路内燃機製作所は、ウニの自動殻割り機「新ウニ割くん」を開発する。 ○ 消防訓練所が愛国に移転する。 <p>新語・流行語大賞 「今でしょ!」 「お・も・て・な・し」 「倍返し」 「じえじえじえ」</p>	

平成26年(2014)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>1 厳島神社の、北海道指定有形文化財、円空仏が6年ぶりに公開される。</p> <p>3 韓国の景福高等学校アイスホッケー部が釧路で初の合宿を行う(21日間)。</p> <p>15 釧路市動物園で4年ぶりに雌のオランウータンが誕生する。</p> <p>22 日本航空(株)が発表した2014年度夏ダイヤで、2010年5月以降運休していた名古屋線が約4年ぶりに再開する。</p> <p>28 千秋庵製菓(株)の釧路店(北大通6)が閉店する。</p> <p>30 釧路市動物園にキリンを贈る活動をしたチャイルズエンジェルが、2013年度シチズン・オブ・ザ・イヤーを受賞する。</p>	<p>1 スキージャンプの葛西紀明選手がW杯で最年長優勝を果たす。</p>
2	<p>7 直木賞作家、桜木紫乃の小説の舞台風景を紹介する、桜木紫乃作品舞台マップが完成し、無料配布が始まる。</p>	<p>5 作曲家、佐村河内守が楽曲の作曲を特定の他者に依頼していたことを公表する。</p> <p>9 関東・甲信越地方を中心に記録的な大雪が降り、各地で交通機関等に影響が出る。</p>
3	<p>4 白樺地域再開発協議会が設立20周年を迎え、白樺地域半世紀プロジェクト会議を発足させる。</p> <p>20 北大通の喫茶店、珈琲館ポニーが閉店する。</p> <p>20 緑ヶ岡公園が供用を開始する。</p> <p>22 阿寒湖畔浄水場膜ろ過施設の通水式が行われる。</p> <p>29 アイスホッケーの日本製紙クレインズが5シーズンぶり4回目のリーグ優勝を決める。7季ぶりの全日本選手権大会と2冠を達成する。</p> <p>31 北海道釧路聾学校在学が閉校する。</p> <p>31 釧路市役所の地下で48年間営業を続けてきた大食堂ジローが閉店する。</p>	<p>7 あべのハルクスが完成し、日本一高いビルとなる。</p> <p>9 宇宙飛行士若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任する。</p> <p>31 JX日鉱日石エネルギー室蘭製油所が原油処理を停止する</p>
4	<p>1 北海道釧路鶴野支援学校が開校する。</p> <p>1 釧路市消防本部中央消防署愛国支署の開署式と消防団文苑分団の結団式が行われる。</p> <p>1 釧路市文化芸術振興基本条例が施行される。</p> <p>2 市立釧路総合病院が、がん看護相談外来を開設する。</p> <p>5 釧路フィッシャーマンズワーフMOO5階に津波緊急避難施設となる多目的アリーナがオープンする。</p> <p>5 釧路市の災害情報伝達施設「まなぼと夕焼けスタジオ」がオープンする。</p> <p>8 望洋交番が移転新築し、開所式が行われる。</p> <p>11 ソチ五輪アイスホッケー女子日本代表スマイルジャパンの釧路市出身者6人に市長特別表彰が贈られる。</p> <p>18 (株)GUが釧路市内に道東1号店をオープンさせる。 * レギュラーガソリンの4月上旬の平均小売価格が1リットル当たり164.88円となる。</p>	<p>1 消費税率が5%から8%に増税される。</p> <p>1 「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約」に日本が正式加盟する。</p> <p>6 東日本大震災で被災、運休していた三陸鉄道全線が開通する。</p> <p>16 韓国でクルーズ旅客船セウォル号沈没事故が発生する。</p>
5	<p>6 書家 加藤秋霜の寄附を活用した加藤秋霜記念丹頂動物病院が釧路市動物園内に完成し落成式が行われる。</p> <p>8 市民有志が資金を出し合い、小規模な太陽光パネルの設置を目的とする、(一社)くしろソーシャルデザインネットワークが設立される。</p>	<p>12 JR北海道の江差線(木古内-江差間)が廃止される。</p> <p>30 内閣官房に内閣人事局が設置される。</p>

平成26年(2014)

	<p>29 釧路市の姉妹都市ホルムスク市訪問団が釧路市を訪問する。</p> <p>30 台湾の復興航空の台北-釧路間の定期便が運航を休止する。</p> <p>31 作曲家、伊福部昭生誕100年コンサートが釧路市生涯学習センターで開かれる。</p> <p>31 釧路市動物園にキリンを寄贈したチャイルズエンジェルが、第6回日本動物大賞の動物愛護賞を受賞し、東京で表彰式が行われる。</p>	
6	<p>1 (医)孝仁会と(医)碩心会が合併する。</p> <p>1 釧路市は、地域住民の孤立を防ぐ、地域安心ネットワーク事業を開始する。</p> <p>4 過去最大のクルーズ船ダイヤモンド・プリンセスが寄港する。</p> <p>18 (株)札幌丸井三越の釧路出張所が、イオンモール釧路昭和に移転し、オープンする。</p>	<p>3 音更町で気温37.8度を記録する。</p> <p>11 電力の小売りを2016年に完全自由化する改正電気事業法が成立する。</p> <p>16 釧路警察署管内の交通事故死ゼロが連続200日を達成する。</p> <p>21 富岡製糸場と絹産業遺産群がユネスコの世界文化遺産に登録される。</p>
7	<p>7 釧路コールマイン(株)が、休業無災害1500日を達成。釧路産業保安監督署での調査可能な過去20年で坑内炭鉱では初となる。</p> <p>10 春採湖で国の天然記念物「ヒブナ」の生息が13年ぶりに確認される。</p> <p>13 釧路空襲の犠牲者を悼む初の釧路空襲慰霊の演奏会が開催される。</p> <p>15 釧路市PTA連合会は月刊広報誌『土・日ようびは学びと遊び』の発行を始める。</p> <p>16 第54回全国管工事業協同組合連合会の通常総会・全国大会が釧路市内のホテルで開催される。</p> <p>24 武修館高等学校野球部が初の甲子園出場を決める。釧路勢としては35年ぶりの甲子園。</p> <p>25 30周年を迎える霧フェスティバルが開催される(～27日)。</p> <p>* 6月3日から7月1日まで29日連続で降雨を記録。1910年の観測以来、3番目に長い記録となる。</p>	<p>9 ベネッセで顧客情報が大量流出する事件が発覚する。</p>
8	<p>6 釧路町木場にある釧路港東港区水面貯木場の廃止決定を受け、釧路川の木材運搬いかだが最後の運搬を終える。</p> <p>16 日本舞踊家、花柳寿登芳師匠が死去する。</p> <p>17 22年ぶりに釧路市で大相撲が開かれる。</p> <p>23 釧路市立の全小中学校が試行する土曜授業が始まる。</p> <p>25 日本陸連男子マラソンナショナルチームが釧路市で初めて強化合宿を行う。</p>	<p>20 広島市北部で豪雨に伴う土石流が複数発生し、多数の住宅が流される。</p>
9	<p>1 日本製紙(株)が釧路アイスアリーナのネーミングライツを取得し、日本製紙アイスアリーナとなる。</p> <p>1 北海道コカ・コーラボトリング(株)は、市内3カ所の自動販売機に全国初の災害警報を音声で知らせる装置を取り付ける。</p> <p>6 市民憲章運動推進第49回全国大会釧路大会が釧路市生涯学習センターで開かれる。</p> <p>6 首都圏でアイヌ民族とシサム(和人)の交流に取り組む「ペウレ・ウタリの会」が50周年を迎え、アイヌコタンで記念交流会が開かれる。</p> <p>9 特別支援教育を語る会釧路の創立総会が行われる。</p> <p>16 釧路市星が浦から釧路港西港付近で竜巻が観測される(市内での竜巻は初観測)。</p>	<p>8 錦織圭選手がテニスの全米オープンで準優勝する。</p> <p>27 御嶽山が7年ぶりに噴火、50人以上が死亡する戦後最悪の火山災害となる。</p> <p>28 香港で民主派の大規模なデモが起きる。雨傘革命と呼ばれる。</p>

平成26年(2014)

	<p>24 春採湖ネイチャーセンターの入館者が15万人を達成する。</p> <p>26 釧路市と釧路市連合町内会が、町内会への加入促進や防犯活動などで連携基本協定を締結する。</p> <p>27 道内34の医療機関が保有するDMAT(災害派遣医療チーム)の北海道実動訓練が釧路市で初開催される(～28日)。</p> <p>27 2010年にノーベル化学賞を受賞した北海道大学の鈴木章名誉教授の講演会が開催される。</p>	
10	<p>2 結成から30年を迎える「阿寒ジャズ会」が解散することとなり、ラストライブが開かれる。</p> <p>2 アイヌ民族の彫刻家、床スプリが77歳で死去する。</p> <p>5 全日本断酒連盟の第51回全国大会が釧路市で初開催される。</p> <p>11 岡田利春元衆議院議員が89歳で死去する。</p> <p>15 釧路市議会が議長交際費の支出内容の公開を始める。</p> <p>15 釧路市児童館地域活動連絡協議会が創立30周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>17 (一社)釧路建設業協会が創立100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>18 釧路・根室地区地方税合同公売会が初開催される。</p> <p>19 女性コーラスグループ釧路マミー・コールが50周年を迎え、記念コンサートを開催する。</p> <p>24 第46回がん予防道民大会が17年ぶりに釧路市で開催される。</p>	<p>7 ノーベル物理学賞受賞者に、赤崎勇、天野浩、中村修二の3人が決定する。</p>
11	<p>1 PM2.5の測定機器を釧路市内に設置し、測定を始める。</p> <p>2 釧路男声合唱団が30周年を迎え、記念の演奏会を開催する。</p> <p>4 釧路キャッスルホテル(株)が民事再生法の適用を申請する。</p> <p>8 釧路地区障がい老人を支える会(たんぽぽの会)が創立30周年を迎え、記念講演会と祝賀会を開催する。</p> <p>8 (学)緑ヶ岡学園が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>13 釧路市は楽天(株)と連携及び協力に関する協定を締結する。</p> <p>17 花野短歌会が20周年を機に解散し、お別れ会が開かれる。</p> <p>18 新釧路川が(公社)土木学会の選ぶ2014年度選奨土木遺産に釧路管内から初選出される。</p> <p>19 音別町行政センターの新庁舎が完成し、落成式を行う。</p> <p>20 釧路市が神奈川県大和市と災害時相互応援協定を結び、締結式を行う。</p> <p>24 釧路市子ども遊学館が入館者100万人を達成する。</p>	<p>27 ユネスコの無形文化遺産に「和紙 日本の手漉き和紙技術」が登録される。</p>
12	<p>4 阿寒国立公園が公園指定80周年となる(指定1934年12月4日)。</p> <p>8 釧路市は市立釧路総合病院の立体駐車場の運用を開始する。</p> <p>12 釧路シャケの会が30周年を迎え、講演会が行われる。</p> <p>13 愛国児童センターが30周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>14 釧路地区最古の銭湯、白山湯が、創業102年で廃業する。</p> <p>15 笛園創業者でくしろ蝦夷太鼓保存会の石田栄一会長が死去する。</p> <p>20 米町児童センターが50周年を迎え、記念式典が開かれる(1965年1月開館)。</p> <p>21 氷都釧路を盛りあげるフリーペーパー『Member』の創刊号が完成し、釧路管内の小、中、高等学校に配布される。</p>	<p>2 小惑星探査機「はやぶさ2」が打ち上げられる。</p> <p>12 この年の漢字に「税」が選ばれる。</p> <p>20 東京駅開業100周年記念Suicaが数量限定販売、購入希望者が殺到し大混乱となる。</p> <p>24 第3次安倍内閣が成立する。</p>

平成26年(2014)

<p>21 釧路市消防団五七分団庁舎の落成式が行われる。 22 釧路信用金庫城山支店が開設50周年を迎える(1964年12月22日開設)。</p>	
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境省釧路環境事務所は、阿寒国立公園80周年の記念事業として、阿寒湖アーカイブ事業を行う。 ○ 釧路市の人口が2月末で18万人を割り込み、17万9846人となる。 ○ 前田一步園財団の前田奨学基金が50周年を迎える。 ○ 釧路市は2014年度から3年間で国の天然記念物マリモが生息する阿寒湖の水草除去対策を行う。 ○ 釧路市公園施設長寿命化計画に基づき、2014度から公園改修に着手する。 ○ ワークセンター音別の栽培するシイタケが第24回サンマッシュ品評会で全国最高賞に当たるゴールデンサンマッシュ賞に輝く。 ○ こどもエコクラブくしろが、日本環境協会が募集した壁新聞で最高賞の環境大臣賞を受賞する(最高賞は道内初)。 ○ 日本絵本賞読者賞に、釧路市動物園をモデルにした『キリンがくる日』が歴代最高得票で選ばれる(文・志茂田景樹、絵・木島誠悟)。 ○ 映像制作会社TOHYA FILMが市内飲食店の動画を有料掲載するインターネットサイト「釧路ちゃんねるmove」を開設する。 ○ 春採湖の会の50周年記念誌が完成する。 ○ 釧路市内の経営者たちが、釧路市日韓ニュービジネス構築研究会を設立する。 ○ 釧路ポイントカード事業協同組合のスキップカードが、電子マネー楽天Edyと提携する。 ○ 鉄北地区少年補導員会が、50年ぶりに防犯かるたをリニューアルし、「防犯教育かるた～君の勇気～」を完成させる。 <p>新語・流行語大賞 「ダメよ～ダメダメ」 「集団的自衛権」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR北海道は、根室線の木製枕木をコンクリート製に交換する作業に着手する。 ○ タカタ製エアバッグ問題が起こる。 ○ パキスタンのマララ・ユスフザイのノーベル平和賞が決定する。

平成27年(2015)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>5 第87回日本学生氷上選手権大会が釧路市で開催される(～9日)。</p> <p>13 釧路発祥の「ふまねっと運動」の拠点施設が浦見4に開設される。</p> <p>14 第38回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会が開催される(～18日)。</p> <p>16 渡り鳥保護の東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ、第8回パートナー会議が釧路市で初開催される(～21日)。</p> <p>22 釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部が全国中学校スケート・アイスホッケー大会で11年ぶり11度目の優勝を果たす(～25日)。</p> <p>22 トマトを活用し地域活性化を目指すため、釧路市の林業(株)北都、大手日用品メーカーエステー(株)、釧路総合振興局が包括連携協定を締結し、調印式が行われる。</p> <p>25 (一社)釧路観光コンベンション協会が、日本政府観光局の外国人観光案内所カテゴリー2に認定される。</p> <p>27 釧路観光コンベンション協会は、初の釧路観光タンチョウ大使に演歌歌手夏川あざみとシンガーソングライター真氣を任命する。</p>	<p>9 内閣官房に内閣サイバーセキュリティセンターが設置される。</p> <p>15 日本・オーストラリア経済連携協定が発効する。</p> <p>23 大相撲初場所横綱白鵬が33回目の優勝を果たし歴代最多優勝となる。</p> <p>28 スカイマーク(株)が民事再生法の適用を申請する。</p>
2	<p>1 釧路赤十字病院は急性期医療を終え、回復期に移行した患者の在宅復帰を支援する、地域包括ケア病棟を開設する。</p> <p>2 釧路市と釧路市議会は、インターネットの交流サイト、フェイスブックにそれぞれ、公式ページを開設する。</p> <p>21 (株)山一佐藤紙店が80周年を迎え、記念のオリジナル万年筆夕鶴を販売する。</p>	<p>17 根釧酪農構想検討会議で根釧酪農ビジョンを策定する。</p>
3	<p>5 大楽毛よしの幼稚園の新園舎が完成し、落成式が行われる。</p> <p>12 ジャパンチャージネットワーク直営の電気自動車用急速充電装置釧路1号機が、ローソン釧路錦町店で供用開始される。</p> <p>18 釧路港が全国3番目となる、臨海部産業エリア形成促進港として、国土交通省の指定を受ける。</p> <p>20 第1管区海上保安本部釧路航空基地のヘリコプター「たんちょう」が退役し、後継の「しまふくろう」が配備される。</p> <p>22 新たな吹奏楽団「Brass Ensemble “Progress”」が釧路市内で結成され、初公演を行う。</p> <p>23 (独)釧路労災病院は、釧根初の地域医療連携総合センターを開設する。</p> <p>26 釧路市と(一社)日本自動車連盟釧路支部は、観光振興に関する連携協定を締結する。</p> <p>31 釧路港東港区水面貯木場が廃止される。</p>	<p>13 臨時寝台特別急行列車トワイライトエクスプレスが運行を終了する。</p> <p>13 東洋ゴム工業の免震ゴムの性能データ改ざんが明らかになる。</p> <p>14 北陸新幹線が開業する。</p> <p>21 東日本大震災で被災した石巻線が全線で運行を再開する。</p> <p>29 道東自動車道白糠IC-浦幌IC間26キロが開通する。</p> <p>* 別海町内の「ちえのわ事業協同組合」が生乳卸MMJに生乳を初出荷する。</p>
4	<p>1 阿寒湖温泉の入湯税が値上げされる。</p> <p>1 JX日鉱日石エネルギー(株)の釧路LNG基地が完成し、運転を開始する。</p> <p>1 双葉保育園が民間に移管され、新たに開園する。</p> <p>6 釧路市末広振興会と釧路警察署が、地域安全協定を締結する。</p> <p>12 30歳以下の若者による奉仕団体、釧路レオクラブが結成され、結成式が行われる。</p>	<p>1 東武トラベル(株)とトップツアー(株)が合併し、東武トップツアーズが発足する。</p> <p>1 生活困窮者自立支援法が施行される。</p>

平成27年(2015)

<p>16 「水のカムイ観光圏～釧路湿原・阿寒・摩周」が観光庁から新観光圏の認定を受け、認定書の授与式が行われる。</p> <p>17 市内企業関係者らによる釧路日米協会が設立され、設立総会が開かれる。</p> <p>21 阿寒ロイヤルホテルが長期休業する。</p> <p>22 (特非)トラストサルン釧路が自然環境功労者として、2015年度の環境大臣表彰を受賞する。</p> <p>26 JR釧路駅前の釧路東急インがホテルクラウンヒルズ釧路と名称を変更する。</p> <p>27 阿寒町中徹別で気温が31度を観測し、道内で4月としては17年ぶりの真夏日となる。</p> <p>27 緑化団体「緑いっぱい市民運動」世話人会が2015年の緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞する。</p>	<p>8 成田空港の第3旅客ターミナルが供用を開始する。</p> <p>12 高橋はるみが道知事4選を果たす。</p> <p>26 苫小牧市のホクトの工場内で火災が発生する。</p>
<p>5 1 釧路市は、輝くまちづくり交付金事業を創設する。</p> <p>6 釧路地方気象台が過去最速でサクラの開花宣言を出す。</p> <p>7 釧路市役所防災庁舎での業務が始まる(落成式4月28日)。</p> <p>17 ママさんバレーボールチーム釧路共栄が全国大会に北海道代表として初出場する。</p> <p>23 釧路市は音楽グループTRFメンバーSAMを釧路市観光大使に任命する。</p> <p>26 「せんかま」で知られる釧路蒲鉾工業協同組合が事業を停止する。</p>	<p>17 大阪都構想の是非を問う住民投票が実施され、反対多数で否決される。</p>
<p>6 2 釧路市内の茶道の家元6支部が、釧路茶道協会を設立する。</p> <p>5 釧路市は医療品メーカーのエーザイ(株)と認知症対策・地域包括ケアの推進に関する包括的連携協定を締結する。</p> <p>9 釧路市は、札幌医科大学と地域医療の向上に向けた連携協定を締結。</p> <p>12 すえひろ祭りが6年ぶりに復活する。</p> <p>18 釧路市連合町内会、釧路市小中学校校長会、釧路市教育委員会が「子どもたちの健全育成のための域校連携共同宣言」を行う。</p> <p>22 知的障がい者支援施設、おんべつ学園が、音別町川東に移転し落成式が行われる。</p> <p>29 釧路市はジャズピアニストの木原健太郎を観光大使に任命する。</p> <p>30 駒場新生町内会が再建総会を開く。</p> <p>30 糖尿病の専門医として治療に取り組んできた加勢内科医院が閉院する。</p>	<p>17 選挙権の年齢を18歳以上とする公職選挙法改正案が参議院で可決し成立する。</p>
<p>7 3 中国東方航空の釧路-上海線のチャーター便が運航を始める。</p> <p>4 釧路市松浦児童館が開館50周年を迎え、記念式典が開かれる。</p> <p>7 市内4カ所目の釧路市中部子育て支援拠点センターサテライトよちよちひろば新橋がイトーヨーカドー内に開設される。</p> <p>7 カナダ・バーナビー市との姉妹都市提携50周年を迎え、公式訪問団がバーナビー市を訪問する。</p> <p>13 工場爆発火災で事業を停止していたバイオマテックジャパン(株)が新工場の落成記念式典を行う。</p> <p>15 地方創生の施策について民間の委員が検討する「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議」が初会合を開く。</p> <p>19 第30回記念大会釧路湿原全国車いすマラソン大会が開催される。</p> <p>21 (株)エコパワーJPが音別町で建設を進めていた最大出力2万キロワットの大規模太陽光発電所が完成し、竣工式が行われる。</p>	<p>5 明治日本の産業革命遺産、製鉄・製鋼、造船、石炭産業が世界遺産に登録される。</p> <p>20 アメリカとキューバが54年ぶりに国交を回復する。</p> <p>29 ウインドウズ10の一般供用が開始される。</p> <p>31 苫小牧沖で商船三井フェリー所有の「さんふらわあ たいせつ」の火災事故が発生する。</p>

平成27年(2015)

	<p>24 釧路市役所防災庁舎前広場で「釧路市まちなかにぎわい広場」が初開催される。</p> <p>* 喫茶リリーが開店80周年を迎える。</p>	
8	<p>5 将棋の羽生善治王位と広瀬章人8段による第56回王位戦7番勝負第3局が六園荘で行われる。釧路開催は10年ぶりとなる。</p> <p>20 第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会で釧路北陽高等学校が全国準優勝する(～23日)。</p> <p>20 全国中学校体育大会のバドミントン競技が開催される。釧路市で開催されるのは、03年のバレーボール競技以来13年ぶり(～23日)。</p> <p>21 釧路湿原の国立公園指定に貢献した北海道教育大学の岡崎由夫名誉教授が死去する。</p> <p>22 第50回全国高等専門学校体育大会第39回全日本高等専門学校選手権大会で釧路工業高等専門学校男子バドミントン部が団体と個人を制し、日本一2冠に輝く。</p> <p>27 釧路国際ウェットランドセンターが、国際交流などの取り組みの評価を受け、2015年度の外務大臣表彰を受ける。</p>	6 前身大会から数えて、100回目となる全国高校野球選手権大会が開幕する。
9	<p>1 釧路市が整備するテレワーク拠点が錦町駐車場に隣接するオフィススペースに開設される。</p> <p>2 釧路市内の建築士で組織する勉強会、月曜塾が30周年を迎え、名作椅子30脚展を開催する。</p> <p>3 人間国宝の狂言師、野村万作と萬斎父子の釧路公演が行われる。</p> <p>4 釧路市立昭和・共栄・鳥取小学校のトイレが、内閣府の日本トイレ大賞の文部科学大臣賞に選ばれ、東京で授賞式が行われる。</p> <p>7 北海道私立専修学校各種学校連合会の2015年度教育研修会が12年ぶりに釧路市で開かれる(～8日)。</p> <p>19 釧路市男女平等参画センター「ふらっと」の開設記念式典が開かれる。開設は24日、釧路フィッシャーマンズワーフMOO3階。</p> <p>22 世界的なバイオリニスト川島成道を招聘し、釧路公演を行ってきた川島成道公演実行委員会が活動を休止する。</p> <p>30 (一財)日本船員厚生協会の宿泊施設の釧路海員会館エスカル釧路が閉館する。</p>	10 台風18号から変わった低気圧の影響で、関東地方の河川の氾濫が相次ぐ。
10	<p>1 まちづくりの基本ルールを定めた釧路市まちづくり基本条例が施行される。</p> <p>3 (公財)アイヌ文化振興・研究推進機構主催のアイヌ文化フェスティバルin釧路が釧路市で初開催される。</p> <p>9 水産海洋学会の研究発表大会が釧路市観光国際交流センターで開催される(～12日)。釧路での開催は初。</p> <p>25 釧路市連合町内会が50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>31 くしろ水産センター内の「くしろ港食堂ジョナサン」が閉店する。</p>	<p>1 スポーツ庁が設置され、初代長官に水泳の鈴木大地が就任する。</p> <p>5 ノーベル生理学・医学賞に大村智が選ばれる。</p> <p>5 マイナンバー制度が始まる。</p> <p>5 環太平洋経済連携協定が大筋合意する。</p> <p>6 ノーベル物理学賞に梶田隆章が選ばれる。</p> <p>11 ラグビーW杯で日本が歴史的3勝をあげる。</p> <p>14 若者の結婚を応援する釧路管内結婚支援協議会が設立され、初会合が開かれる。</p>
11	<p>6 手話を使って豊かに暮らせる街の実現を目指す検討会が発足する。</p> <p>6 第12回全日本女子フットサル選手権大会が、「湿原の風アリーナ釧路」で開催される(～8日)。</p>	<p>12 石油元売りの出光興産と昭和シェル石油が、統合に向けた基本合意書を締結する。</p> <p>13 パリ同時多発テロ事件が発生する。</p>

平成27年(2015)

	<p>7 釧路出身の直木賞作家桜木紫乃原作の映画『起終点駅 ターミナル』が全国公開される。</p> <p>7 釧路工業高等専門学校が創立50周年を迎え、記念式典を行う(1965年4月創立)。</p> <p>8 釧路音楽協会が1966年発足以来設立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>15 釧路で10年ぶりの、北海道文化団体協議会主催の北海道文化集会釧路大会が釧路市生涯学習センターで開かれる。</p> <p>17 北日本漁業経済学会の第44回釧路大会が釧路市観光国際交流センターで開かれる。</p> <p>20 道東ドクターヘリが、十勝の一部を運航圏域に組み入れ、本格運行を始める。</p> <p>28 釧路市立共栄中学校柔道部の女子3人が、横井七之助旗争奪北海道中学校新人柔道団体優勝大会女子団体戦で初優勝する。</p>	
12	<p>1 俳句結社えぞにう社発行の月刊誌『えぞにう』が最後の発刊を迎える。</p> <p>6 アイスホッケーの日本製紙クレインズが第83回全日本選手権大会決勝で王子イーグルスを破り2年ぶりに優勝する。</p> <p>12 本格的な津波避難施設の機能を備えた道内初の道営住宅「であえーる幸団地」が完成し、見学会が開かれる。</p> <p>17 台湾のエバー航空が1月9日までの期間限定で、釧路-台北線の国際チャーター便を運航する。</p> <p>19 丹頂の里赤いベレー内に、物産品販売所阿寒マルシェがオープンする。</p> <p>24 武修館高等学校アイスホッケー部が第68回北海道高校選手権大会で、武修館高等学校としては初の優勝を果たす。</p> <p>24 釧路市は北洋銀行と連携及び協力に関する協定を締結する。</p> <p>25 釧路市は人口減少時代に対応したまちづくりの指針「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定する。</p> <p>25 釧路市は釧路信用金庫と連携及び協力に関する協定を締結する。</p>	<p>1 労働安全衛生法が改正、雇用50人以上の事業所にストレスチェックが義務化される。</p> <p>3 石油元売りJXホールディングスと東燃ゼネラル石油が経営統合に合意する。</p> <p>12 この年の漢字に「安」が選ばれる。</p> <p>20 札幌市の路面電車、すすきの-西4丁目間が開通し、ループ運転が開始される。</p> <p>28 慰安婦問題日韓合意が成立する。</p>
この年	この年	この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市の人口が半世紀ぶりに18万人を割り込む。 ○ 北海道開発局 釧路開発建設部が、大楽毛地区で釧路新道上に避難するための避難階段を新設する。 ○ 阿寒町観光振興公社は、温泉水を利用したオリジナルの阿寒丹頂の里、温泉せっけんエピルを商品化する。 ○ 釧路市は、通訳者の登録制度をスタートさせる。 ○ 釧路市は、市内の中小企業を支援する資金を全国から調達するくしろ応援ファンドを創設する。 ○ 釧路市は、旬の魚介類を月ごとに重点的にPRするくしろプライド釧魚事業を開始する。 ○ 市立釧路総合病院に形成外科と救急科が新設される。 ○ マリン・トボスクしろで公開している釧路の水産業紹介映像を10年ぶりに更新する。 ○ 市立釧路図書館の発行する図書館報『市立釧路図書館だより』が、1952年『読書人』として発行以来、通算100号を迎える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月上旬に相次いだ暴風雨の影響で、釧根管内の秋サケ定置網漁が打撃を受ける。

平成27年(2015)

- 市立釧路総合病院が2015年度自治体優良病院の会長表彰を受ける。会長表彰は道内では3院目となる。
- 釧路湿原自然再生協議会が2014年度土木学会環境賞を受賞する。
- 東北海道年鑑の最終号が発刊される。1954年創刊以来62年の歴史に幕を下ろす。
- くしろ元町青年団が結成される。
- 釧路市内の市営住宅や道営住宅などで旭化成建材(株)によるくい打ち工事データ改ざんが明らかになる。
- 釧路市が旧日本銀行釧路支店を保存のため取得する。

新語・流行語大賞 「爆買い」 「トリプルスリー」

平成28年(2016)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>8 音別地区の新たな魅力を発見する音別新八景が決まる。</p> <p>21 釧路工業高等専門学校と千葉工業大学は学生の受け入れや共同研究など、包括的な連携に関する協定を締結する。</p> <p>22 武修館高等学校アイスホッケー部が第65回全国高等学校スケート・アイスホッケー競技選手権大会で初優勝する。</p> <p>22 釧路市スポーツ少年団が創立30周年を迎え、記念式典・祝賀会を開催する。</p> <p>29 観光庁の観光立国ショーケース事業の対象自治体として釧路市が選定される。</p> <p>* 市内でガソリンや灯油価格の下落が続き、一部のスタンドではレギュラーガソリンが1リットル当たり100円の大打を下回る。</p>	<p>15 軽井沢スキーバス転落事故が発生し、多数の死者が出る。</p> <p>29 日銀が金融政策決定会合で、マイナス金利政策の導入を決める。</p> <p>* ロシア200カイリ内サケ・マス流し網漁が禁止となる。</p>
2	<p>1 釧路空港駐車場の駐車料金が30分まで無料となる。</p> <p>9 スーパー空白区になっていた美原地区に、あいちょう美原店がオープンする。</p> <p>12 くしろ水産センターの釧ちゃん食堂がオープンする。</p> <p>13 釧路商工会議所青年部の創立20周年と市民団体チーム響の10周年を記念した、林修の講演会が開催される。</p> <p>15 釧路市と北海道銀行は地方創生に関する連携協定を締結する。</p> <p>16 ユース五輪冬季競技大会2016で、アイスホッケー・女子スキルチャレンジ日本代表の竹中星奈が、スキルチャレンジで日本初となる金メダルを獲得する。</p> <p>22 釧路市は、阿寒湖「まりむ館」内に、旅行関連本を無料で閲覧できる旅の図書館、阿寒湖温泉サテライトを開設する。</p> <p>25 釧路市とANAセールス(株)は、観光振興など5項目で連携協定を締結する。</p> <p>24 国土交通省は釧路港を、穀物に関する特定貨物輸入拠点港湾に指定する。</p> <p>26 138年の歴史をもつ、寿1丁目の御得稲荷神社・釧路妙見神社本殿社務所が閉鎖される。解体は3月中。</p>	<p>4 環太平洋パートナーシップに署名する。</p> <p>15 指揮者の小澤征爾が第58回グラミー賞で最優秀オペラ録音賞の栄誉に輝く。</p>
3	<p>6 釧路市タンチョウ鶴愛護会の設立50周年記念講演会が開催される。</p> <p>6 チーズの種類や作り方、歴史などの基礎知識を問う、C.P.Aチーズ検定が釧路市内で初開催される。</p> <p>12 道東自動車道の白糠IC-阿寒IC間が開通し、開通式を行う。</p> <p>12 釧路外環状道路釧路西IC-釧路東IC間が開通する。</p> <p>18 釧路市議会有志の組織、釧路市議会アイス政策推進議員連盟が設立される。</p> <p>19 北海道教育大学釧路校交響吹奏楽部金管八重奏チームが第39回全日本アンサンブルコンテスト、大学の部で金賞を受賞する。</p> <p>22 釧路市地域公共交通活性化協議会の設立総会が開かれる。</p>	<p>18 地域で活躍する木育マイスターを一堂に集めた釧路管内木育推進情報交換会議が初開催される。</p> <p>22 改正自殺対策基本法が成立する。</p> <p>26 北海道新幹線(新青森-新函館北斗、約149キロ)が開業する。</p>

平成28年(2016)

	<p>24 閉校する釧路市立中徹別小学校と同仁々志別小学校の最後の卒業式と校旗返還式が行われる。</p> <p>25 第10回全日本少年アイスホッケー大会・中学男子の部が釧路市で開催される。</p>	
4	<p>1 各地区のコミュニティーセンターに設置されている図書室が市立釧路図書館の指定管理者(株)図書館流通センターの管理となる。</p> <p>1 彫刻家米坂ヒデノリが82歳で死去する。</p> <p>1 (一財)くしろ知域文化財団が設立される。</p> <p>1 釧路市文化団体連絡協議会と釧路市教育委員会が、釧路市小中学校芸術文化活動支援事業をスタートさせる。</p> <p>1 サッカーの北海道コンサドーレ札幌が、道東初のユースチームコンサドーレ釧路を発足させる。</p> <p>1 病後児保育が釧路市共栄保育園で始まる。</p> <p>5 三ッ輪運輸(株)が釧路港で建設していた飼料用穀物サイロが完成し、竣工祝賀会を開催する。</p> <p>20 釧路市は、観光立国ショーケースのプロジェクトチームを発足させる。</p> <p>21 漁業者や流通加工業者、漁業関連業者でつくる(一社)釧路水産協会が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>29 道の駅阿寒丹頂の里の拠点施設赤いベレーにドッグランとお散歩コースが整備され、無料開放がスタートする。</p>	<p>1 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行される。</p> <p>1 電力自由化がスタートする。</p> <p>14 熊本地震が発生し、大きな被害が出る。</p> <p>20 囲碁の井山裕太6冠が史上初の全7冠を達成する。</p>
5	<p>5 釧路市動物園はコミズクの「コミタン」の最終フライトガイドを行う。</p> <p>6 第42回くしろチューリップ&花フェアの会場となる鶴ヶ岱公園で、チューリップ500本がエゾシカに食い荒らされる。</p> <p>20 釧路消費者協会が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>27 釧路市は(株)セブン-イレブン・ジャパンと釧路市地域安心ネットワーク事業の地域見守り活動に関する協定を締結する。</p>	<p>9 パナマ文書が公開される。</p> <p>12 日産自動車と三菱自動車が、資本業務提携で基本合意する。</p> <p>26 伊勢志摩サミットが開催される。</p> <p>27 オバマ大統領は、現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問する。</p>
6	<p>1 釧路市は、国際定期便やチャーター便などを対象に、釧路空港の着陸料軽減措置を講じる。</p> <p>6 日本プラネタリウム協議会主催の全国プラネタリウム大会が3日間の日程で釧路市で開かれる。</p> <p>8 漁業者や流通業者、飲食店関係者らが、くしろプライド釧魚推進委員会を設立する。</p> <p>19 北海道教育大学釧路校の佐藤昌之名誉教授が84歳で死去する。</p> <p>26 イオンモール釧路昭和店で無差別通り魔事件が発生する。</p> <p>* 阿寒観光協会まちづくり推進機構と釧路市などは、6月に阿寒湖温泉地熱利用推進協議会を発足させる。</p>	<p>15 イチローが日米通算4257安打を打ち、メジャー最多安打記録を抜く。</p> <p>19 公職選挙法施行、選挙権が18歳に引き下げられる。</p>
7	<p>11 2018年度から10年間釧路市の指針となる、釧路市まちづくり基本構想をつくる市民委員会の初会合が開かれる。</p> <p>14 釧路市立博物館が創立80周年を迎える。</p> <p>15 釧路市は人口減少対策の柱となる「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進会議を設置する。</p> <p>20 観光庁は、地域資源を活用した観光地魅力創造事業の支援地域に釧路市を含む34件を指定したことを発表する。</p>	<p>17 国立西洋美術館が世界文化遺産に登録される。</p> <p>22 スマホアプリ、ポケモンGOの配信がスタートする。</p> <p>26 相模原市の障がい者施設で殺傷事件が起きる。</p>

平成28年(2016)

	<p>25 国立公園をブランド化する事業、国立公園満喫プロジェクトに阿寒国立公園が選ばれる。</p> <p>31 台湾と釧路の子どもの音楽を通じた日台親善小学校交流演奏会を行う。</p>	
8	<p>1 釧路市消防本部はドローンで情報収集し、消防活動に役立てるため、市内の3社でつくる946ドローンサポート隊と協定を締結する。</p> <p>7 釧路アイヌ文化懇話会が発足30年を迎え、創立30周年記念講演会を開催する。</p> <p>11 「KUSHIROおもてなしグルメフェスタ2016in幣舞」が幣舞河畔公園で初開催される(～13日)。</p> <p>17 台風7号の影響で交通機関の運休や欠航が相次ぐ。釧路根室管内で2万戸以上が停電する。</p> <p>20 布伏内で年1回開催の音楽イベント楽音古潭が16回目で終了する。</p> <p>31 JR釧路駅近くの複合商業施設アベニュー・クシロが閉店する。</p>	<p>5 夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会が開幕する(～21日)。</p> <p>11 国民の祝日に関する法律の改正により、この日が「山の日」となる。</p> <p>15 自由と民主主義のための学生緊急行動(SEALS)が解散する。</p> <p>24 台風9号の影響で運休していた特急が4日ぶりに運行を再開する。釧網線は復旧の見通しが立たない状況になる。</p> <p>* 台風が相次いで北海道に上陸し、甚大な被害をもたらす(17日～23日)。</p>
9	<p>1 日本郵便北海道支社は、釧路市立博物館創立80周年を記念したオリジナル切手「いのちをつなぐ釧路の動物たち」を発売する。</p> <p>2 釧路川両岸を会場に釧路川幣舞橋フェスタ2016が初開催される。</p> <p>10 壬生流中山文甫会北海道第1支部は支部創立50周年記念いけばな展を開く(～11日)。</p> <p>14 釧路市愛国地区で17年ぶりに子どもみこしが復活する。</p> <p>30 (株)北海道サラダパブリカが、大楽毛に建設したパブリカ植物工場の開所式を行う。</p>	<p>3 将棋の藤井聡太が14歳2か月で4段に昇格、史上5人目の中学生棋士となる。</p> <p>10 プロ野球広島カープが25年ぶりにリーグ優勝する。</p> <p>16 運休が続いていた釧網線の運行が28日ぶりに再開される。</p> <p>* 台風10号の影響で特急おぞらの運休が長期化する。</p>
10	<p>2 緑ヶ岡6丁目東部町内会が創立50周年記念式典・祝賀会を開催する。</p> <p>10 (一社)釧路聴力障害者協会が運営する就労継続支援B型事業所「手と手」の開設記念式典を行う。</p> <p>13 釧路市の若者が自らまちづくりに参加する市民組織「釧路わかもの△カイギ」が設立の会議を開き、正式に発足する。</p> <p>15 山花オートキャンプ場の入場者が10万人を達成する。</p> <p>22 釧路ラーメン麺遊会に所属するラーメン店主が共同出店した釧路ラーメン元気横丁が閉店する。</p> <p>23 釧路市長選挙が行われ、蝦名大也が3選を果たす。</p> <p>27 (特非)タンチョウ保護研究グループが、第22回日韓国際環境賞を受賞する。</p> <p>29 広告会社の(株)道東シティプロモーション協会が企画した第1回道東クイズ王決定戦が開催される。</p>	<p>3 大隅良典のノーベル医学生理学賞授与が発表される。</p> <p>20 レスリングの伊調馨が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>29 北海道日本ハムファイターズが10年ぶり3度目の日本一になる。</p>
11	<p>1 全国で空港のある50市区の議会からなる全国民間空港所在都市議会協議会の第90回臨時総会が釧路市で開かれる。</p> <p>3 釧路市立博物館は創立80周年を記念し、常設展示室1階の魚類・両生類の展示をリニューアルする。</p> <p>3 くしろ日本舞踊協会が、くしろ邦楽邦舞協会と改称して第1回記念公演を行う。</p> <p>4 釧路市は閉山した炭鉱など石炭産業に関する研究を進めている早稲田大学文学学術院と相互協力協定を締結する。</p> <p>5 釧路ロータリークラブが創立80周年を迎え、記念講演会を開催する。</p>	<p>4 地球温暖化対策の国際的枠組みパリ協定が発効する。</p> <p>8 米大統領選挙でドナルド・トランプが当選する。</p> <p>30 「山・鉾・屋台行事」がユネスコの無形文化遺産に認定される。</p> <p>* JR北海道が釧網線、花咲線を単独では維持困難な路線として正式発表する。</p> <p>* 堅実実業厚岸蒸溜所がウイスキーの蒸溜を開始する。</p>

平成28年(2016)

	<p>8 第13回北海道きのこ品評会で、ワークセンター音別のシイタケが、菌床生シイタケ部門で林野庁長官賞を受賞する。</p> <p>12 阿寒町の道の駅の新インフォメーションセンター(愛称クレインズテラス)がオープンする。</p> <p>12 釧路学校柔道連盟が50周年を迎え、記念祝賀会を開催する。</p> <p>13 阿寒町商工会青年部が設立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>14 第1管区海上保安部は、研修科潜水技術課程参加候補者選考会を釧路で初開催する。</p> <p>15 釧路港の利用促進を協議する釧路港湾特定貨物輸入拠点港湾利用促進協議会が発足する。</p> <p>28 コンビニエンスストア大手(株)セイコーマートの釧路配送センターが本格稼働する。</p>	
12	<p>1 自動車登録業務代行センターなどの運営を担う、日本自動車販売協会連合会釧路支部が創立50周年記念式典を行う。</p> <p>3 釧路市の第1回「くしろ男女いきいき参画表彰」に、ボランティアサークルあそぼと不動産の(株)ユタカコーポレーションが選ばれる。</p> <p>3 2016B-1グランプリスペシャルで「釧路ザンタレなんまら盛り上げ隊」が、行きたいまち、住みたいまち、応援したいまちの来場者投票で3位となる。道内の団体が表彰台に上るのは初めて。</p> <p>19 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会の塚原鼓童指導理事が死去する。</p> <p>* 釧路市の年末年始の休みが12月29日～1月3日になる。</p>	<p>1 日本郵便北海道支社は、切手シート「湿原の神と呼ばれたタンチョウ」を発売する。</p> <p>4 留萌本線の留萌駅～増毛駅間が廃止される。</p> <p>12 この年の漢字に「金」が選ばれる。</p> <p>21 日本原子力研究開発機構の高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉が正式に決定する。</p> <p>22 台風被害の影響で8月30日から運休していた特急スーパーおおぞらと特急スーパーとかちの運行が再開される</p>
この年	この年	この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路弁護士会が100周年を迎える(根室弁護士会から釧路弁護士会に1916年名称変更)。 ○ 釧路総合振興局釧路建設管理部は道道富士見桜ヶ岡線の春採橋の架け替え工事に着手する。 ○ 釧路ポイントカード事業協同組合は、くしろスキップカードに寄附したポイントなどを積み立てる、まちづくり基金の運用を始める。 ○ 釧路市が2016年度から小学校5、6年生の児童を対象としたキッズ健診を開始する。 ○ 釧路市立博物館所蔵のアイヌ民族衣装木綿衣「ルウンベ」が世界最古の可能性があることが分かる。 ○ 釧路国際ウェットランドセンターは、マレーシアの環境保全団体サラワク森林コーポレーションとパートナーシップ協定を締結する。 ○ 北海道開発局釧路開発建設部は、釧路川水系で最大規模の洪水が発生した場合の浸水予想地図を公表する。 ○ (一財)前田一步園財団で理事長の前田三郎が顧問に、新井田利光が新たに理事長に就任する。 ○ 2008年に新種として発表されたラン「シテンクモキリ」が阿寒湖温泉で発見される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理化学研究所などのチームが合成した原子番号113番元素の名称が「ニホニウム(nihonium)」に正式決定する。 ○ 長期金利が初のマイナスになる。 ○ ソニーが、ベータビデオカセットとマイクロMVカセットテープの生産を終了する。 ○ イギリスが国民投票でEUからの離脱を決める。 ○ ピコ太郎の《PPAP》がギネス世界記録に認定される。

平成28年(2016)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 阿寒国立公園広域観光協議会は、加盟11市町の魅力を発信する公式ウェブサイトを立ち上げる。○ 釧路夕焼け倶楽部が、第1回世界三大夕日の街フォトコンテストを実施する。 | |
|--|--|

新語・流行語大賞 「神ってる」

平成29年(2017)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>3 元北海道教育大学長で全釧路剣道連盟の石井久会長が92歳で死去する。</p> <p>13 釧路初となるスピードスケートの全日本ノービス競技会が開催される。</p> <p>17 花柳基はるなが東京の国立劇場で行われた、若手日本舞踊家の登竜門、各会派合同新春舞踊大会で、最優秀賞を受賞する。</p> <p>18 第38回全国都市清掃研究・事例発表会が釧路市観光国際交流センターで行われる(～20日)。</p> <p>19 ジャズ喫茶「ジス・イズ」の小林東が死去する。</p> <p>30 釧路市が地団大手の(株)ゼンリンと災害時の協力協定を締結する。</p>	<p>25 大相撲稀勢の里が、日本出身力士として19年ぶりに横綱に昇進する。</p>
2	<p>1 北海道赤十字血液センター釧路事業所の竣工記念式典が、同事業所で行われる。</p> <p>2 釧路市は「(公財)北海道宅地建物取引業協会釧路支部」「釧路司法書士会」「釧路市建築事業協会」「(一社)北海道建築士事務所協会釧路支部」と空家等の対策に関する協定を締結する。</p> <p>20 (株)北海道サラダパブリカの初出荷式が、同工場で行われる。</p> <p>20 日本棋院囲碁普及尾越支部が釧路市でスタートする。</p> <p>26 北海道教育大学釧路校の学生プロジェクトが《HUEK交響詩「釧路」》を演奏会で初披露する。</p>	<p>19 第8回アジア冬季競技大会が札幌で開催される(～26日)。</p> <p>23 横須賀市で道路が37メートルにわたり陥没する。</p> <p>24 個人消費喚起キャンペーン、プレミアムフライデーが初実施される。</p> <p>25 第8回アジア冬季競技大会でアイスホッケー女子代表が5戦全勝し初優勝を果たす。</p>
3	<p>9 釧路市内の女性でつくる勉強会、釧路市第1生活学校が閉講式を行い、50年の歴史に幕を下ろす。</p> <p>17 釧路市手話言語条例が市議会2月定例会で可決され正式に制定される。</p> <p>22 釧路市内の港や海岸に流水が流れ込み、統計開始以来最も遅い流水初日を観測する。流水による漁業被害が発生する。</p> <p>30 釧路機船漁業協同組合の新たな調理加工施設「機鱗」が新富士町に完成し、落成式が行われる。</p> <p>31 約30年にわたり、道東の空の安全を守ってきた釧路航空路監視レーダー事務所が閉鎖される。</p> <p>31 釧路観光コンベンション協会と阿寒観光協会まちづくり推進機構は、統合した釧路・阿寒湖観光公式サイトを開設する。</p>	<p>5 釧路、根室管内の漁業者が加入する根釧漁船保険組合が、全国組織への統合記念式典を開き、79年の歴史に幕を下ろす。</p> <p>27 格安旅行会社(株)てるみくらぶが破産手続きを開始する。</p> <p>27 栃木県那須温泉ファミリースキー場で雪崩が発生、巻き込まれた高校生7人と教員1人が死亡する。</p>
4	<p>1 市立釧路図書館の指定管理者が、(一財)くしろ知域文化財団と(一財)釧路市民文化振興財団の共同組織体に替わる。</p> <p>1 釧路市は「COOL CHOICE」市長宣言を行う。</p> <p>5 アイス彫刻家で釧路市文化賞受賞者の瀧口政満が死去する。</p> <p>20 若者主体のまちづくりを推進する「釧路わかもの△カイギ」の第1回会議が釧路公立大学で開かれる。</p> <p>24 マルハニチロ北日本釧路工場は、道東産のマイワシを使ったフィリピン向けの缶詰約8万個を製造する(マイワシ缶詰の輸出は70年ぶり)。</p> <p>28 要配慮者が2次的に避難する福祉避難所施設開設のため、釧路市と市内社会福祉法人(10法人14施設)が協定を締結する。</p>	<p>1 名古屋市にテーマパーク「レゴランド・ジャパン」が開業する。</p> <p>9 内村航平が全日本体操競技選手権大会で10連覇を達成する。</p> <p>10 フィギュアスケートの浅田真央が現役引退を表明する。</p> <p>20 福岡市で現金3億8400万円強奪事件が発生する。</p>
5	<p>7 30周年を迎えた釧路アイス文化懇話会の総会が開かれる。</p> <p>8 5年8か月ぶりに日航釧路支店が太平洋興発ビルに開設される。</p>	<p>18 第101回インディ500決勝レースで佐藤琢磨が日本人初の優勝を果たす。</p>

平成29年(2017)

	<p>10 釧路市は、世界的に活躍しているバイオリニスト川島成道に市長特別表彰を贈呈する。</p> <p>11 全国市区選挙管理委員会連合会北海道支部の総会が9年ぶりに釧路市で開かれる。</p> <p>20 釧路造園組合は、50周年事業として鶴ヶ岱公園に新設した庭のお披露目会を開く。</p> <p>31 釧路山札スタンプ会は山札スタンプの発行を終了する。</p>	
6	<p>1 釧路市独自の住民主体の通所サービス「おたっしサービス」がスタートする。</p> <p>10 釧路市鳥取大通の誠行寺が、開教100年記念法要を行う。</p> <p>17 第1回イランカラプテ音楽祭in阿寒湖が阿寒湖アイヌシアター「イコロ」で開かれる。</p> <p>28 20年ぶりにレッサーパンダのキンが赤ちゃん(コキン)を出産する。</p>	<p>1 日本郵便のはがき・切手が52円から62円となる。</p> <p>18 中国から神戸港に運ばれた積み荷から有毒なヒアリが日本で初確認される。</p> <p>20 将棋の最高齢プロ棋士、加藤一二三9段が現役を引退する。</p>
7	<p>1 釧路市は、音別特産のフキを使った和紙、富貴紙の試験販売を行う。</p> <p>3 釧路市は(株)セブン-イレブン・ジャパンと災害時の物資調達・供給に関する協定を締結する。</p> <p>7 2020年東京五輪・パラリンピック競技大会で、釧路市はベトナムのホストタウンに登録される。</p> <p>8 表千家同門会釧路支部は創立50周年記念式典・祝賀会を行う。</p> <p>18 釧路保健所が旧聾学校跡地に引っ越し、通常業務を開始する。</p> <p>25 プロ野球パ・リーグ公式戦北海道日本ハムファイターズ-千葉ロッテマリーンズ戦が8年ぶりに釧路市民球場で行われる。</p> <p>26 全日本ジュニア体操クラブ連盟主催の東日本ジュニア体操競技選手権大会が「湿原の風アリーナ釧路」で行われる(～29日)。</p> <p>29 (一財)釧路市公園緑化協会の創立30周年記念事業が釧路市生涯学習センターで行われる。</p> <p>31 釧路湿原国立公園指定30周年記念シンポジウムが開かれる。</p> <p>* (一社)釧路観光コンベンション協会は、釧路コールマイン(株)について学ぶ産業観光ツアーを初企画する。</p>	<p>5 九州北部豪雨災害が発生する(～6日)。</p> <p>7 全国各地からクラシックカーが集結する北海道クラシックカーラリー2017が道東をルートに開催される(～9日)。</p> <p>9 沖ノ島の世界文化遺産への登録が決定する。</p> <p>21 横綱白鵬が通算最多1048勝を達成する。</p>
8	<p>6 第70回くしろ港まつりで、東京デイズニールランドのミッキー Maus たちを招いたスペシャルパレードが行われる。</p> <p>6 札幌-釧路間の都市間高速バス、スターライト釧路号が運行開始から30年を迎える。</p> <p>8 阿寒国立公園が阿寒摩周国立公園に名称が変更される。</p> <p>12 大規模改修工事が終了した釧路市民球場のリニューアル記念式典が開催される。</p> <p>27 華道家元池坊釧路支部の50周年を記念する池坊巡回講座がプラザよねまちで開かれる。</p> <p>29 釧路市はシンガーソングライターの真氣を観光大使に任命する。</p>	<p>29 北朝鮮の弾道ミサイルが、えりも岬上空を通過し、太平洋上に落下する。</p> <p>31 小樽市の石原裕次郎記念館が閉館する。</p>
9	<p>2 第55回全道サイクリング釧路湿原大会が24年ぶりに釧路市内で開催される(～3日)。</p> <p>9 第1回長靴アイスホッケーインターナショナルサマーフェスティバルが柳町アイスホッケー場で開かれる。</p> <p>12 釧路美術協会の釧美展が100回目を迎える。</p>	<p>9 日本学生陸上競技対抗選手権大会の男子100メートルで桐生祥秀が9.98秒を記録する。</p> <p>29 日産自動車無資格検査問題が発覚する。</p>

平成29年(2017)

	<p>18 台風18号の影響で釧路で最大1530戸が停電する。</p> <p>28 第39回全道高校図書研究大会が釧路市生涯学習センターで開催される(～29日)。</p> <p>28 釧路市は釧路弁護士会と空家等の対策に関する協定を締結する。</p>	
10	<p>6 第47回全国小学校国語教育研究大会北海道大会が釧路市立鶴野小学校で開催される。</p> <p>7 30周年を迎えた釧路公立大学で記念式典が行われる。</p> <p>9 阿寒湖のマリモ発見から120周年を記念して、阿寒湖国際シンポジウムが開催される。</p> <p>13 北海道建築士事務所協会釧路支部が創立50周年を迎え、記念講演会を開催する。</p> <p>21 世界的なバイオリニスト、サラ・チャンのソロリサイタルが9年ぶりに行われる。</p>	<p>8 神戸製鋼所の品質データ改ざんが発覚する。</p> <p>27 SUBARUで無資格検査が発覚する。</p> <p>31 神奈川県座間市のアパートで9人分の遺体が発見される。</p> <p>* 道東沖の巻き網漁で、マイワシの漁獲量が25年ぶりに10万トン突破する。</p>
11	<p>5 市民団体ボードレスアートサポートセンタークシロが、釧路駅地下歩道の壁面に障がい者の絵画等を飾る、クシロ・アンダーグラウンド・アート・ミュージアムのオープニングイベントを行う。</p> <p>5 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会の創立50周年記念公演が釧路市民文化会館で開催される。</p> <p>30 横綱、鶴竜関が音別町で市民と交流する。</p> <p>30 観光庁は、日本版DMOの第1弾登録を行い、(一社)釧路観光コンベンション協会が地域連携DMOに、(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構が地域DMOに選定される。</p>	
12	<p>20 スターバックスコーヒー釧路1号店がオープンする。</p> <p>26 道東で初開催の第96回全日本スキー選手権大会アルペン競技会が国設阿寒湖畔スキー場で開かれる(～28日)。</p> <p>28 釧路港の水揚げ高が4年連続100億円を突破する。</p> <p>29 (有)スズヤ書店本店が閉店する。</p>	<p>1 JR根室本線釧路-厚岸が開業100周年を迎える。</p> <p>1 シャープが国内初の8Kテレビを発売する。</p> <p>5 将棋棋士の羽生善治が史上初の永世7冠を達成する。</p> <p>12 この年の漢字に「北」が選ばれる。</p>
この年		この年
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市阿寒湖の阿寒湖まりも夏希灯が、(一財)地域活性化センターが選ぶ第21回ふるさとイベント大賞の優秀賞を受賞する。 ○ 釧路市は、人口減少、少子・高齢化に耐え、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるための立地適正化計画をまとめる。 ○ 釧路市は、北大通周辺の散策スポットをまとめた釧路市景観まち歩きマップを完成させる。 ○ 釧路市は、学生の消防団活動に対する認証制度を導入する。 ○ 25歳の町内会長が誕生する(鳥取大通9丁目 岡崎傑)。 ○ フキを栽培する(一社)音別ふき路団が設立される。 ○ 民間2団体が、クシロソーシャル大学を立ち上げる。 ○ 亜細亜大学陸上部が初の釧路合宿を行う。 ○ 釧路湿原道路の釧路湿原大橋の改修工事が始まる。 ○ 幣舞公園改修工事に着手する。 <p>新語・流行語大賞 「インスタ映え」 「付度」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 坂本彌太郎が創立した坂本商會が栄えた当時の写真が熊本県で発見される。 ○ 民生委員制度が100周年を迎える。 ○ 三菱、東レなど各社で相次いでデータ改ざんが発表される。 ○ 北方領土の元島民らによる初の航空機を利用した北方墓参が行われる。 ○ サンマ漁が記録的な不漁となる。

平成30年(2018)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>11 釧路市は鶴野地区で冬季としては初の津波避難訓練を行う。</p> <p>13 釧路ハンドボール協会が、創立50周年記念式典・祝賀会を開催する。</p> <p>28 釧路市動物園から男鹿水族館に貸し出されていたホッキョクグマの「クルミ」が死ぬ。</p> <p>* 釧路市の人口が月末時点で苫小牧市を22人下回って道内5位になる。</p>	<p>1 札幌信用金庫、小樽信用金庫、北海信用金庫が対等合併し、北海道信用金庫が発足する。</p> <p>8 振り袖のレンタルや着付けの「はれのひ(株)」(横浜市)が営業を停止する。</p> <p>14 アイスホッケー女子のU-18日本代表が、世界選手権ディビジョン1Aで5戦全勝優勝し、トップディビジョン昇格を決める。</p> <p>31 札幌市の生活困窮者支援施設で火災が発生し、多数の死者を出す。</p>
2	<p>3 釧路市中央図書館と釧路文学館が、北大通の新釧路道銀ビルで開館する。</p> <p>16 第89回北海道スピードスケート選手権大会、第46回北海道スプリントスケート選手権大会が釧路市で開催する(～18日)。</p> <p>21 釧路北陽高等学校出身の佐藤綾乃が、平昌冬季五輪スピードスケート女子団体追い抜きで金メダルを獲得する。</p> <p>27 中小企業クラウド活用事例コンテストin北海道が釧路市内で開かれる。</p> <p>28 白樺台のスーパーヒロセ白樺店が閉店する。</p> <p>28 釧路市は平昌冬季五輪金メダルの佐藤綾乃とアイスホッケー女子日本代表釧路ゆかりの9選手に、市長特別表彰を贈ると発表する。</p>	<p>9 冬季オリンピック・パラリンピック平昌大会が開催される(～3月13日)。</p> <p>13 将棋の羽生善治と囲碁の井山裕太が国民栄誉賞を受賞する。</p>
3	<p>1 北海道教育大学釧路校と釧路総合振興局が、防災教育の普及・啓発に関する覚書を締結する。</p> <p>5 姉妹園提携を結んでいる釧路市の保育園とロシアホルムスク市の幼稚園による合同作品展が始まる。交流は30年目。</p> <p>23 釧路市は「釧路市男女いきいき参画宣言」を行う。</p> <p>27 釧路空港ターミナルビル内の入国審査場を拡張する。</p> <p>28 釧路選抜Aが、第12回全日本少年アイスホッケー大会・中学の部で4年ぶり7回目の優勝を飾る。</p> <p>30 釧路文学館アドバイザー委員会が発足し、初会合が開かれる。</p>	<p>1 暴風雪に見舞われ、釧路川が氾濫危険水位を超え、交通網が乱れる(～2日)。</p> <p>31 1995年サービス開始のPHSが受付を終了する。</p>
4	<p>1 全日本空輸(株)(ANA)は、釧路支店をひがし北海道支店に改編する。</p> <p>28 釧路市は市内にあるマンホールのふたの図柄を紹介するマンホールカードの配布を始める。</p> <p>30 釧路で76年間営業を続けてきた模型のいわさきが閉店する。</p>	<p>1 主要農作物種子法が廃止される。</p> <p>1 日本体育協会が(一財)日本スポーツ協会に名称変更する。</p> <p>1 (一社)日本音楽著作権協会が音楽教室からの著作権の徴収を開始する。</p>
5	<p>26 大楽毛神社の創祀120周年記念式典が行われる。</p> <p>26 釧路市と北海道コンサドーレ札幌の運営会社(株)コンサドーレは包括連携協定を締結する。</p>	
6	<p>1 釧路市交通安全指導員会が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>22 釧路市動物園にチャップマンシマウマ「ナナミ」が仲間入りする。</p> <p>23 阿寒湖西部のシュリコマベツ湾で再生マリモの育成実験が始まる。</p> <p>23 湿原の風アリーナ釧路のトレーニンングルームがリニューアルオープンする。</p>	<p>12 シンガポールで史上初の米朝首脳会談が行われる。</p> <p>22 室蘭-宮古間フェリーが10年ぶりに就航する。</p>

平成30年(2018)

	<p>23 11年ぶりとなる北海道法人会連合会青年部会連絡協議会主催の第27回北海道法人会青年の集いが開かれる。</p> <p>23 「スゲの会」の全国大会が開かれる。(～24日)</p>	<p>28 西日本を中心に、全国的に広い範囲で記録的な大雨となる。</p> <p>29 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産への登録が決定する。</p> <p>29 白糠町で道東初となる木質バイオマス発電所が完成する。</p>
7	<p>11 釧路で22年ぶりの歌舞伎公演となる松竹大歌舞伎の公演が行われる。</p> <p>19 日本水道協会北海道地方支部の総会が、15年ぶりに釧路市で開かれる。</p> <p>25 観光立国ショーケース3都市首長サミットが釧路市で開かれる。</p> <p>* 市立釧路総合病院は、7月から呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科の3科を新設する。</p>	<p>2 フィギュアスケートの羽生結弦が国民栄誉賞を受賞する。</p> <p>5 マルサ笹谷商店が、海産物販売の直営店「釧之助本店」を釧路町にオープンする。</p> <p>6 働き方改革関連法が公布される。</p> <p>27 国土交通相がJR北海道に、2年間で総額400億円台の財政支援を発表する。</p>
8	<p>1 格安航空会社ピーチ・アビエーション(株)の釧路-関西定期便が運航を開始する。</p> <p>21 釧路市が、北大通に無料経営相談施設、市ビジネスサポートセンター(k-Biz)を開設する。</p> <p>21 釧路市とイオン(株)は地域連携協定を締結する。</p> <p>25 フィッシャーマンズワーフMOO1階に外貨自動両替機が設置される。</p> <p>27 住民提案による釧路市の公共施設集約化の第1弾となる緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンターが供用を開始する。</p>	<p>5 第100回全国高等学校野球選手権記念大会が、史上最多56代表校が参加して開幕する(～21日)。</p> <p>5 北海道命名150年を祝う記念式典が行われる。天皇皇后両陛下が御臨席。</p> <p>8 沖縄県の翁長雄志知事が死去する。</p> <p>9 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典にグテーレス国連事務総長が初参列する。</p> <p>17 大雪山系黒岳に今季初の積雪が確認される。1974年以降で最も早い積雪。</p> <p>* 北海道命名150年</p>
9	<p>1 釧路市民文化会館のネーミングライツを(株)リライアブルが取得する。同館はコーチャンフォー釧路文化ホールとなる。</p> <p>9 釧路地区で最も古い町内会、南大通敷島倶楽部が100周年を迎え記念式典を行う。</p> <p>24 釧路市厳島神社で「もっこで奉納 海の幸人レース」が初開催される。</p> <p>* 釧路市は75歳以上の高齢者らに無料歯科健康診査を始める。</p>	<p>4 台風21号の影響で道内では家屋の損壊などの被害が相次ぐ(～5日)。</p> <p>6 午前3時8分ごろ北海道胆振東部地震が発生、道内で大規模停電が発生する。</p> <p>8 テニス女子の大坂なおみが全米オープンで優勝する。</p> <p>16 歌手の安室奈美恵が引退する。</p>
10	<p>14 喜多町内会が創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>14 豊川老人クラブが創立50周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>17 (福)扶躬会の特別養護老人ホーム「ぬさまい」がオープンする。</p> <p>18 大地みらい信用金庫が釧路地区開設50周年を迎え、記念講演会を開催する。</p> <p>26 アイヌ民族彫刻家の藤戸竹喜が84歳で死去する。</p> <p>27 釧路市立湖畔小学校が開校100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>29 釧路市は俳優の池端レイナを観光大使に任命する。</p>	<p>1 本庶佑がノーベル医学生理学賞を受賞する。</p> <p>6 東京都の築地市場が83年の歴史に幕を下ろし、閉場する。</p> <p>11 東京築地市場に代わる豊洲市場が開場する。</p>
11	<p>2 第1線で活躍する文化人が集う、エンジン01in釧路が釧路市内で開催される(～4日)。</p> <p>10 第15回全国高等専門学校デザインコンペティションが国際交流センターで開催される(～11日)。</p>	

平成30年(2018)

<p>10 幕末の探検家松浦武四郎の出身地三重県松阪市の市民と釧路市民が交流する、釧路と松阪をつなぐ交流まつりが開かれる。</p> <p>18 全国の合唱団が一堂に集まるコロ・フェスタ2018in釧路が開催される。</p> <p>18 釧路吹奏楽団の第50回記念定期演奏会が釧路市生涯学習センターで開かれる。</p> <p>23 国際バルク戦略港湾に道内唯一選定されている釧路港西港区第2埠頭の国際物流ターミナルが完成し、記念式典を行う。</p>	<p>12 米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平がアリーグシーズン最優秀新人に選ばれる。</p> <p>19 日産自動車(株)のカルロス・ゴーン会長が金融商品取引法違反の疑いで逮捕される。</p> <p>24 別海町出身の新濱立也がスピードスケートのワールドカップ500メートルで2連勝する。</p>
<p>12 6 よしもとクリエイティブ・エージェンシーが、釧路に拠点を開設する。</p> <p>10 市立釧路総合病院が、患者支援センターを開設する。</p> <p>17 釧路市は、初開催の「釧路港クルーズ客船フォトコンテスト2018」の入賞作品を発表する。</p> <p>19 釧路市教育委員会と釧路青年会議所は、キャリア教育などを推進するための連携協定を締結する。</p> <p>* コール外商部が50周年を迎える。</p>	<p>12 この年の漢字に「災」が選ばれる。</p> <p>14 全国10大学で医学部不正入試が明らかになる。</p> <p>16 札幌のアパマンショップでスプレー缶による爆発が起こる。</p>
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 釧路市教育委員会が2018年からの釧路市社会教育推進計画、釧路市文化芸術振興計画、釧路市教育推進基本計画を公表する。 ○ 釧路市は中央埠頭の2号上屋解体に着手し、残る上屋も撤去する方針。 ○ 釧路の涼を求めて、7月から9月にかけて各種団体のチャーター船の入港が相次ぐ。 ○ 釧路赤ちょうちん横丁が50周年を迎える。 ○ 貝塚大橋と北中跨線橋の長寿命化工事に着手する。 ○ 釧路労災看護専門学校の新校舎、新学生寮が完成する。 ○ 釧路市立博物館の発行した記録集『釧路・根室の簡易軌道』が、鉄道友の会の島秀雄記念優秀著作賞を受賞する。 ○ 第74回冬季国体のスケート・アイスホッケー競技会の賞状原紙に富貴紙が使用される。 ○ 日本製紙がアイスホッケーチーム日本製紙クレインズの廃部を発表する。 ○ 文芸誌釧路春秋が創刊50周年を迎える。 <p>新語・流行語大賞 「そだねー」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、国際宇宙ステーションから放出した小型回収カプセルを南鳥島近海に着水させる。日本初。 ○ 『魔女の宅急便』の絵本作家角野栄子が、国際アンデルセン賞の作家賞に選ばれる。 ○ JR花咲線を寄附で応援するクラウドファンディングに全国から約3億円が集まる。

平成31年・令和元年(2019)

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	<p>20 新橋大通のイーヨーカードー釧路店が閉店する。</p> <p>30 釧路で9年ぶりの「イランクラブテくしろさっぽろ国体」が始まる(～2月3日)。延べ観客動員数2万1342人</p>	<p>5 吹雪の影響で、新千歳空港で航空便が多数欠航、約2千人が翌日まで足止めとなる。</p> <p>7 日本出国時に100円が課税される、国際観光旅客税が導入される。</p> <p>16 テニス女子の大坂なおみが全豪オープンで優勝する。</p> <p>31 函館の棒二森屋が閉店する。</p>
2	<p>9 ベトナムとの関係強化を目指す北海道ベトナム交流協会釧路が設立され、設立総会が開かれる。</p> <p>15 釧路港をみなとオアシスとして国土交通省に登録するため、官民の運営団体、釧路みなとオアシス協議会が設立総会を開く。</p> <p>22 冬の自然・アイヌ文化熱中フェスが阿寒湖畔で初開催される(～24日)。</p> <p>23 バルセロナ五輪柔道男子で金メダルを獲得した古賀稔彦の講演会が開かれる。</p> <p>24 釧路商工会議所の山本寿福前会頭が81歳で死去する。 * 伊福部昭が1948年に作曲し、楽譜が所在不明となっていた釧路女子高等学校(現釧路江南高等学校)の校歌の写譜が見つかる。</p>	<p>1 日本・EU経済連携協定が発効する。</p> <p>12 競泳の池江璃花子が白血病を公表する。</p> <p>16 横綱稀勢の里が引退する。</p> <p>21 道央を中心に強い地震があり、胆振管内厚真町で震度6弱を記録する。</p> <p>22 JAXAの探査機はやぶサ2が小惑星「りゅうぐう」への着陸に成功する。</p> <p>24 日本文学研究者ドナルド・キーンが死去する。</p>
3	<p>15 JR北海道の根室線の尺別駅と直別駅が3月のダイヤ改正で廃止される。</p> <p>24 こどもエコクラブくしろが、平成30年度全国エコ活コンクール(壁新聞部門)で文部科学大臣賞を受賞し、表彰される。</p> <p>29 釧路港西港区第2埠頭に国際物流ターミナルが整備され、民間運営を開始する。</p> <p>30 国内最後の石炭列車、太平洋石炭販売輸送臨港線が最後の運行を終え、運行を休止する。6月に廃止される。</p> <p>31 釧路石炭販売(株)が、家庭用石炭の販売を終了する。</p> <p>31 アイスホッケーの日本製紙クレインズが廃部となる。最後のアジアリーグで準優勝を飾る。 * 3月末の釧路市の人口が16万8730人となる。</p>	<p>9 釧路外環状道路の釧路東IC-別保IC間が開通する。</p> <p>10 ルディックスキー・ジャンプの小林陵侑が日本男子初となる個人総合優勝を決める。</p> <p>21 米大リーグ、マリナーズのイチローが引退を表明する。</p> <p>27 釧路町の木場本通・仲通が供用を開始し、開通式が行われる。</p> <p>31 JR石勝線の夕張支線が廃止になり、1日からバスに転換する。</p>
4	<p>1 釧路少年鑑別所が札幌少年鑑別所の分所となる。</p> <p>1 市立釧路総合病院が癌患者のための緩和ケア内科を新設する。</p> <p>6 米町の大成寺は、子供たちの学習を無料で支援する釧路元町てらこやを始める。</p> <p>10 釧路市音別幼稚園、音別保育園を統合した釧路市音別認定こども園で開園式が行われる。</p> <p>10 福司酒造が創業100周年を迎える(創業1919年4月10日)。</p> <p>26 釧路仏教会は創立50周年を記念し、ゆるキャラ「つるこぞう」を制作、お披露目する。</p> <p>27 スーパーアークス鳥取大通店がオープンする。</p>	<p>1 新元号「令和」が発表される。</p> <p>1 小学4年生、中邑董が史上最年少で囲碁のプロ棋士になる。</p> <p>1 出光興産と昭和シェル石油が経営統合する。</p> <p>7 北海道知事選挙で鈴木直道元夕張市長がが当選する。</p> <p>11 浜中町出身でルパン3世の原作者モンキーパンチが死去する。</p> <p>15 フランスの世界遺産ノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生する。</p>

平成31年・令和元年(2019)

	<p>* 大町の草津湯が開業100周年を迎える。</p>	<p>19 アイヌ民族に関する新法が参院本会議で可決し、成立する。 27 皇位継承に伴う異例の10連休が始まる。 30 天皇陛下が退位される。</p>
5	<p>1 国が認定する、みなとオアシスに釧路フィッシャーマンズワーフMOOなどのエリアが登録される。 7 スパカツ生みの親で、レストラン泉屋の小泉俊一社長が死去する。 11 日本文学を題材にした、くしろ読書会の20周年、第100回目の例会が開催される。 18 釧路市連合町内会の総会で、新会長に黒木満が就任する。 27 釧路に出先機関を持つ企業の支社長、支店長が集う釧路サンドウィッチ会が50周年を迎え、祝賀会が開かれる。</p>	<p>1 新天皇が即位され、「令和」と改元される。 26 釧路根室管内は、9地点で観測史上最高気温を上回る猛暑に見舞われる。</p>
6	<p>9 阿寒農業協同組合の釧路市有機質肥料活用センターバイオガスプラントの安全祈願祭が行われる。 9 アイスホッケークラブチームひがし北海道クレインズの発会式が行われる。 15 リバティーフラスクールが50周年を迎え、祝賀会を開催する。 22 環境省が主催するシュリコマベツ湾の再生を目的とした人工マリモの育成事業が行われる(22、23、30日)。 22 釧路みなとライオンズクラブが50周年を迎え記念式典と祝賀会を開催する。 23 釧路仏教会の創立50周年を記念した大相撲舞の海の講演会が開かれる。 24 くしろ湿原ノロッコ号が1989年の運行開始から30周年を迎える。 29 第68回全道フォークダンス釧路大会が「湿原の風アリーナ釧路」で開かれる。</p>	<p>2 ホテル養老牛が閉館する。 4 香港で反政府デモが103万人を集める大規模な抗議行動に発展する。 4 吉本興業の闇営業問題が発覚する。 14 略称、チケット不正転売禁止法が施行される。 28 G20大阪サミットが開催される。 * 根室釧路管内で、ヒグマの日撃情報が相次ぐ。 30 日本が、国際捕鯨委員会(IWC)から脱退する。</p>
7	<p>1 釧路港が沿岸捕鯨の最初の基地となり、小型船5隻が出漁する。 1 (一社)釧路市観光コンベンション協会は7月1日から観光コンシェルジュを釧路市観光国際交流センターに試験的に置く。 2 釧路市動物園で31年ぶりとなるキリンの赤ちゃん(コハク)が生まれる。 14 最後となる第9回釧路空襲慰霊の集いが栄町平和公園で開催される(~15日)。 19 釧路市は、釧路市健康ポイント事業をスタートさせる。 22 第92回日本学生水上競技選手権大会を運営する釧路市実行委員会の設立総会が行われる。 25 くしろ元町青年団のくしろ元町講座が初開催される。 27 釧路赤ちようちん横丁が初の赤横写真展を開催する。 * 釧路駅西商店街振興組合が、経済産業省の2019年はばたく商店街30選に選ばれる。</p>	<p>1 商業捕鯨が31年ぶりに再開される。 3 道内7空港の一括委託する空港民営化事業者にHKK連合が決定する。 10 かんぽ生命保険の違法な契約が多数発覚する。 18 京都アニメーションのスタジオで放火事件が発生する。 31 牛井の吉野家釧路桂店が閉店する。 * 北太平洋漁業委員会で、サンマの漁獲枠が導入される。</p>
8	<p>3 第44回全国高校トランポリン競技選手権大会が釧路市で開催される。 9 第45回北海道公立小・中・特別支援学校女性管理職会研究大会釧路大会が、10年ぶりに釧路市で開かれる。 14 東京五輪・パラリンピックに出場するベトナムのパラリンピック候補選手団が合宿のため来釧する。</p>	<p>3 あいちトリエンナーレ2019の問題が起こる。 4 ゴルフのイングランドAIG全英女子オープンで洪野日向子が初優勝を果たす。 28 九州北部を中心に大雨が降り、被害が出る。</p>

平成31年・令和元年(2019)

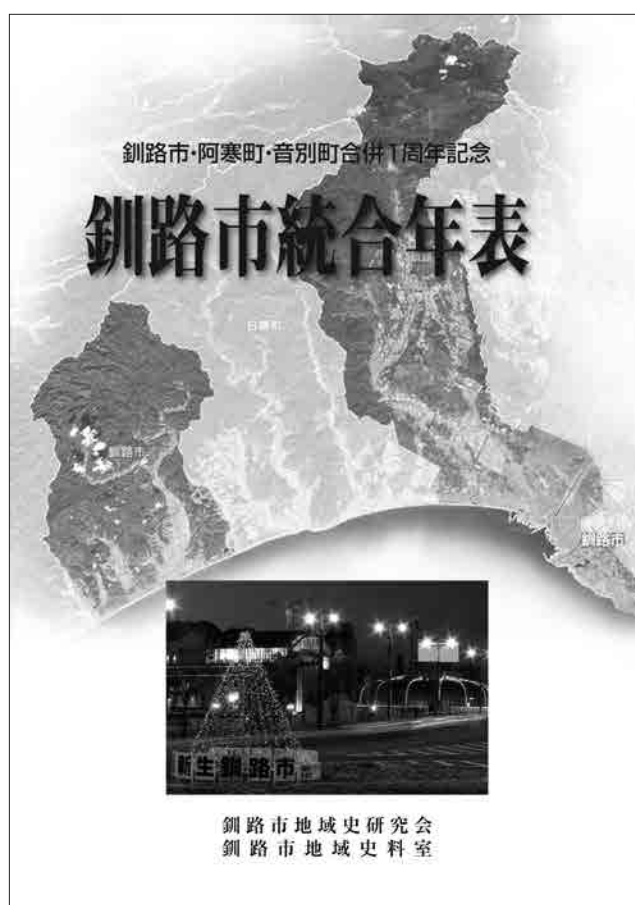
	<p>17 (株)劇団カッパ座の最後となる釧路公演が行われる。</p> <p>16 台風10号の接近に伴い、釧路市内では雨による冠水、土砂崩れなどが発生する。</p> <p>18 日本大学サッカー部が、夏季強化合宿のため来釧する。合宿地は阿寒町。</p> <p>19 地方巡業の大相撲釧路場所が5年ぶりに行われる。</p> <p>25 釧路市教育委員会が22年ぶりに、国の特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の個体数調査を行う。</p> <p>25 釧路市第1曙町内会が50周年を迎え、記念式典と祝賀会を開催する。</p> <p>31 (一社)釧路青年会議所が、水と光の噴水ショーを釧路川幣舞橋付近で初開催する。</p> <p>* 女子アイスホッケーチームのDaishinは、メインスポンサーにカワセミグループ(香港)を迎え、チーム名をカワセミDaishinレディースと改める。</p>	
9	<p>1 コスプレ姿での撮影や漫画家のトークショーを楽しめる、釧路スタジオが初開催される。</p> <p>8 南大通周辺地域の活性化を目指す最後の「ゆめこいパラソルショップ」が開かれる(2005年～)。</p> <p>10 釧路市中心部で9月の観測史上最高気温29.6度を記録する。</p> <p>13 第72回北海道書写書道教育研究大会釧路大会が北海道教育大学釧路校で開かれる。</p> <p>13 第52回北海道言語障害児教育研究大会釧路大会が釧路市生涯学習センターで開かれる(～14日)。</p> <p>19 釧路ギター合奏団が創立50周年を迎え、記念コンサートを行う。</p> <p>21 全国の研究者でつくる鉄道史学会の第37回大会が、公立大学で開かれる(～22日)。</p> <p>22 釧路沿岸の商業捕鯨が終了する。</p> <p>26 釧路市が国に提出した釧路市地域公共交通再編実施計画が、道東初、道内3例目となる国土交通大臣の認定を受ける。</p> <p>27 中部飼料(株)の釧路港西港区工場が完成し、竣工式を行う。</p> <p>28 興津第1はまなす町内会が50周年を迎え、はまなす会館で記念式典を行う。</p>	<p>17 根室のサンマ漁船が納沙布岬沖で転覆する。</p> <p>20 アジア初開催となるラグビーのワールドカップが日本で開催される。</p>
10	<p>1 釧路市ビジネスサポートセンター(k-Biz)のブランディングマネージャーに、田辺貴久が就任する。</p> <p>4 JR釧路駅待合室のリニューアルが終わり、供用開始となる。</p> <p>6 国の特別天然記念物マリモが台北市立動物園に貸与され、展示が始まる。</p> <p>19 釧路江南高等学校が創立100周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>19 釧路工業高等学校が創立80周年を迎え、記念式典を行う。</p> <p>20 ひがし北海道クレインズと、女子アイスホッケーチーム帯広レディースが選手育成と競技の振興を図る業務提携を結ぶ。</p> <p>28 エゾシカを市街地で囲いわなを使って捕獲する道内初の試みが、春採湖地区で本格的に始まる。</p>	<p>1 消費税が10%に増税される。</p> <p>1 ポケベル(無線呼び出し)がサービスを終了する。</p> <p>9 旭化成名誉フェロー吉野彰ら3名のノーベル化学賞受賞が発表される。</p> <p>12 台風19号が東日本を縦断し、大規模な洪水被害が多数発生する。</p> <p>25 倶知安でG20観光担当相会合が初開催される。</p> <p>31 那覇市の首里城から出火し、主要7棟が焼失する。</p>
11	<p>2 日本ハンドボール男子リーグの公式戦が、「湿原の風アリーナ釧路」で初開催される(釧路ハンドボール協会創立50周年記念)。</p> <p>2 北海道教育大学附属釧路小学校と釧路中学校が開校50周年を迎え、記念式典を行う。</p>	<p>1 2020年東京マラソン・競歩の会場が札幌に移転することが決まる。</p> <p>23 ローマカトリック教会教皇(フランシスコ)が教皇としては38年ぶりに来日する。</p>

平成31年・令和元年(2019)

<p>3 くしろ蝦夷太鼓保存会5支部合同公演で、初企画EZO-1グランプリが行われる。</p> <p>13 くしろせんもん学校が台湾の明道大学と留学生交換などを行う交流基本協定を結ぶ。</p> <p>15 第69回全道高校演劇発表大会が11年ぶりに釧路で行われる(～17日)。</p> <p>16 (医)社団三慈会は、釧路三慈会病院開院10周年と西池整形外科クリニック開院50周年を記念した祝賀会を開催する。</p> <p>20 北海道運輸局はペットボトルの削減に向け、マイボトルの利用を促す実証実験を阿寒湖温泉地区で開始する。</p> <p>21 市民団体「クスろ」が内閣府の未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤーで、内閣府特命担当大臣表彰を受賞する。</p> <p>23 「ザンタレなんまら盛り揚げ隊」がご当地グルメでまちおこしの祭典!B-1グランプリで2位に輝く(～24日)。</p> <p>23 音別町で野外イベント、プラスonまつりが開かれる。</p> <p>30 釧路地方文学団体連絡協議会が創立50周年を迎え、祝賀会を開催する。</p>	<p>* 道東沖まき網漁でマイワシが28年ぶりに20万トンを超える豊漁となる。</p>
<p>12 7 (株)北日本広告社が、道東のお土産に焦点を当てたフリーペーパー『フロムドートー』を創刊する。</p> <p>17 2020年東京五輪の釧路市と根室市で行われる聖火リレーのルートが発表される。</p> <p>17 釧路市は京セラグループのKCCSモバイルエンジニアリング(株)と地域社会の活性化に向けて包括連携協定を締結する。</p> <p>17 釧路市公設地方卸売市場で火災が発生し、一階内部100平方メートルを焼く。</p> <p>24 第92回日本学生氷上競技選手権大会のアイスホッケーの開会式が行われる。</p> <p>26 元釧路商工会議所会頭で三ッ輪運輸の栗林定徳会長が81歳で死去する。</p> <p>30 和商市場の竹寿司が閉店する。</p> <p>* 釧路市教育委員会の釧路市家庭教育支援チームが、文部科学大臣表彰の受賞が決まる(表彰式は2020年2月18日)。</p>	<p>12 この年の漢字に「令」が選ばれる。</p> <p>* 根室市のプロレス愛好団体新根室プロレスが解散する。</p>
<p>この年</p>	<p>この年</p>
<p>○ 運転免許を自主返納する高齢者が増える。</p> <p>○ 釧路市営球場(富士見球場)が2019年度末で廃止となる。</p> <p>○ 道東サンマ漁が記録的な不漁となる。</p> <p>○ 釧路港が開港120周年を迎える。</p> <p>新語・流行語大賞 「ONE TEAM」</p>	

参考資料

- I 平成元年～平成17年の出来事
- II 国勢調査における釧路市の人口・世帯数等の推移
- III 釧路市の教育機関



釧路市統合年表（平成18年10月発行）

I 平成元年～平成17年の出来事

昭和64年・平成元年(1989)

月	釧路市関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	11 ラムサール条約締結国会議誘致期成会が設立される。 20 全国高校スケート大会33(軽井沢)アイスホッケーで釧工・江南が優勝・準優勝を分ける。	7 昭和天皇崩御、皇太子明仁親王即位 8 「平成」と改元
2	15 阿寒町の新「地域防災計画」が完成し、町防災会議が承認する。	
3	19 阿寒町長選挙で、現職を破り、月舘俊松が初当選する。 20 ソ連政府が、違反操業により全北転船27隻の許可取消しを通告し、水産庁は釧路などへの全船帰港を命令する。 25 米町下水ポンプ場が始動する。	
4	1 富良野あさひ郷「おんべつ学園」が旧東日本学園にオープンする。 5 美原小分離校の芦野小学校が開校する。 8 阿寒町サークルハウス赤いベレーがオープンする。 10 阿寒町消費者協会が発足する。 29 鶴ヶ岱公園に茶室「鶴翔庵」が完成し、オープンする。	1 消費税実施 25 竹下首相リクルート疑惑で退陣表明 29 JR標津線廃止
5	15 東邦交通が「くしろバス」へ社名変更する。	
6	1 釧路市が「スポーツ都市宣言」を行う。 1 市漁協などが共同して釧路沖海底を清掃する。(～3日) 10 ラムサール条約国内登録湿地関係市町村会議で「湿原サミット釧路宣言」が採択される。 11 音別町制施行30周年記念式典が挙行される。 26 日本語学校飛鳥学院阿寒校が布伏内中の空き教室で開校する。	2 宇野宗佑内閣成立 3 北京で「天安門事件」、死者数百人 4 ふるさと銀河線(北見-池田140km)開業 22 北電泊原発1号機営業運転開始
7	4 音別町ふるさと創生事業が選定される。(日本一明るい街・ふるさと創生基金・駅前広場) 7 日ソ合弁レストラン「くしろ」がサハリン州ホルムスク市内に開店する。 11 音別町長選挙が告示され、無投票で今野町長6選となる。 14 フィッシャーマンズ・ワーフMOO・EGGがオープンする。 23 釧路市消防百年記念式典が釧路市民文化会館で挙行される。 26 鳥取ドームが鳥取十号公園にオープンする。 31 浜釧路駅が閉鎖となり、貨物業務は新富士駅へ移管される。	23 参院選、社46・自36・連合11・公10・共5で与野党議席数逆転 24 宇野首相、参院選大敗で退陣表明
8	1 釧路市開基120年、釧路開港90周年、釧・鳥合併40周年記念式典が市民文化会館で挙行される。 12 世界先住民会議が道東経済センターで開催され(7日から札幌市と平取町、12～14日釧路市)、17カ国・地域の先住民が参加する。 22 鹿児島県出水市と釧路市の友好都市提携が調印される。 * 阿寒小学校が自然愛護運動で「前田一步園賞」を受賞する。 * 阿寒町総合運動公園、多目的広場が使用開始される。	9 海部俊樹内閣成立
9	3 はまなす国体・夏季大会ボウリング競技会が開催される。(～6日) 21 豊漁魚佃安のサンマ漁で史上初の24時間臨時休漁を実施する。 22 幣舞橋架橋100年記念式典が挙行される。	29 北炭幌内坑が閉山、全国の稼働炭鉱7山に減少
10	2 JR大楽毛駅舎が改築オープンし、大楽毛支所が入居する。 15 市長・市議(定数40名)選が行なわれ、鰐淵市長が4選を果たす。	20 北海道脱スパイク推進条例が可決、成立
11	14 市議会議長に西山百治が選任される。	10 「ベルリンの壁」が取り壊される

昭和64年・平成元年(1989)

	23 ダイエー釧路店が貝塚3丁目にオープンする。	21 総評が解散、「連合」結成
12	1 釧路空港の2,300m滑走路が供用開始される。 28 旧田村邸が「米町ふるさと館」としてオープンする。	29 東証平均株価史上最高値の38,915円

平成2年(1990)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	19 阿寒町議会で「ふるさと創生基金条例」が議決される。 22 阿寒町立学校給食センターが改築され、給食業務を開始する。	13 共通1次試験に代わる大学入試センター試験、初実施(～14日) 18 天皇戦争責任発言の本島・長崎市長が右翼に銃撃され重傷
2	27 市、支庁、土現、教育局による「春採湖環境保全推進協議会」が発足する。	1 連合北海道が発足 18 総選挙、自275・社136・公45・共16・民14
3	2 国道44号線旭バイパスが12年がかりの工事を終え開通する。 29 協同組合くしろデパートが愛称「KOM」として新装開店する。	27 三菱南大夕張炭鉱閉山
4	1 エア・ニッポンが釧路-丘珠線を開設する。 1 音別町市街地字番地が改正される。 1 「おんべつ学園」の授産施設「第二おんべつ学園」が開園する。 7 「第二おんべつ学園」のレストラン「おんとびあ」が開店する。 10 北斗に精神障害者通所授産施設「いずみの里」が開所する。 11 阿寒町酪農ヘルパー利用組合が設立される。 12 日栄総合技術専門学校(自動車整備科・介護福祉科)が開校する。 20 昭和3年築の旅館「たかの」が解体される。 20 元清算事業団職員の「解雇撤回・JR復帰を求める国労釧路地本闘争団」(釧路64名・十勝24名)が結成される。	1 国鉄清算事業団1,051人解雇(道内525人) 10 北海道脱スパイク条例により、道東地区が初の規制期間入り(～11月20日)
5	1 23年振りの統一メーデーが幸町公園で開催される。 16 西港の新フェリーターミナルが完成し、初入港の新造フェリー「サブリナ」の甲板で竣工式が行なわれる。 30 日本語学校飛鳥学院阿寒校で2期生の入学式が行われる。 * 阿寒町手作りチーズ研究会が発足する。	
6	1 ハイビジョンシティ・フォーラムが市民文化会館で開催される。 6 阿寒町浄水場が布伏内に完成し、本格運転を開始する。 17 雄別炭鉱閉山20周年記念「雄別の集い」が開催される。	13 北電泊原発2号機の試運転スタート 26 札幌でPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)開幕
7	4 ラムサール条約締結国釧路会議1993年6月開催が決定する。 10 しゃも寅の井戸が建設省の「手づくり郷土賞」を受賞する。 29 鳥取コミュニティ・センター「コア鳥取」がオープンする。	
8	7 「あかんランド丹頂の里」にバンガロー5棟がオープンする。 17 阿寒町の姉妹都市阿蘇町の小中学生が来町し、初の子ども交流が行なわれる。	2 イラク軍、クウェートに侵攻 24 戦後初の択捉島上陸含む北方暴参団の第一陣根室港を出発
9	5 釧路湖陵高校の新校舎が緑ヶ岡に完成する。 15 FM北海道釧路局が開局する。 23 尺別炭鉱閉山20周年の集いが音別町文化会館で開催される。 23 「あかんランド丹頂の里」にBMX用サイクルパークがオープンする。 24 「北の文化会議'90釧路」が釧路公立大学で開催される。	
10	1 姉妹都市ホルムスク市へ「市民交流の船」が出発する。 1 阿寒町総合運動公園多種目競技広場がオープンする。 6 柏木小学校の新校舎・屋体が竣工する。 8 「マリモ保護会創立40周年記念シンポジウム」が湖畔で開かれる。 15 市内全小中学校で地場産品を使った「ふるさと給食」週間始まる。	1 第15回国勢調査実施 1 東証株価、3年7ヶ月ぶり2万円割れ、「バブル経済」崩壊へ 10 「感動市場」、全道7市で開催(～25日)

平成2年(1990)

	22 「石炭(やま)と産炭地域(まち)を守る釧路市民大会」がキャッスルホテルで開かれ、市民約2千人が参加し、中央陳情団を送り出す。 30 西港第3埠頭が供用開始し、第1船が接岸する。	
11	* 「脱スパイク」の為、富士見坂等がロードヒーティング化される。	8 国連平和協力法案、廃案決定
12	1 管内10市町村による「釧路広域市町村圏事務組合」が発足する。 12 新総合計画「快適都市くしろプラン輝き21」が議会で提案される。 12 市とカムチャッカ州が合弁企業「カムカイドウ」設立で合意する。 15 釧路市立山花小中学校が全市域から入学可能な「特認校」となる。 26 鶴見橋(道々釧路環状線)部分使用(片側2車線)始まる。	
この年		この年
	○ 釧路港の輸・移出入貨物量が初めて2千万トンを超える。	○ 大学・短大入学者数、女子が男子を上回る

平成3年(1991)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>14 釧路市農協の釧路湿原国立公園内原野所有権移転の届出書を、釧路支庁が返戻する。</p> <p>21 文苑土地区画整理事業の起工式が行なわれる。</p> <p>22 釧路保健所が「ハートダイヤル」を開設し、心の健康相談を始める。</p> <p>26 連合釧路地協が発足し、初代議長に鈴木勉が就任する。</p> <p>29 市都市計画審議会が市街化区域の拡大を決定する。(文苑・愛国・昭和など13地区、295ha)</p> <p>* 阿寒町老人憩の家「旭町寿の家」がオープンする。</p>	<p>17 湾岸戦争勃発</p>
2	<p>5 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで2連覇を遂げる。</p> <p>13 釧路市土地開発公社への旧浜釧路駅跡地売却が決定する。(フィッシャーマンズ・ワーフの第2次計画用地)</p> <p>20 釧路市が「暴力追放・防犯都市」を宣言する。</p> <p>22 釧路消費者協会などがシンポジウム「紙・缶・ビンの回収についてみんなで話し合う会」を開催する。</p> <p>25 ラムサール条約締結国釧路会議地域推進委員会が発足する。</p> <p>* 消防阿寒湖支署新庁舎で業務が開始される。</p>	<p>9 関西電力美浜原発事故起こる</p>
3	<p>3 布伏内コミュニティセンターがオープンする。</p> <p>8 市が議会で清算事業団から「武佐の森」を取得する方針を示す。</p> <p>11 皇太子殿下が初めて来釧し、市立博物館、湿原展望台、阿寒町赤いベレー、タンチョウ観察センターなどを訪問する。(～12日)</p> <p>29 道議選の管内で、若狭靖・佐藤寛一が無投票当選となる。</p> <p>* 市の平成2年度観光客入込数が初の200万人台となる。(210万人) 釧路管内総数も初の900万人台。(929万人、内阿寒町150万人)</p>	<p>7 衆議院石炭対策特別委員会、産炭地域振興臨時措置法の10年延長決定</p> <p>28 環境庁、スパイクタイヤ禁止地域に札幌圏を指定</p>
4	<p>1 釧路短大附属高校が「釧路緑ヶ岡高校」へ校名変更する。</p> <p>7 道議会議員選で、市部は綿貫健輔・岩崎守男・伊藤武一・谷川英雅が当選する。</p> <p>15 新運転免許試験場が大楽毛北1に完成し、業務を開始する。</p> <p>18 道教委の「生涯学習のまちづくり百選」に市の「コスモス街道づくり」、「移動天文台」、「遠隔地探鳥会」が選ばれる。</p> <p>21 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。</p> <p>26 阿寒湖畔アイヌ生活記念館「ポンチセ」がオープンする。</p>	<p>7 道知事・道議選、横路知事3選</p> <p>12 北電泊原発2号機営業運転を開始</p> <p>26 自衛隊掃海艇、ペルシヤ湾へ向け出港</p>
5	<p>1 阿寒町商工会がハンドイ香水試作品の原価提供を始める。</p> <p>22 産炭地6市3町による石炭存続を求める東京集会在開かれる。</p>	<p>19 雲仙普賢岳噴火、火砕流・溶岩流発生(6月3日、火砕流で死者42人・重軽傷454人)</p>
6	<p>9 鳥取神社創祀百年記念式典が開かれる。(三笠宮寛仁親王出席)</p>	<p>7 石炭鉱業審議会、第9次石炭政策答申</p>
7	<p>9 釧路港飼料用穀物輸入量100万t/年突破祝賀会が開かれる。</p> <p>20 春採湖ネイチャーセンターがオープンする。</p> <p>25 釧路公立大、サイモンフレーザー大、キャピラノ大の日加3校の姉妹校協定の調印式が行われる。</p> <p>27 日ソ合弁企業「カムカイドウ」の設立を水産庁が承認する。</p> <p>* フィッシャーマンズワーフ構想とシンボルロード事業が「地域活性化貢献賞」に選ばれる。</p>	<p>17 上砂川町の旧三井砂川炭鉱の立坑を利用した無重力実験センターがオープン</p>
8	<p>25 第1回音別町健康まつりが町民文化会館で開催される。</p>	

平成3年(1991)

	26 シメジ生産の第3セクター、釧路複合農業開発公社が約7億円の負債を抱えて解散する事が株主総会で決定される。	
9	5 山花・美濃開拓百年記念式典が開かれ、記念碑を建立する。 9 市の在宅高齢者緊急通報システム「もしも」がスタートする。 22 米町公園と佐野碑園の竣工式が行われる。	3 釧路町の人口、2万人を突破
10	1 市の情報公開制度がスタートし、市政情報コーナーが開設される。 4 フィッシャーマンズワープ計画推進地区が建設省の都市景観大賞(景観形成事例部門)に選ばれる。 5 貝塚跨線橋が完成し、貝塚光和通が全面開通する。 18 武富稲荷の創祀百年記念祭が開催される。	* エゾシカの農林業被害全道で20億円を超え史上最高。
11	7 阿寒町フレベツ岳でNEDOが有望な地熱層を発見する。 10 釧路空港供用開始30周年を祝う「くしろエアポートフェスティバル」が開催される。 15 市議会議長に菅原博旦が選任される。 20 阿寒町「ネイチャーハウス」が湖畔スキー場入り口に完成する。 * 全日本人文字コンテストで阿寒町の「タンチョウの愛情物語」がグランプリを受賞する。	5 宮沢喜一内閣成立
12	2 興津下水ポンプ場が運転を開始する。 20 昭和土地区画整理事業の起工式が行われる。 21 鶴見橋が完成し、開通式が行なわれる。 24 緑ヶ岡トンネル(市道緑ヶ岡若草通)が開通する。 * 朝陽小学校の新校舎・屋体が竣工する。	3 PKO協力法案、衆議院可決(20日、参議院継続審議決定) 21 ソ連邦、「独立国家共同体」へ移行し消滅
この年		この年
	○ 釧路港が水揚量13年連続日本一を達成する。	○ 地価下落始まり、株価続落、金融・証券界の不祥事続発でバブル経済の実態露呈

平成4年(1992)

月	釧路市関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	19 釧根地域選出道議8人の「丹頂会」が呼びかけ、釧根2市13町村の市町村長と共に両地域の政治課題を話し合う。 * 阿寒町商工会がアカエゾマツから芳香剤を試作する。	10 旧軍が慰安所設置・従軍慰安婦募集に関与の資料発見(13日、政府認定)
2	5 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで3連覇を遂げる。 12 紀宮さまがタンチョウ観察センター・丹頂鶴自然公園を見学する。 20 アルベールヴィル冬季五輪で短附高卒の佐藤和弘が1万mで5位、鳥取小卒の宮部行範が千mで銅メダルを獲得する。	
3	5 英エジンバラ公が2度目の来釧で、湿原を視察する。(～7日) 25 水産庁のマリノベーション構想の整備事業指定地区として、千代の浦と桂恋の両漁港地区が認定される。	1 暴力団対策法施行
4	1 時事タイムス放送社が市内初の都市型CATV(有線テレビ)の本放送を開始する。 1 星園高校の家政科が教養福祉科に転換される。 5 鳥取温水プールがオープンする。	22 北方領土からのビザなし渡航の第一陣が根室・花咲港に到着
5	* 「阿寒町木工デザインに関する人材育成事業」がスタートする。	2 国家公務員の完全週休2日制スタート
6	17 阿寒町が「暴力追放、防犯の町」を宣言する。 27 市立博物館が人工飼育のヒブナの人工産卵と孵化に成功する。	9 PKO法案参院可決(15日衆院可決、成立) 13 札幌で第1回よさこいソーラン祭り開催
7	1 音別町ふれあい図書館「みなくる77」がオープンする。 11 釧路-札幌間で3社共同の都市間バス運行が始まる。 18 釧路-大阪直行便が就航し、市長らが記念搭乗する。 29 音別町と徳島県鷲敷町との姉妹都市提携が調印される。 * 「あかんランド丹頂の里」にパークゴルフ場がオープンする。	1 新千歳空港の新旅客ターミナルビル開業 25 バルセロナ五輪開幕(～8.2) 26 参院選、自68・社22・公14・共6・日新4で自民党大幅議席回復
8	1 市制施行70周年記念式典が開催される。 20 釧路商工会議所が「釧路ファイン大使」9人を委嘱する。 * 阿寒町本町地区の公共下水道工事が着手される。	3 東証株価1万5千円台割れ(6年5ヶ月ぶり) 10 PKO協力法施行、国際平和協力本部発足 27 佐川急便事件で金丸自民党副総裁辞任
9	1 釧路市と都留市との友好都市提携が調印される。 11 音別町高齢者事業団が設立される。 12 学校週5日制スタートで、月1回の土日連休が始まる。 14 第52回国体冬季スケート競技会の釧路市での開催が決定する。 * 町立阿寒病院に「CTスキャン」「電子スコープ」が導入される。	12 元北大助教授毛利衛が搭乗するスペースシャトル「エンデバー」打上げ 28 三井石炭鉱業芦別鉱閉山
10	4 釧路市の第1回都市景観賞が、釧路キャッスルホテル・シーグレース号・ささき画廊の3件7人に授与される。 10 おんべつ学園の「福祉の店・おんとびあII」がオープンする。 12 釧路市生涯学習推進会議が発足する。 19 環境庁の「アジア湿地シンポジウム釧路会議」が開催される。	1 十條製紙と山陽国策パルプが合併調印、新社名は「日本製紙」 23 天皇陛下が北京で「中国国民に多大の苦難を与えた」とのお言葉
11	1 釧路市生涯学習センターがオープンする。 16 阿寒バスが愛国191に移転し、新社屋での営業を開始する。 17 釧路空港計器着陸システム「ILSカテゴリーⅢA」が着工する。 20 春採湖が平成3年度水質汚濁度全国ワースト1になる。 21 第1回釧路市生涯学習フェスティバルが開催される。(～23日) * 阿寒湖畔スキー場ウォッチングハウスがオープンする。	

平成4年(1992)

12	7 釧路市観光協会が解散し、社団法人釧路観光協会が発足する。 * 建設省のマイロード事業に阿寒湖畔中央道路が選定される。	10 国連「1993国際先住民年」開幕式で、道ウタリ協会の野村理事長が演説
この年		この年
	○ 釧路港水揚量が全国2位となり、連続日本一は13年で止まる。	○ 地価公示価格、17年ぶりの下落 ○ 百貨店の年間売上高、統計上初の減額

平成5年(1993)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 鷹敷町へ初の音別町中学生訪問団が出発する。(～15日)</p> <p>15 釧路沖地震(震度6、M7.8)が発生し、釧路市で死者1人、負傷439人、被害総額245億円、阿寒町で負傷35人、17億円、音別町で負傷30人、27億円の大きな被害を受ける。</p> <p>23 全国高校スケート大会アイスホッケーで江南が初優勝する。</p> <p>24 釧路沖地震で大被害のガス供給復旧支援に、道外のガス会社から142人が到着する。</p> <p>26 不通になっていたJR根室本線の釧路-帯広間が全線開通する。</p> <p>30 GATTウルグアイ・ラウンドでの乳製品自由化阻止に向け「日本の食と農業を守る緊急釧路総決起大会」が開かれる。</p> <p>* 阿寒町西徹別一般廃棄物処理場が完成する。</p>	<p>* 釧路沖地震の全道被害総額530億円、死者1人、負傷者927人</p>
2	<p>3 全国34社、800人余のガス供給復旧支援部隊が離釧する。</p> <p>6 地震でガス供給が停止した9,391戸の全世帯が完全復旧する。</p> <p>9 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで4連覇を遂げる。</p> <p>25 札幌交響楽団の第1回釧路定期演奏会が開かれる。</p>	<p>23 円相場1ドル=116円の東京市場最高値(4.21、110円台割り込み)</p>
3	<p>1 阿寒町外を除く釧路圏内7市町でスパイクタイヤ使用規制が始まる。</p> <p>14 下徹別小学校閉校記念式典が開催される。</p> <p>16 阿寒町長選挙が告示され、無投票で月館町長再選となる。</p> <p>31 『新修釧路市史』(全4巻)の第1巻が刊行される。</p>	
4	<p>1 十条製紙アイスホッケー部が日本製紙クレインズへ、チーム名を変更する。</p>	<p>2 ラムサール条約登録湿地に霧多布湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原を追加指定</p>
5	<p>7 環境庁が全国で初めて設立する野生生物研究機関の「釧路湿原野生生物保護センター」が北斗にオープンする。</p> <p>8 釧路市が「生涯学習都市」を宣言する。</p> <p>24 釧路根室地域日本赤十字看護大学誘致期成会が設立される。</p> <p>25 ラムサール条約釧路会議を前にして、釧路全日空ホテルが錦町にオープン、6月1日には幸町にプリンスホテルがオープンする。</p> <p>31 旧(第2次)釧路新聞社社屋を復元した「港文館」が完成する。</p>	
6	<p>3 釧路市観光国際交流センターの落成式が行われる。</p> <p>9 第5回ラムサール条約締約国会議が、95カ国・151団体1,217名の参加により開催される。(～16日)</p> <p>26 釧路-旭川都市間バスの運行が開始される。</p> <p>28 二俣郵便局廃止により二俣簡易郵便局が業務を開始する。</p>	<p>9 皇太子殿下の「結婚の儀」を皇居で挙る</p> <p>21 自民党を集団離党した武村正義ら10人が「新党さきがけ」結成</p> <p>22 自民党羽田派44人、「新生党」結成</p>
7	<p>1 JAS釧路-名古屋直航便が開設される。</p> <p>8 北大通シンボルロード完成祝賀会が開かれる。</p> <p>13 災害用無線電話が市役所と市内医療機関などに導入される。</p> <p>20 音別町長選挙が告示され、無投票で今野町長7選となる。</p> <p>27 市個人情報保護運営審議会が発足する。</p> <p>31 鳥取市・湯沢市との姉妹都市提携30周年記念調印式が開かれる。</p>	<p>12 M7.8の「北海道南西沖地震」が発生し、奥尻島などで死者201人、行方不明29人、負傷者305人</p> <p>18 総選挙、自民223・社会70・新生55・公明51・日新35・共産15・民社15・さき13・社民連4</p>
8	<p>2 柳町アイスホッケー場上屋工事が完成し、通年リンクとなる。</p> <p>23 阿寒神社の新社殿が完成し、遷座祭が執り行われる。</p> <p>* 徹別パークゴルフ場がオープンする。</p>	<p>9 非自民7党連立の細川護熙内閣発足</p> <p>19 国際先住民年記念「ニ風谷フォーラム」開幕</p>

平成5年(1993)

9	<p>4 米町再開発事業竣工記念式典が開催される。</p> <p>26 東部コミュニティセンター「コア大空」がオープンする。</p> <p>* 阿寒町で国際先住民年記念モシリレラフェスティバルが開かれる。</p>	21 公定歩合1.75%、初の1%台
10	<p>1 釧路市の個人情報保護制度がスタートする。</p> <p>8 阿寒湖畔で「マリモの唄」歌碑除幕式が開催される。</p> <p>17 市長・市議(定数40名)選が行なわれ、鰐淵市長が5選を果たす。</p>	<p>11 エリツイン露大統領訪日(13日、2島変換の56日ソ 宣言継承等含む東京宣言)</p> <p>* 戦後最悪の米凶作、全国平均作況指数75</p> <p>* 戦後最大の冷害で全道被害額、1,974億円</p>
11	<p>11 市議会議長に工藤清雄が選出される。</p> <p>19 春採湖の汚濁度が環境庁の平成5年度調査でワースト3位となり、1年でワースト1を返上する。</p> <p>21 「エストニア文化フォーラム」が生涯学習センターで開催される。</p> <p>28 釧労協(釧路市労働組合協議会)が48年の活動に幕を降ろす。</p> <p>30 釧路地区同盟が32年の活動に幕を降ろす。</p>	19 北海道横断自動車道の釧路-池田間86 ^{キロ} に建設省から施行命令
12	<p>1 町立音別歯科診療所が新築完成し、診療を開始する。</p> <p>1 釧路地区連合が発足する。</p> <p>1 市営寿駐車場(収容台数353台)がオープンする。</p> <p>16 音別町商工会館が移転新築され、業務を開始する。</p>	<p>14 新多角的貿易交渉(ウルグアイラウンド)が最終決着し、乳製品等関税化受入れ決定</p> <p>24 JR不採用国労事件で、中労委は道内451人の救済命令</p>
この年		この年
	○ 釧路港水揚量が前年の全国2位から4位に後退する。	○ 国際収支黒字、ピークの1,319億1,500万 ^{ドル}

平成6年(1994)

月	釧路市関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	17 下徹別小跡地にコミセン「タンチョウの家」がオープンする。 20 山花地区で市内初の温泉掘削に成功する。 23 ラルズプラザ釧路店が、金市館時代から数え34年で閉店する。	31 全道労協センターが解散
2	5 音別カーリング協会10周年記念「道東カーリング大会」が開かれる。 21 釧路職安が湖陵高校跡地の新庁舎へ移転、業務を開始する。 27 食糧庁による外国産米の緊急輸入でタイ米6,300トンが釧路港へ初めて荷揚げされる。	4 政党助成法公布 25 住友赤平炭砒が閉山
3	5 国産米を求め、市民生協中央店前に約500人の行列ができる。 31 市の人口が20万人台を割る。(4月4日には20万人台に回復)	11 食糧庁、国産米と輸入米のセット販売禁止を通告
4	1 仁々志別多目的センターがオープンする。 1 軽費老人ホーム「ケアハウスよねまち」がオープンする。 1 徘徊老人早期保護の「SOSネットワーク」が管内6市町村で始まる。 10 知的障害者授産施設「はしどい学園」の新園舎がオープンする。 27 市役所内2労組が統一に向けた協議機関設置を合意する。 * 第2次音別町総合計画が発表される。	8 細川首相が退陣表明 23 場外舟券売場「ボートピア釧路」が白糠町にオープン 26 名古屋国際空港で中華航空エアバス機墜落、炎上264人死亡 28 羽田孜内閣が発足
5	20 長倉洋海写真展「マスコ愛しの大地アフガン」が開催される。 29 茅野公園の日本一遅い「さくら祭り」が40年ぶりに復活する。	26 IWC総会、南水洋捕鯨全面禁止決定
6	1 市が70歳以上の高齢者に敬老バス回数券交付を始める。 22 市漁協が西港拡張計画に伴う漁業影響調査実施に同意する。 25 徹別郵便局が廃止される。	13 道立アイヌ民族文化研究センター開所 22 円相場、初の1ドル=100円台突破 27 松本サリン事件で7人死亡、59人重軽傷 29 村山富市社会党委員長が首相に就任
7	7 「阿寒国際ツルセンター」が着工する。 22 釧路-北見臨時都市間バス運行が開始する。(～10月16日)	19 萱野茂が参議院議員に繰上げ当選、アイヌ民族では初の国会議員
8	2 釧路国際ウェットランドセンター準備委員会が発足する。	
9	1 「高齢者生きがい交流プラザ」が隣接の「ケアハウスよねまち」との合築形式で完成し、オープンする。 10 水環境のワズユースを考える道内初の「水郷水都全国会議」釧路大会が開かれる。(～11日) 12 市の年間夏日日数が史上第1位の19日を記録する。(これまでは昭和26年の17日) 19 柳町スピードスケート場の管理・記録棟が完成する。 29 武佐の産廃処分場計画に市議会が「反対意見書」を議決する。	8 公定歩合0.5%、初の1%割れ 13 PKO協力法によるルワンダ難民救援への自衛隊派遣を政府が決定
10	3 市でゴミを5種類に分けて集める分別収集がスタートする。 3 市資源リサイクルセンターと市民工房がオープンする。 4 東方沖地震で釧路市は負傷82人、住宅被害353戸。 11 平成9年冬季国体釧路大会の市準備委員会が発足する。 20 市が運輸省から国際会議観光都市に指定される。 24 MOOに市医師会健診センターが開設される。 25 月館俊松阿寒町長が2期目の任期途中で死去する。 30 釧路港へのマサバ・マイワシ水揚げゼロで道東巻網漁が終了する。	4 北海道東方沖地震(M7.9)、負傷436人 13 ノーベル文学賞に大江健三郎 16 釧路町長選挙、現職中西町長を破り、前助役菅原澄が初当選 21 釧路町に大型ショッピングセンター、釧路サティが開店
11	1 道内3番目のミニFM局「FMくしろ」が開局する。	21 衆議院選区割り法成立、釧路市は新13区


平成 6 年(1994)

	<p>7 管内6市町村代表が豪州ニューカッスル市を訪れ、管内3湿原とクーラガンク湿地との国際姉妹湿地提携書に調印する。</p> <p>7 釧路西高と豪州ジェスモンド高との姉妹校提携が調印される。</p> <p>7 釧路商工会議所青年部が発足する。</p> <p>11 園内11町村が阿寒国立公園指定60周年記念シンポジウムを開く。</p> <p>28 「湿地・水鳥ワークショップ」が生涯学習センターで開催される。</p>	
12	<p>4 阿寒町長選挙で佐々木三男が初当選する。</p> <p>17 阿寒湖パーク・ボランティアの会が発足する。</p>	<p>10 新進党結成、海部元首相が初代党首に</p> <p>28 三陸はるか沖地震(M7.5)</p>
	この年	この年
		○ パソコン国内販売台数、ワープロを抜く

平成7年(1995)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>19 被災地支援の釧路ガス社員ら6人と協立病院医師ら3人が兵庫県へ出発する。</p> <p>26 釧路国際ウェットランドセンターが設立される。</p> <p>30 材木山の手トンネル・旭橋通の開通式が行われる。</p>	<p>17 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)、死者6,434人、行方不明3人</p>
2	<p>1 釧路-網走都市間バス「流水号」の運行が開始される。</p> <p>21 釧教大と豪州ジェームズクック大との交流協定が調印される。</p>	
3	<p>1 望洋児童センターを併設する複合型高齢者福祉施設「望洋ふれあい交流センター」がオープンする。</p> <p>2 星が浦高齢者デイサービス・介護支援センターがオープンする。</p> <p>14 市教委が「いじめ実態アンケート調査」の結果を公表する。</p>	<p>18 歌志内の空知炭鉱105年の歴史に幕</p> <p>20 東京地下鉄サリン事件、11人が死亡</p>
4	<p>1 都心部商店街連絡協が市中心部の共通駐車券事業を始める。</p> <p>1 阿寒町でタンチョウとマリモの研究員各1名が増員され、合計4名の研究体制となる。</p> <p>9 道議選で、市部は綿貫健輔・西田昭紘・伊藤武一・伊東良孝、管内は若狭靖・大裕和則が当選する。</p> <p>23 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。</p> <p>28 阿寒湖畔の「オンネチセ」が改築され、オープンする。</p>	<p>9 道知事・道議選、堀達也が初当選</p> <p>19 円相場急騰、ピークとなる1ドル=79円75銭</p>
5	<p>8 阿寒町婦人団体連絡協議会が同女性の会協議会と改称する。</p> <p>* 釧路市・釧路町・白糠町が地方拠点都市地域の指定を受ける。</p>	<p>16 オウム真理教の教祖麻原彰晃逮捕</p>
6	<p>18 音別町が分村80周年記念式典を挙げる。</p> <p>22 釧路駅西再開発準備組合の駅前市場仮設店舗がオープンする。</p> <p>* 市が日本観光協会の「第2回優秀観光地づくり賞」を受賞する。</p>	
7	<p>1 MOO岸壁炉ばたが夏季限定でオープンする。</p> <p>27 まりも学園が移転新築、開園式を行う。</p> <p>31 釧路西郵便局が鳥取大通7丁目の新局舎で営業を開始する。</p>	<p>23 参院選、自46・新進40・社16・共8・さき3(道選挙区で自民議席失う)</p>
8	<p>15 栄町公園が「栄町平和公園」と改称され、「釧路市平和のモニュメント」の除幕式が行われる。</p> <p>19 音別町で「音と光のファンタジーコールオン80」が開催される。</p> <p>21 石黒ホームが札幌に本社を移し「ホームマック」となる。</p>	
9	<p>2 「ふるさと阿寒・札幌会」の設立総会が札幌で開催される。</p> <p>4 946オンマイマイン「釧路の歌」公募歌詞選考結果が発表される。</p> <p>13 「はなしのぶ橋」の開通式が行われる。</p> <p>24 釧路市連合町内会創立30周年記念式典が挙行される。</p> <p>25 北東アジア・北太平洋環境フォーラムが開かれる。(～29日)</p> <p>* 阿寒中学吹奏楽部が全道大会で銀賞を獲得する。</p>	
10	<p>4 大塚製薬工業釧路工場の新工場落成式が行われる。</p> <p>9 「ふるさと阿寒・東京会」の設立総会が東京で開催される。</p> <p>10 音別町森林体験交流センター落成記念式が行われる。</p> <p>12 釧路空港のILSカテゴリーⅢaの供用が開始される。</p> <p>28 北海道4河川(釧路・天塩・湧別・十勝)シンポジウムが開かれる。</p>	<p>1 第16回国勢調査実施</p>

平成7年(1995)

<p>11</p>	<p>3 音別町イメージソング「空と海と風の町」が発表される。</p> <p>(城之内 早苗) 空と海と風の町 【音別町イメージソング「空と海と風の町」】 <small>作詞・作曲/笈木とよひさ 編曲/あかのたちお</small></p>  <p>5 市立釧路図書館70周年記念「小檜山博講演会」が開かれる。 12 サンサンロード(釧路駅地下道)改修完成記念式典が開かれる。 30 第16回国勢調査で市の人口20万人割れが発表される。</p>	<p>3 堀知事が官官接待廃止を表明 30 道の不正支出10億8千万円に</p>
<p>12</p>	<p>1 都市間バス全5路線がMOOに発着場を移転する。 5 音別町忠魂碑改築工事の竣工式が行われる。 8 阿寒町商工会のスタンプ事業がスタートする。</p>	

平成8年(1996)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	6 第68回日本学生氷上競技選手権大会が開かれる。(～9日) 28 釧路旭保育園(私立)で休日保育事業がスタートする。	5 村山首相辞任を表明 11 橋本竜太郎内閣が発足
2	8 全国中学アイスホッケー大会(福島県)で緑陵中が優勝する。 17 PLEA'97釧路国際会議プレ会議が開催される。 22 釧路市生涯学習推進会議の答申を受けた市の「まなびすと・くしろプラン」が発表される。	10 豊浜トンネル岩盤崩落事故、死者20人 16 薬害エイズ問題で菅厚相は、感染・被害拡大に国の法的責任を認め、謝罪
3	1 釧路市鉄北デイサービス・介護支援センターがオープンする。 1 釧路市教委がフリーダイヤル「いじめカットライン」を開設する。 4 経営危機に陥った釧路市民生協が和議を申請する。 9 音別町商工会が「音利YOUカード」事業をスタートさせる。 10 前田一歩園財団が「阿寒国立公園昆虫目録」を発刊する。 22 音別町立二俣中学校の閉校式が行われる。 31 釧路港拡張計画に伴う漁業補償交渉が妥結する。 * 国際ツルセンターの完成を記念し、皇太子殿下御歌碑を建立する。	22 道は職員が流用した裏金相当分21億円を一括返還
4	1 新設の芦野保育園で地域子育て支援センター事業がスタート。 18 太平洋炭鉱が5年間で1,500人を800人への削減案を発表する。 22 釧路市農村都市交流センター(山花温泉リフレ)がオープンする。 26 阿寒国際ツルセンターがオープンする。 26 マリモ展示観察センターがリニューアルオープンする。	
6	13 釧路シビックコア地区で国の合同庁舎建設工事着工する。 22 公立大経営学科増設・校舎増築工事落成記念式が行われる。	
7	1 東アジア国立公園保護地域会議が開催される。(～5日) 1 ANA「釧路-福岡」線が開設される。 4 釧路空港の新旅客ターミナルビルがオープンする。 7 いじめを考える釧路市民大会が開催される。 8 丸三鶴屋の経営権を丸井今井が取得する。 15 音別町福祉協議会が在宅老人給食サービスを開始する。 17 PLEA'97釧路国祭会議インフォメーションセンター落成式。 21 JAS「釧路-仙台」線が開設される。	13 堺市の小学校でO157集団食中毒が発生、全国にO157禍広がる
8	2 「くしろ記念公園」(鳥取北7)完成記念式典が行われる。 19 釧路市湿原展望台の入館者が200万人に達する。 26 国際湿原保全釧路会議が開催される。(～9月6日)	
9	4 「946全国歌唱大賞コンクール」が開催される。 21 アジアゲートボール選手権大会で1,500人が来釧する。 30 第10回ツール・ド・北海道が釧路で開幕する。(～10月6日) * 阿寒中吹奏楽部が全道大会で2年連続の銀賞となる。	1 北広島、石狩両町が道内24年ぶりの市制施行、33・34番目の市誕生 27 衆議院解散
10	1 本州製紙が新王子製紙と合併し、王子製紙釧路工場となる。 4 丸井今井釧路店が仮オープンし、記念セールを開始する。 8 鰯淵市長が衆院選出馬の為、辞職する。 10 「第17回北海道演劇祭inくしろ」が開催される。(～13日) 20 道13区は北村直人、道比例で鈴木宗男・鰯淵俊之が当選する。 30 くしろ市民生協の和議申立を釧路地裁が認可する。	20 総選挙、自239・新156・民52・共26・社15 * 旧日本軍が終戦直後に屈斜路湖に投棄した毒ガス弾の引揚調査が終了

平成8年(1996)

11	<p>1 阿寒町終末処理場が完成し、下水道供用が開始される。</p> <p>3 「音別八景」が決定し、推薦者の表彰式が行われる。</p> <p>3 音別町「平和の塔」の竣工式が行われる。</p> <p>11 国民健康保険町立阿寒病院が改築され、診療を開始する。</p> <p>17 市長選で綿貫健輔前道議が後藤前助役外を破り初当選する。</p> <p>20 釧路アイスアリーナ(愛称「丹頂アリーナ」)がオープンする。</p> <p>20 料亭「八浪」が80年の歴史を閉じる。</p> <p>29 釧路西港に水深14メートル岸壁の第4埠頭などを新設する「釧路港港湾計画」が中央港湾審議会承認される。</p>	<p>7 第2次橋本内閣が発足、3年3カ月ぶりの自民党単独政権</p> <p>21 雌阿寒岳が8年9カ月ぶりに噴火、津別町、美幌町などに降灰</p>
12	<p>9 釧路市新橋大通に、おんべつ学園の福祉の店がオープンする。</p> <p>* 釧路港の年間水揚量は、1964年以来32年ぶりに20万トンを超える17万5千2百トンで昨年の全国3位から6位になる。</p>	<p>20 米海兵隊砲撃訓練移転問題で、別海町・厚岸町・浜中町の3町長が受入の確認書</p>

平成9年(1997)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	8 PLEA'97釧路国際会議が開催される。(～10日) 25 第52回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「くしろ湿原国体」が開催される。(～28日)	7 ブルーハウス倒産、負債総額238億円 7 島根沖で沈没した露船籍タンカーからの重油により日本海海岸を大規模に汚染
2	14 武佐産廃処分場への道の不許可処分を札幌地裁が取り消す。 16 清明小と新陽小でそれぞれの新校舎落成祝賀会が開かれる。 22 釧路がん検診センターが、胃がん検診受診者数500万人突破を達成し、全国初の記録となる。	17 三井三池炭鉱が3月末閉山を労組に提案 19 道の不正経理は総額41億5千万円に
3	4 知人礁霧信号所が廃止される。 19 釧路市児童育成計画「エンゼルプラン」が策定される。 22 新型振子特急「スーパーおおぞら」が運行開始、釧路-札幌間が3時間40分に短縮される。 23 音別町立二俣小学校の閉校式が行われる。	27 札幌地裁がアイヌ民族の先住性を認定 31 拓銀と道銀が'98年4月を目途に対等合併することで基本合意
4	1 乳幼児医療費助成対象年齢が3歳未満から6歳未満へ拡大される。 25 あかんランド丹頂の里に「北緯43°美術館」がオープンする。 30 新港湾計画に伴う漁業補償本協定書調印式が行われる。 30 市の24時間対応巡回型ホームヘルプサービスがスタートする。	
5	6 「釧路子どもミュージカル・キッズ・ロケット」設立総会が開かれる。 30 阿寒町内牛乳生産量3万トン達成記念式典が行われる。	8 アイヌ新法が成立し、北海道旧土人保護法は廃止
6	1 釧路市政への意見・提言制度「まちメール」がスタートする。 15 第80回釧路市民大運動会が開催される。(運動会としては最後) 17 啄木ゆめ公園(南大通5)がオープンする。 17 釧路市消防本部新庁舎が供用開始される。 19 阿寒町の「公共賃貸住宅再生マスタープラン」が策定される。 26 第3次マリモ総合調査に初めてボランティアが参加する。 29 地ビール工場兼レストラン「くしろ港町ビール」がオープンする。	
7	6 消防本部新庁舎1階の市民防災センターがオープンする。 8 累積赤字問題で休業していた白糠町の恋問館が営業再開する。 15 音別町長選が告示され、無投票で高野武前収入役が初当選する。 17 阿寒町農協の直営店「赤いシャッポ」がオープンする。	15 道は長期停滞事業を見直す「時のアセスメント事業」に土幌高原道路など6事業を対象にすると発表
8	1 釧路錦町駐車場がオープンする。 7 今野宗一音別町長が在任期間7期28年で退任する。 29 第1回すえひろ祭りが開催される。(～30日)	
9	7 最後となる第30回音別町民大運動会が開催される。 8 道知事、市長らが太平洋炭鉱キャラバン隊や長崎県と合同で国内炭鉱存続の中央要請行動を行う。 25 釧路市北斗遺跡の「ふるさと歴史の広場」がオープンする。 30 釧路で一番古い南大通交番が統廃合で業務を終える。	18 在沖繩米海兵隊の実弾砲撃訓練が矢白別演習場で移転実施
10	10 国際啄木学会釧路大会が開催される。(～12日) 19 市議会議員選挙(定数38名)が実施される。 20 武佐産業廃棄物処分場設置計画をめぐる行政訴訟で、道は札幌高裁に控訴を棄却され上告を断念する。 * 阿寒町で第17回釧路管内身体障害者福祉大会が開催される。	

平成9年(1997)

11	<p>7 「エストニア音楽祭inくしろ」が生涯学習センターで開催される。</p> <p>12 市議会議長に中村啓が選任される。</p>	<p>17 拓銀が経営破たんし、北洋銀行への営業譲渡を決定</p>
12	<p>1 音別町のオフトーク通信システム「やすらぎ通信」が供用開始する。</p> <p>3 「石炭フォーラム'97『太平洋』の灯を消さないために」が開かれる。</p> <p>20 国道38号線と44号線を結ぶ道道釧路環状線が開通する。</p>	<p>27 新進党解散</p>

平成10年(1998)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	27 阿寒湖畔キャンプ場美化センターの落成式が行われる。 30 「釧路市救命推進協議会」設立総会が開かれる。	
2	1 音別町福祉保健センター「ほほえみ」がオープンする。 13 長野冬季五輪で星園高卒の岡崎朋美が銅メダルを獲得する。 15 子供グループ初の共同発表会「釧路管内の伝承郷土芸能発表会」が市民文化会館で開催される。 23 釧路市の車いすガイドヘルパー派遣サービス事業が始まる	
3	2 釧路市の複合施設「白樺ふれあい交流センター」がオープンする。 8 釧路湖陵高校でアルバム汚職事件が発覚する。 9 長野パラリンピックのアイススレッジスピードで釧路市の武田豊選手が3つの金メダル、桑原明美選手が銅メダルを獲得する。 28 HAC(北海道エアシステム)の釧路-旭川線が就航する。 * 阿寒町立マリモ幼稚園の新園舎が完成する。 * 阿寒町「徹別多目的センター」がオープンする。	10 拓銀融資のテルメインターナショナルシステムなど3社が破産、負債総額は454億円 18 拓銀融資のエイベックスなど3社が破産、負債総額は1,523億円
4	1 道立釧路養護学校に高等部が開設される。 17 学校と家庭を繋ぎ子供の相談相手となる、釧路市のファミリーサポーター制度がスタートする。 17 ジャスコが釧路市昭和地区への出店を表明する。 * 阿寒町「子供交流館」がオープンする。 * 阿寒町保健福祉サービス複合施設「ひだまり」がオープンする。	
5	9 釧路西港区第2期工事着工記念式が行われる。 14 阿寒町の「まちづくり推進委員会」が最終報告会を開く。 15 「釧路地方の地名を考える会」設立総会が開催される。 19 オウル市(フィンランド)幹部5人を招き産業クラスター構想のフォーラムが開催される。 24 阿寒町布伏内の知茶布トンネルにお別れする会が開かれる。	22 太平洋炭礦・池島炭鉱長期存続特別中央大会が東京で開催 27 トマムリゾートの施設の一部を所有するアルファコーポレーションが破産宣告
6	1 動物園隣に「釧路市ふれあいホースパーク」がオープンする。 1 市の24時間巡回ホームヘルプサービス本格実施が始まる。 9 市立28小学校でポリカーボネート製箸を竹製に切替える。 11 旧釧路川が「ふるさとの川整備事業」に指定される。 27 釧路市都心部無料循環バス「くるりん」の運行が始まる。	17 別海町で製造のO157に汚染されたイクラで東京・富山など7都府県の62人が食中毒
7	1 HAC釧路-函館線が就航する。 3 釧路市がハイブリッドカーを初めて公用車に採用する。 10 釧路市が緊急雇用安定地域に指定される。 10 「全国トロッコ列車サミット」が釧路市で開催される。 25 山花オートキャンプ場が9月30日までの仮オープン。 28 「釧路産業クラスター創造研究会」設立総会が開かれる。	12 参院選で自民惨敗、翌日橋本首相が辞意を表明 30 小淵恵三内閣成立
8	1 姉妹都市バーナビー市訪問団一行13人が来釧する。(～5日) 2 初の「全道ジュニア郷土芸能フェスティバル」が釧路市で開催される。 3 「釧路地方被害者支援連絡協議会」設立総会が開かれる。 23 第1回釧路スポーツフェスティバルが開催される。	

平成10年(1998)

	25 釧路市とベトロパブロフスク・カムチャッキー市の「港街友好都市提携」協定書が調印される。	
9	15 市の「シルバーフェスティバル」と「くしろ健康まつり」を合同した「いきいきフェスタ'98」がスタートする。(～10月17日) 16 市議会をケーブルテレビで実験的に生中継する。 23 釧路市・釧路町合同の「ちびっこパラダイスin児童館」が催される。 26 ぬさまい公園で「挽歌の碑」除幕式が行われる。	
10	1 北海道舞台塾釧路地域大会が開催される。(～4日) 9 阿寒湖に生息するマリモの総個数を始めて6億個と発表する。 11 マリモ発見命名100年記念のシンポジウムと回顧展が開かれる。 11 第1回釧路味覚祭で料理コンテストなどが催される。 14 国際ツルセンターで「猪狩満直生誕百年記念詩碑」の除幕式が行なわれる。 19 市内13中学校の「心の教室相談員」辞令交付が行われる。 20 「地域国際化シンポジウム」が国際交流センターで開催される。 23 北海道立釧路芸術館がオープンする。 26 「くしろ演劇みたい会」設立総会が開かれる。	1 3年間の日ロ交渉を経て、昨年12月に妥結した北方四島周辺のロシア主張領海域での安全操業開始 20 釧路町長選挙が告示され、菅原澄町長が無投票で再選
11	1 「知茶布隧道跡の碑」の除幕式が行われる。 2 阿寒町元仁々志別の「農村住宅」入居者募集が始められる。 7 北海道大学から各分野の専門家を招き、最先端の科学の話題を提供する'98くしろ先端科学移動大学を開催する。(7、21、28日) 13 第1回北海道芸術文化フェスティバルが、阿寒町・釧路市など4市町を会場に開催される。(～15日) 15 阿寒町長選挙で佐々木三男町長が再選される。	16 拓銀の道内営業を継承した北洋銀行が道内トップバンクとしてスタート
12	5 太平洋病院を隣接地に全面改築し、老人保健施設・特別養護老人ホームと複合した「みなみ病院」の落成式が行われる。 8 JR釧路駅西側に第二おんべつ学園の「ワークショップ大きな木」がオープンする。 9 阿寒町内で交通事故死ゼロ連続500日を達成する。 11 釧路大と露カムチャッカ教育大が姉妹校提携に調印する。	* 道内の企業倒産は、依然拓銀破綻の影響が大きく11年ぶりに1,000件を越し、負債総額8,610億円
この年		この年
	○ 釧路港水揚量が前年の全国6位から3年ぶりの3位となる。	○ 11月全国平均失業率、最悪の4.4%

平成11年(1999)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	20 道内初の不登校中学生を対象とした「夜間教室」が市の「ふれあい教室」でスタートする。 23 音別町廃棄物再生利用施設「リサイクルセンター」が竣工する。 23 将来、北海道横断自動車道の一部となる釧路外環状道路着工式が行われる。 * 阿寒町橋南センターがオープンする。	22 日韓新漁業協定が発効
2	11 ワシ類保護管理国際シンポジウムが生涯学習センターで開かれる。 28 阿寒湖で「スケートマラソン・プレ大会」が開催される。	
3	1 阿寒町商工会の「とくとくクーポン」が販売開始される。 2 「クラスターシンポジウムinくしろ」が開催される。 27 釧路和商市場が新装オープンする。 * 阿寒湖畔の平成10年度宿泊者数が100万2千人を記録する。	30 O157汚染のイクラ販売で別海町の水産加工会社前社長に有罪判決
4	1 音別町資源物リサイクルが本格的に実施される。 11 道議選で、市部は西田昭紘・伊東良孝・伊藤武一・蝦名大也、管内は若狭靖・岡田篤が当選する。 25 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。 28 「釧路市学校のあり方検討委員会」が発足する。 * 阿寒湖畔の共同浴場「緑町生活館」が新築落成する。	11 道知事・道議選、堀達也再選
5	7 旧釧路川岸の所有者不明沈廃船撤去作業が始まる。 11 釧路第1学区の「公立高校適正配置懇話会」が発足する。	
6	20 音別町町制施行40年記念式典が挙行される。	23 白糠町の「ポートピア釧路」閉鎖
7	5 釧路公立大と韓国大田市牧園大が姉妹校提携に調印する。 18 市内で初の複合型機能を備えた在宅サービス施設「昭和啓生園」の落成式が行われる。 * 阿寒町多目的広場のナイター照明が完成する。	30 道開発庁長官と建設相が千歳川放水路計画の中止を表明
8	4 釧路港開港100年記念式典が挙行される。	9 国旗国歌法成立
9	1 雌阿寒岳噴火想定ハザードマップが阿寒町全戸に配布される。	30 東海村で日本初の臨界事故、49人被曝
10	1 軽費老人ホーム「ケアハウス楽寿苑」(昭和)がオープンする。 7 第1回「釧路市子ども教育委員会」が開催される。 10 釧路市・鳥取町合併50周年記念式典が挙行される。 16 福祉とまちづくりを24時間考える「チャレンジくしろ24」が開かれる。 23 音別町に陸上局を持つ「釧路・十勝沖海底地震総合観測システム」の運用が始まる。	5 自公3党連立の小渕第2次内閣発足
11	12 市議会議長に小窪政信が選任される。 13 近海郵船の釧路-東京間旅客フェリー(昭和47年から23年間運航)が廃止となる。 15 高山の太平洋粗大ごみ処理センターの竣工式が行われる。	
12	1 太平洋炭礦本社が東京から釧路鉱業所内へ移る。 7 火災で仮店舗営業していた釧路市朝市協同組合が改装工事を終えて5ヶ月ぶりにオープンする。 10 音別町のコンピューターによる総合行政システムが、住民票の交付から運用を開始する。	3 オウム真理教対策の団体規正法と破産特例法成立 21 東海村臨界事故で被曝のJCO社員死亡

平成11年(1999)

<p>10 「ジャスコ」の出店予定地を含む「昭和中央土地区画整理事業」への建設大臣認可・道知事決定が出される。</p> <p>17 阿寒町立病院と札幌大との遠隔診断システムの運用が始まる。</p> <p>31 「2000年問題」で市内官公庁・民間企業が31日から元旦にかけ、宿直などの特別体制を組む。</p>	
--	--

平成12年(2000)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 「SL冬の湿原号」(釧路-標茶)が運行開始する。</p> <p>9 昭和中央土地区画整理組合が設立される。</p> <p>17 「ジャスコ」の店舗面積は約2万7千㎡で決着と市長が発表する。</p> <p>20 釧路市で史上第2位の積雪量56cmのドカ雪により大混乱する。</p> <p>26 浪花町16番倉庫協議会が道からNPO認可を受ける。</p>	<p>4 コンピュータ2000年問題(Y2K)、大きな混乱無く政府が安全宣言</p>
2	<p>7 幣舞橋架橋百年の「ふるさと切手」が発行される。</p> <p>15 おんべつ学園地域交流ホーム落成記念式典が挙行される。</p> <p>21 釧路市と市内34郵便局が災害時協力協定を締結する。</p> <p>21 釧路で初の低床バスが運行を開始する。</p> <p>23 阿寒国際スケートマラソン大会が開催される。(～26日)</p> <p>29 美原公設市場が核店舗を入れ替えて再オープンする。</p> <p>29 丸ト北村(明治39年創業)が閉店する。</p> <p>* 音別町キャッチフレーズ「北のビーナス」の使用が開始される。</p>	<p>7 根室市の道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」が開館</p> <p>13 長崎屋が会社更生法申請</p>
3	<p>2 阿寒訪問看護ステーションの開所式が挙行される。</p> <p>9 太平洋炭砒が400人を削減することを発表する。</p> <p>13 釧路総合流通センター設立準備会が解散される。</p> <p>19 阿寒町立布伏内中学校の閉校式が挙行される。</p> <p>24 釧路市学校のあり方検討委員会が、6件13校の統合と18校の通学区域再編などの中間報告を提出する。</p>	<p>31 有珠山23年ぶりに噴火</p>
4	<p>1 「阿寒町住んでよかった条例」が施行される。</p> <p>1 音別町体験学習センター「こころみ」がオープンする。</p> <p>6 南極からの調査捕鯨船団が初めて釧路入港、1,850t荷揚げする。</p> <p>11 釧路商工会議所青年部が実施したアンケート調査で、市民1,318人、町民194人の93.6%が「合併賛成」と回答する。</p> <p>12 暴風(最大瞬間風速33.9m)で鶴ヶ岱公園相撲場などが倒壊する。</p> <p>12 有珠山噴火で被災地を市長が訪問し、義援金を渡す。</p> <p>16 NPO運営の文化ホール「浪花町16番倉庫」がオープンする。</p> <p>29 鯨類捕獲調査母船一般公開に2日間で1万3,700人が入場する。</p>	<p>1 介護保険制度がスタート</p> <p>1 容器包装リサイクル法施行</p> <p>4 小淵首相が昏睡状態となり内閣は総辞職</p> <p>5 森喜朗内閣成立、全閣僚が再任</p>
5	<p>21 国際ツルセンターでタンチョウの人工孵化に成功する。</p> <p>25 ホルムスタ市ドルギフ市長が姉妹都市25周年を記念し来釧する。</p> <p>27 深谷通産相が太平洋炭砒、DME実験プラントなどを視察する。</p> <p>* 音別町振興公社で「ツワブキ」の試験栽培を始める。</p>	
6	<p>2 学校のあり方検討委員会中間報告への意見を市教委が開くための地域懇談会が始まる。(～8月29日。23会場)</p> <p>20 雌阿寒岳の入山が2年ぶりに解禁される。</p> <p>25 衆院選道13区で北村直人5選、道比例で鈴木宗男6選となる。</p> <p>26 釧路市民交通災害共済運営委員会が「事業廃止」の答申を出す。</p>	<p>9 矢白別の米軍夜間砲撃訓練公開</p> <p>16 釧路川の河川区域指定が湿原の4分の3を占める15,580ヘクタールに拡大</p> <p>25 衆院選で与党の自公保59議席減</p>
7	<p>1 音別町「ふれあいの森」の林間広場がオープンする。</p> <p>8 駅西再開発準備組合の仮店舗全店が閉じる。</p> <p>8 厳島例大祭で若者が集団で暴れ、3人逮捕される。</p> <p>14 市民憲章運動推進全国大会が国際交流センターで開催される。</p> <p>17 港まつりの露店を騒擾対策のため幸町へ移転することに決める。</p>	<p>2 雪印乳業大阪工場の乳飲料で食中毒、被害者1万2千人</p> <p>4 第2次森連立内閣成立</p> <p>11 雪印乳業が全国21工場の操業停止</p> <p>19 沖繩サミットを記念し、初の2千円札発行</p>

平成12年(2000)

	<p>19 釧路市農協の累積赤字が46億円に達し、自主再建を断念する。</p> <p>20 阿寒湖畔で初めての「湖(うみ)の日・夏祭り」が開かれる。</p>	
8	<p>1 「コアかがやき」がオープン、支所機能も稼働する。</p> <p>11 釧路市など16団体が、旧釧路川を釧路川と呼べるように求めた要望書を開建と支庁に提出する。</p> <p>18 釧路駅前商店街の貸し自転車事業がスタートする。</p>	
9	<p>1 「クリーンコールドー北海道国際セミナー」が釧路市で開かれる。</p> <p>7 「尺別炭鉱閉山30周年の集い」が音別町文化会館で開かれる。</p> <p>11 釧路地方合同庁舎が完成し、財務事務所を皮切りに各機関が順次引っ越しをする。(10月5日完了)</p> <p>19 阿寒湖畔で米先住民と共に「パイプセレモニー」が開かれる。</p> <p>20 台湾さんま漁船座礁事故釧路市対策協議会が設置される。</p> <p>22 「釧路市みんなできれいな街にする条例」議決される。</p> <p>22 市議会議員定数を38人から34人にする減員案が可決される。</p> <p>23 イオン釧路昭和ショッピングセンターがオープンする。</p> <p>26 「釧路地区被害者支援ネットワーク」が設立される。</p>	<p>8 食中毒事件で、大阪工場等に脱脂粉乳を出荷していた雪印大樹工場を家宅捜査</p> <p>11 浦河沖で漁船沈没、14人行方不明</p> <p>23 屈斜路湖の旧陸軍毒ガス弾最終処理開始</p>
10	<p>1 春採湖が道の鳥獣保護区に指定される。</p> <p>5 全国公民館研究集会在釧路市で開催される。(6日まで)</p> <p>6 裁判所では全国初の耐震構造となる、釧路地裁などの新庁舎が完成、公開される。</p> <p>6 釧路観光協会創立50周年記念式典が開かれ、キャッチコピー「いいね釧路ときめいて」やシンボルマークなどが発表された。</p> <p>7 阿寒町公民館で札幌交響楽団のコンサートが開催される。</p> <p>9 雄別鉄道の廃止30周年記念シンポジウムが開かれる。</p> <p>15 市議補欠選が告示され、4人が無投票当選する。</p> <p>19 日本商工会議所の移動常議員会が釧路市で開催される。</p> <p>22 釧路市長選挙投票率39.32%で史上最低を記録する。</p> <p>22 綿貫健輔市長が再選を果たす。</p> <p>31 釧路高専の「地域共同テクノセンター」竣工記念式が行われる。</p> <p>31 釧路市シビックコア地区のオープン式典が行われる。</p>	<p>1 第17回国勢調査実施</p> <p>10 白川英樹教授、ノーベル化学賞を受賞</p> <p>29 中標津空港から国後島メンデレーエフ空港に初の航空機乗入れ</p>
11	<p>3 釧路空港初の香港チャーター便が就航する。</p> <p>8 座礁の台湾漁船を市が行政代執行により解体撤去を始める。</p> <p>12 マリモの知識普及などを考える前田一歩園自然セミナーが釧路市で開催される。</p> <p>17 山花リフレの日帰り入浴客が100万人を突破する。</p> <p>20 道の次世代型エゾシカ捕獲システム導入で、音別町内にハイタワーが設置される。</p> <p>25 「釧路ラーメンれんが横丁」が浪花町十六番倉庫で開催される。</p> <p>28 釧路支庁が武佐産廃施設の使用許可を愛知の業者へ通知する。</p> <p>30 釧路サティの増床分とシネコンがオープンする。</p> <p>30 釧路空港滑走路が2,500mに延長され供用開始する。</p>	<p>5 新十津川などの旧石器発掘捏造が発覚</p> <p>17 不信任で解散、選挙後の弟子屈町議会が再度不信任案可決し岡田町長失職</p> <p>22 幹旋利得処罰法成立</p> <p>28 刑事罰対象年齢を16歳以上から14歳以上に引下げる改正少年法成立</p>
12	<p>3 くしろ市民生協武佐店が閉店する。</p>	<p>5 第2次森改造内閣発足</p>

平成12年(2000)

<p>15 阿寒湖チュウレイ島の散策路改修工事が完成する。</p> <p>20 「ふるさとの川整備事業」による末広側河畔駐車場がオープンする。</p> <p>23 音別町内の交通事故死ゼロ500日が達成される。</p> <p>31 阿寒町舌辛川人道橋「すずらん橋」開通式を21世紀の幕開けに合わせ、大晦日深夜から元日未明にかけ挙行する。</p>	<p>25 札幌そごうデパートが再建を断念し、閉店</p>
--	-------------------------------

平成13年(2001)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 幣舞橋の架橋100年を記念する公開座談会が開催される。</p> <p>27 太平洋炭礦で自然発火事故が起き、以後25日間操業を停止する。</p> <p>30 釧路市連合町内会が「21世紀の町内会活動」を発刊、配布する。</p>	<p>6 政府が1府12省庁に再編スタート</p>
2	<p>1 無料循環バス「くるりん」が有料となる。(大人100円、子ども50円)</p> <p>11 阿寒小学校新校舎落成・開校100年記念式典が挙行される。</p> <p>27 雌阿寒岳火山防災会議協議会が設立される。</p>	<p>27 北大病院で道内初の脳死肝移植手術</p>
3	<p>15 音別町浄化センターが竣工し、下水処理が開始される。</p> <p>22 公示地価で「北大通4の1」はマイナス26.7%と全道1位、全国3位の大幅な下落率となる。</p> <p>27 阿寒町の北海道鎌倉ハムが民事再生法適用を申請する。</p> <p>31 阿寒町農協と釧路市農協の合併契約調印式が行われる。</p>	<p>19 根室信金と厚岸信金が合併して「大地みらい信金」となり営業開始</p> <p>22 全国地価公示、▲4.9%で連続10年下落</p>
4	<p>1 「釧路市みんなできれいな街にする条例」が施行され、空き缶や煙草の吸い殻を捨てると罰金が科せられるようになる。</p> <p>1 福祉会館と婦人会館が統合し、「交流プラザさいわい」と改称する。</p> <p>1 市が「釧路合併」担当参事を配置し、合併への取組を開始する。</p> <p>5 釧路川の新水路部分を「新釧路川」へ、旧釧路川を「釧路川」への、34年ぶりの名称復活が告示される。</p> <p>8 スカイビル内の映画館3軒が閉館し、市内から映画館が消える。</p> <p>20 音別町食生活改善協議会が設立される。</p> <p>21 阿寒湖の砕氷作業船に初めて観光客が乗船する。</p>	<p>1 家電リサイクル法がスタート</p> <p>26 小泉純一郎内閣成立</p>
5	<p>8 市在住外国人向け日本語講座が国際交流センターで開講される。</p> <p>12 釧路埼灯台の改築工事が完成し、8ヶ月ぶりに点灯される。</p> <p>13 春採湖の会など24団体による「春採の森創生事業」の第1回植樹会が春採湖南岸の市有地で行われる。</p> <p>29 「釧路市学校のあり方検討委員会」が、中間報告についての地域懇談会での意見から「選択ゾーン設置」などを盛り込んだ最終報告を、市教委に提出する。</p>	<p>11 熊本地裁、ハンセン病訴訟で国に18億円の支払い命ずる判決</p>
6	<p>1 城山商店街振興組合が「城山達人倶楽部」の拠点と組合事務所の「城山工房」を開設する。</p> <p>2 釣りと自然の共存を考える「阿寒アウトドアフェスティバル」が阿寒湖畔で開かれる。</p> <p>12 水産加工大手のマルア阿部商店が負債40億円で民事再生法適用を申請する。</p> <p>15 座礁した台湾漁船の撤去作業が終了し、2億4千万の費用弁償を船主に強く求めていくことを市長が表明する。</p> <p>18 中心市街地活性化法に基づくTMOの「くしろ街づくり支援センター」が設立される。</p> <p>19 音別町で「町民便利帳」を作成し、全戸配布する。</p> <p>23 釧路空港開港40年、釧路港重要港湾指定50年を記念し、海と空の「港」を花で飾る「フラワーポート事業」の植栽が行われた。</p>	<p>2 札幌ドームがオープン</p> <p>8 大阪教育大学附属池田小学校に包丁男乱入、1・2年生8人を刺殺</p> <p>22 旭川商工信組が破産処理申請、債務超過額46億円</p>
7	<p>1 昨年始めた釧路駅前商店街振興組合の「利再来貸出自転車事業」が城山商店街と提携し広域期間延長(3ヶ月)でスタートする。</p>	<p>29 小泉首相就任後初の参院選で自民圧勝</p>

平成13年(2001)

	<p>1 夜行の特急おおぞら13・14号が特急まりもとなり、8年ぶりに「まりも」の名称が復活する。</p> <p>5 「釧路市学校のあり方検討委員会」最終報告についての市民懇談会が開かれる。</p> <p>11 武佐産廃施設の建設条件を限定した上で、道が愛知県の業者に許可通知を出す。</p> <p>16 釧路合併を考える市政懇談会が17会場で開かれる。(～9月3日)</p> <p>17 音別町長選挙が告示され、無投票で高野武町長が再選される。</p> <p>20 釧路-白糠間鉄道開通100周年記念式典が両駅で挙行され、SL白糠号の運行・駅まつり2001の開催などのイベントが実施される。</p> <p>25 音別町で全道公立幼稚園教育研究大会が開かれる。</p>	
8	<p>1 阿寒町農協が破綻した釧路市農協を吸収合併し、「阿寒農業協同組合」が発足する。</p> <p>6 ソウルからの初のチャーター便が就航する。</p> <p>12 北緯43°美術館横で、初めて「阿寒ひまわり祭り」が開かれる。</p> <p>21 音別町で、議員と職員が初めて合同の市町村合併研修会を開く。</p> <p>21 太平洋炭礦「技術移転5ヵ年計画」が02年度実施予定を前倒して行われ、ベトナムの研修生60人を受け入れる。</p> <p>23 高浜虚子の句碑除幕式が米町公園で挙行される。</p> <p>26 釧路市立高女の最後の同窓会が開かれる。</p> <p>29 釧路・帯広・北見・網走・根室の道東5市長が集い「ひがし北海道活性化フォーラム」が国際交流センターで開催される</p>	13 小泉首相、現職では5年ぶりの靖国参拝
9	<p>10 阿寒町と阿寒建設協会が災害時の出動協定を結ぶ。</p> <p>15 「くしろスキップカード」試験運用が和商市場で始まる。(～21日)</p> <p>28 音別町が連合町内会を対象として、市町村合併説明会を開く。</p> <p>30 釧路東映ホテルが閉鎖される。</p>	11 ニューヨークとワシントンで同時多発テロ、4,700人以上の犠牲者
10	<p>1 書籍・CDなどを量販する大型複合店「コーチャンフォー釧路店」が春採にオープンする。</p> <p>5 音別・白糠・釧路町、釧路市の4市町長と支庁長の、合併への意見交換会が初めて開かれる。</p> <p>21 釧路市議会議員選挙(定数34名)が行われる。</p> <p>30 環境省が発表した「かおり風景百選」に、釧路市の海霧(うみぎり)が選ばれる。</p> <p>31 紅花松田商店が破産宣告を受ける。(負債総額18億円)</p>	<p>1 「北海道動物の愛護および管理に関する条例」(ペット条例)施行</p> <p>7 米英軍がアフガニスタン空爆開始</p>
11	<p>1 「釧路合併協議会設置を求める市民と町民の会」による住民発議の署名活動が始まる。</p> <p>2 釧路で初の「ビズ・カフェ」が三ッ輪ビル1階に開設される。</p> <p>12 阿寒湖温泉の女将や女性事業主等が「まりも倶楽部」を結成する。</p> <p>12 長崎屋が、不採算の41店舗(道内4店)に含まれる釧路店は1月末で閉鎖と発表する。</p> <p>12 市議会議長に花井紀明、副議長に吾妻巖が選任される。</p> <p>16 音別町国民健康保険診療所落成式が挙行される。</p>	<p>1 北海道教育大学の教員養成課程を道央校に集約するとの学長方針提示</p> <p>9 網走信組が破綻処理申請、債務超過額23億円</p> <p>21 猿払村で国内2番目の狂牛病感染牛発見</p>

平成13年(2001)

	<p>27 市教委が、平成16年4月から6件13校の統合や通学区域変更による学校規模の適正化と教育改革の実施計画を発表する。</p> <p>30 破綻した網走信組の事業を釧路信組が継承すると決まる。</p> <p>30 阿寒町塵芥焼却場で肉骨粉の試験焼却に成功する。</p>	
12	<p>1 「音別簡易水道施設」が完成し、水道水供給を開始する。</p> <p>2 4市町長の2回目の意見交換会が支庁長の司会で開かれ、「釧釧」署名の扱いを優先とする釧路市長と、「広域」で議論すべきとの釧路町長が対立する。</p> <p>5 「釧釧」合併協議会設置要求の署名42,844名分が、市と町の選管に提出される。</p> <p>7 太平洋炭礦(株)は、翌年1月30日で閉山し、従業員1,066人全員を解雇することを、組合に正式提案する。</p> <p>13 音別町議会が「市町村合併問題等調査特別委員会」を設置する。</p> <p>20 合併協署名の市選管分は30,884人で、有権者の19.9%と確定する。</p> <p>22 くしろ港町ビールの工場併設レストランがMOOに移転される。</p> <p>23 合併協署名の町選管分は5,476人で、有権者の31.8%と確定する。</p> <p>23 太平洋炭礦から事業を引継ぐ新会社、釧路コールマインの創立総会が開かれ、同炭礦と下請け1,500人の中から500人を採用する事などを決める。</p> <p>24 釧根の市町村教委、校長会、PTA連合会などによる「道教大釧路校の存続を求める会」が設立される。</p> <p>27 阿寒観光協会が、日・英・中3カ国語のパンフレット『阿寒湖のマリモ』を作成、配布する。</p>	22 国籍不明の不審船が海上保安庁巡視船に発砲し2人負傷、応戦して不審船撃沈
この年		この年
	○ 釧路港水揚量が前年の全国5位から8位に後退する。	

平成14年(2002)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>9 太平洋炭砒で最後の採炭が行われ、82年の歴史に幕を降ろす。</p> <p>10 「釧釧」合併協議会設置請求書が市長と町長に提出される。</p> <p>14 太平洋炭砒労組臨時大会で閉山提案の受け入れが了承される。</p> <p>16 釧路コールマインが547人の従業員募集を開始する。</p> <p>19 市議会臨時会で9億2千万円融資等の新会社支援策を議決する。</p> <p>21 管内10市町村で釧教大存続を求める署名活動が開始される。</p> <p>22 釧路湿原再生へ国と関係自治体など10機関が「釧路湿原タスクフォース(実行部隊)」を発足させる。</p> <p>25 洋菓子店の老舗「サカエヤ」が75年の歴史の幕を降ろす。</p> <p>30 太平洋炭砒が閉山する。</p> <p>31 釧路コールマインが操業を開始する。</p>	<p>1 欧州統一通貨ユーロの流通開始</p> <p>14 道が「太平洋炭砒閉山対策本部」設置</p> <p>23 雪印食品が豪州産牛肉を国内産に偽装</p>
2	<p>1 「くしろスキップカード」事業が本格スタートする。</p> <p>5 炭砒離職者893人対象の臨時職業相談会がヒルトップで開かれる。</p> <p>11 長崎屋釧路店が26年の営業に幕を降ろす。</p> <p>12 「釧釧」合併協議会設置を提案する臨時議会が、市・町各々で招集される。町では、特別委員会で審議することとなる。</p> <p>13 市議会が「釧釧」合併協議会設置を可決する。</p> <p>15 ソルトレーク冬季五輪で白幡佳史が4位・岡崎朋美が6位に入賞する。</p> <p>22 音別・白糠の森林組合が翌年9月合併の予備契約に調印する。</p> <p>23 阿寒町への転入者意見発表会が初めて開かれる。</p> <p>26 釧教大存続で9万2千人の署名簿を市長らが大学本部へ提出する。</p>	<p>8 米ソルトレークシティで冬季五輪開幕</p> <p>12 家電量販店店内最大手そうご電器が破綻</p> <p>22 雪印食品が再建断念、4月末解散を決定</p>
3	<p>2 釧路の作曲家集団「アールクシリアン」の初公演が開催される。</p> <p>6 「釧路ロイヤル・イン」が旧東映ホテルを改装してオープンする。</p> <p>7 釧路町議会で「釧釧」合併協議会設置を、白糠・音別を含めた広域合併協議会への移行を条件に可決する。</p> <p>11 台湾サンマ漁船座礁問題で、市が和解案受け入れを決める。</p> <p>15 ホテル「ヒルトップ」と大浴場「クオ」が営業を終える。</p> <p>17 佐々木阿寒町長が3期目不出馬を表明する。</p> <p>19 ごみ処理広域連合の釧路管内6市町村による設置が確定する。</p> <p>22 鈴木代議士への議員辞職勧告決議案を市議会が可決する。</p>	<p>11 北方領土人道支援事業などの疑惑に係る鈴木議員の衆議院証人喚問</p> <p>15 鈴木議員が自民党離党を表明</p>
4	<p>1 釧路市にISO14001認証登録証が授与される。</p> <p>1 音別町電話健康相談が開設される。</p> <p>4 釧路工業技術センター開設準備室が市商工労働課に設置される。</p> <p>9 釧路コールマインが本格採炭をスタートさせる。</p> <p>16 国の炭砒技術移転5ヶ年計画が、コールマインへのベトナム研修生来釧でスタートする。</p> <p>19 障害児の学童保育「なかよしクラブ」が、城山小空き教室を活用してオープンする。</p> <p>24 「阿寒湖畔エコミュージアムセンター」がオープンする。</p> <p>25 第二おんべつ学園の「ワークショップ大きな木II」がオープンする。</p>	<p>1 定期性預金のペイオフ凍結解除</p> <p>6 公立学校で完全週5日制に移行</p>
5	<p>8 ホクレン釧路地区家畜市場が大楽毛に開設される。</p> <p>12 国内4頭目のBSE感染牛が音別町で確認される。</p>	<p>25 釧路サティがポスフル釧路に店名変更</p>

平成14年(2002)

	<p>12 太平洋炭砒主婦会が55年の歴史に終止符を打つ。 13 第1回釧路合併協議会が開催される。 21 釧路校を小学教員課程のみとする道教大再編案が発表される。 24 水産庁が調査捕鯨基地に釧路港を指定する。</p>	<p>28 経団連と日経連が統合、日本経済団体連合会発足 31 日韓共催のワールドカップサッカー開幕</p>
6	<p>3 釧路市昇雲台斎場の完成式典が開催され、4日から供用が始まる。 12 阿寒・音別・白糠・幌呂・鶴居各農協が合併推進委員会を設ける。 15 釧路市消防音楽隊のラストコンサートが開催される。 21 阿寒町議会が「合併問題等調査特別委員会」を設置する。 21 釧路市議会が「市町村合併調査特別委員会」を設置する。 29 4市町長と支庁長の協議で広域合併協議会の設置に合意し、阿寒町と鶴居村にも参加呼びかけを確認する。</p>	<p>19 あっせん収賄容疑で鈴木議員逮捕 24 北海道国際航空が民事再生法適用を申請</p>
7	<p>1 エアーニッポンネットワーク(A-net)の釧路空港第1便が就航する。 14 第2回「釧路」合併協議会が開かれ、6市町村広域合併協議会の枠組みが固まるまで協議を休止することとなる。 18 弥生・東中統合準備協議会が発足する。(19日に武佐・緑陵中、22日に桂恋・白樺台小) 24 音別町「北のビーナス発見隊」が結成される。 29 釧路工業団地にDME実証プラント建設が決まる。</p>	
8	<p>1 釧路市制施行80周年記念式典が挙行される。 5 阿寒町が市町村合併説明会を開く。(9日まで6会場) 12 ごみ処理を共同で行う6市町村の「釧路広域連合」が設立される。 15 音別町乳製品加工研究会が「この町愛すの家・モーちゃん」をオープンする。 25 ダイエー釧路店が営業を終了する。 27 音別町国保診療所が北海道福祉まちづくり賞で優秀賞を受ける。 31 釧路港-釜山港外貿コンテナ船が就航する。 * 阿寒オーストリッチ研究会がダチョウ飼育場を設置する。</p>	<p>1 受託収賄容疑で鈴木議員再逮捕 5 「住民基本台帳ネットワーク」が稼働、6自治体不参加 8 人事院勧告、公務員給与初の引き下げ</p>
9	<p>2 釧路ビズカフェが北大通に移転オープンする。 2 太平洋炭砒離職者からの市採用職員へ辞令が交付される。 10 釧路沖での調査捕鯨が始まり、ミンクジラ4頭が水揚げされる。 11 ツール・ド・北海道国際大会が3年ぶりに釧路でスタートする。 18 阿寒町議会が広域合併協議会参加を決める。(21日に市議会・25日に音別町議会、釧路町・鶴居村・白糠町も参加を決める) 28 釧路市の「子どもインターンシップ」事業が初めて実施される。 29 音別町で「北のビーナスふる里まつり」が初めて開催される。 30 「ハコダテ屋帽子店」が71年の歴史に幕を降ろす。</p>	<p>18 小泉首相初の訪朝 30 小泉第2次改造内閣発足</p>
10	<p>1 釧路工業技術センターがオープンする。 1 コールセンター「三ツ輪ハローサービスセンター」が運用開始する。 1 市役所ユニオンが、33年間の分裂を克服して結成される。 2 台風21号により、釧路気象台観測史上1位の最大瞬間風速38.7m/sを記録し、屋根損壊、停電などの被害を受ける。 10 釧路地域6市町村合併協議会の第1回会議が開かれる。 12 初の欧州便となるイタリアへのチャーター便が発航する。 19 『北海文学』創刊50年記念の原田康子講演会が開かれる。</p>	<p>2 日本航空と日本エアシステム経営統合で日本航空システム設立 2 台風21号、苫小牧市付近に上陸(関東・東北・北海道を縦断し、死者4名、負傷者108人、家屋損壊2,437棟などの被害) 15 北朝鮮拉致事件の生存者5人が帰国 18 道民投票盛り込み道行政基本条例施行 20 釧路町長選で菅原澄町長3選</p>

平成14年(2002)

	<p>22 市部長が釧路町長選挙での公選法違反容疑で逮捕される。</p> <p>28 市助役が逮捕された部長への指示容疑で逮捕される。</p> <p>31 音別町第3次総合計画策定「まちづくり検討委員会」が発足する。</p>	
11	<p>3 綿貫健輔市長が辞職を表明する。</p> <p>4 市長と合併担当参事が公選法違反容疑で逮捕される。</p> <p>7 阿寒町商工会の第1回あかん未来塾「風と土の会」が開かれる。</p> <p>11 「北大通花街道実行委」が5千個のチューリップ球根を植える。</p> <p>11 合併協議会事務局が錦町駐車場に移転オープンする。</p> <p>17 阿寒町長選で中島守一前町議会議長が初当選する。</p>	8 国連安保理がイラク査察決議採択
12	<p>12 市議会が議員定数34人から32人への削減を決める。</p> <p>16 市長選で伊東良孝前道議が初当選する。</p> <p>25 阿寒町議会が議員定数16人から14人への削減を決める。</p>	

平成15年(2003)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>7 阿寒町内114店紹介の『阿寒食べる・買うガイド』を「まりも倶楽部」が作成する。</p> <p>13 全日本Jrスピードスケート釧路大会で、松岡源季(阿寒湖中・緑岡高卒)と山崎めぐみ(同中・星園高卒)が世界選手権出場を決める。</p> <p>14 武佐・緑陵中統合校の校名が公募により「青陵中」に決まる。</p> <p>14 釧路町長選挙介入事件で、市職員15人が懲戒処分を受ける。</p> <p>15 第4回「釧釧」合併協議会で、「6市町村」への発展的解消を決める。</p> <p>15 「麺遊会」の第1回「釧路ラーメン・スタンプラリー」がスタートする。</p> <p>16 弥生中・東中統合校の校名が公募により「幣舞中」に決まる。</p> <p>20 桂恋・白樺台小統合校の校名が公募により「東雲小」に決まる。</p> <p>23 群馬インターハイのアイスホッケーで釧路高が優勝、釧工業高が準優勝を遂げる。</p> <p>30 阿寒町の「オーストリッチ研究会」がダチョウ13羽を初出荷する。</p> <p>31 釧路市議会の自民党系議員の会派が2つに分かれる。</p>	<p>17 掘知事が3選不出馬表明</p> <p>20 国内6頭目のBSE感染牛、標茶町生産と判明</p> <p>27 厚岸町学校給食で11校659人が食中毒</p>
2	<p>6 平成12年阿寒国際スケートマラソン事業補助金の不適正処理が指摘される。</p> <p>6 環境省が釧路湿原自然再生事業に着手する。</p> <p>11 全国中学校アイスホッケー帯広大会で鳥取中が3連覇を遂げ、北中が準優勝する。</p> <p>19 音別町の大塚製菓釧路工場が一部生産ラインを休止する。</p> <p>21 世界Jrスピードスケート選手権釧路大会が開幕する。(～23日)</p> <p>22 市政施行80周年記念の「くしろ子ども市議会」が行われる。</p>	<p>3 厚岸町小中学校集団食中毒、給食パンのSRSVが原因と断定</p>
3	<p>2 音別女性団体連絡協議会が創立50周年記念「2003音別女性フェア」を開催する。</p> <p>13 市の保健師が高校で初の避妊法指導の「出前講座」を行う。</p> <p>14 音別町体験学習センター「こころみ」が初の「月面撮影会」を開く。</p> <p>18 市と愛康産業が武佐産廃処分場の環境保全協定を締結する。</p> <p>19 釧路町長選挙介入事件で綿貫前市長らに有罪判決が下る。</p> <p>20 音別町で合併協議会による住民説明会が開かれる。</p> <p>25 釧路市では初の合併協議会による住民説明会が開かれる。</p> <p>25 「阿寒・屈斜路・摩周カルデラ」が世界遺産候補に選ばれる。</p> <p>26 「釧路市・釧路町合併協議会」が正式に廃止される。</p> <p>29 阿寒町で合併協議会による住民説明会が開かれる。</p>	<p>7 第37回吉川英治文学賞、原田康子「海霧(うみぎり)」が受賞</p> <p>20 米英軍がイラク攻撃開始</p> <p>24 釧路町で合併協議会による住民説明会</p> <p>27 道知事選公示、立候補者9人の激戦</p>
4	<p>1 釧路市が「助役」の呼称を「副市長」と改める。</p> <p>2 阿寒湖温泉旅館組合が「レジオネラ菌安全宣言」を発表する。</p> <p>4 道議選の管内で、岡田篤・小松茂が無投票当選となる。</p> <p>10 合併協議会が、新市に関するアンケートを1万人へ送付する。</p> <p>12 阿寒町初の学童保育所「放課後児童クラブ」がオープンする。</p> <p>13 道議選の市部で、西田昭祐・小畑保則・戸田芳美・蝦名大也が当選する。</p> <p>14 音別町がホームページを開設する。</p> <p>17 道教大釧路校と市教委が「学生ボランティア」の協定書に調印する。</p>	<p>1 日本郵政公社が発足</p> <p>4 鶴居村で合併協議会による住民説明会</p> <p>13 道知事・道議選、高橋はるみ初当選</p> <p>27 標茶町長選、今西猛が初当選</p> <p>30 SARSの影響で台湾チャーター便、北海道への乗り入れを自粛</p>

平成15年(2003)

	<p>21 「麺遊会」が北海道遺産「北海道ラーメン」の担い手団体として認定され、釧路ラーメンが道内四大ラーメンの一つとなる。</p> <p>27 音別町議(定員12名)・阿寒町議(定員14名)選挙が施行される。</p>	
5	<p>3 市のTV広報「くしろ大好き探検隊」が毎土曜に放映を開始する。</p> <p>8 阿寒町が下水処理場への「不明水」調査委員会を設置する。</p> <p>13 コープさっぽろがくしろ市民生協を組織統合する。</p> <p>14 釧路第1学区公立高校適正配置懇話会が、北・星園・西高の3校を統合するなどの再編案を了承する。</p> <p>15 「音別町まちづくり検討委員会」が提言書を町長へ提出する。</p>	<p>1 厚岸町農協と太田農協が合併、「釧路太田農協」発足</p> <p>26 世界自然遺産候補に秘境「知床」</p>
6	<p>1 「釧路西地区に普通科高校を残す会」が署名活動を始める。</p> <p>7 「釧路ふるさとカルタ協会」設立総会が開かれる。</p> <p>11 「釧路観光ボランティアガイドの会」が活動を開始する。</p> <p>19 音別町に「釧路市との合併を考える町民の会」が発足する。</p> <p>21 太平洋炭鉱閉山1年の影響調査で、地域住民1,600人余が転居し、19社が廃業、市の減収約3億円などが判明する。</p> <p>22 音別町で「ウコウナウセラ」が開かれ、初のアイヌ語劇が披露される。</p> <p>23 「釧路市産業再生推進会議」が発足する。</p> <p>24 釧路第1学区公立高校適正配置懇話会が、地域住民の意見も盛り込んだ最終案を、道・市教委へ提出する。</p> <p>29 音別町で31年ぶりに「落まつり」が復活し、新たに「北のビーナス落まつり」として開催される。</p>	<p>4 屈斜路湖でカヌー転覆事故2人死亡</p> <p>6 有事関連法案成立</p> <p>10 道東自動車道、池田-本別・足寄間開通</p> <p>17 釧路町長、9月中合併是非判断先送り表明</p> <p>17 NHK「プロジェクトX」で「釧路湿原・カムイの鳥舞え」放映</p>
7	<p>2 「釧路西地区に普通科高校を残す会」が32,930名の署名簿を市教委へ提出する。</p> <p>12 SARSの影響で運休していた台湾チャーター便が再開する。</p> <p>25 コープさっぽろ貝塚店がオープンする。</p> <p>28 第5回合併協議会で、合併方式を新設合併とする事等を決定する。</p> <p>28 釧路市が「釧路駅周辺まちづくり検討委員会」を設置する。</p> <p>31 北大通KOM1階に「チャレンジショップ」7店がオープンする。</p>	<p>9 国立大学の独立法人化関係6法成立</p> <p>11 白糠町で土砂崩れ、民家4軒損壊、1名負傷し、25世帯が避難</p> <p>26 イラク復興支援特別措置法成立</p>
8	<p>9 全道優勝した音別ヤングスが香川県での「第25回全国スポーツ少年団軟式野球大会」に出場し、敢闘賞を受賞する。</p> <p>10 台風10号により、床上浸水が阿寒町2軒・音別町1軒などの被害を受け、白糠町では17世帯へ避難勧告を出す。</p> <p>17 釧路で初の中体連バレーボール全国大会が開かれる。(～20日)</p> <p>26 6市町村合併協議会小委員会が、合併後2年間全議員が残留できる「在任特例」採用を決める。</p> <p>27 「阿寒町花いっぱい運動推進委員会」が、道路功労者として北海道開発局長賞を受ける。</p> <p>29 「釧路・白糠次世代エネルギー特区」が国から認定される。</p>	<p>10 台風10号が襟裳岬付近に上陸(四国から道東まで列島縦断、死者17人、不明2人、負傷94人などの被害)</p> <p>25 第2次住民基本台帳ネットワークシステムが稼働開始</p> <p>29 鈴木宗男衆議、437日目に保釈</p>
9	<p>1 音別・白糠森林組合が合併し、「くしろ西森林組合」が発足する。</p> <p>3 合併協議会が先行調整項目137件の調整方針案を承認する。</p> <p>6 旧長崎屋釧路店に「アベニュー946」の1・2階部分がオープンする。</p>	<p>20 自民党総裁に小泉総理再選</p> <p>22 小泉改造内閣発足</p> <p>26 民主党と自由党が合併、新「民主党」誕生</p>

平成15年(2003)

<p>6 「洲崎町なつかし館『蔵』を再生させる会」が発足する。</p> <p>12 北海道教育大学釧路校が、教員養成課程として存続し、環境教育の充実化を図ると決定する。</p> <p>20 阿寒神社が創建100年の記念大祭を行う。</p> <p>23 新市建設計画「概要版」説明会が阿寒町を皮切りに開かれる。</p> <p>26 十勝沖地震で、釧路市と音別町は震度5強、釧路空港ビル天井崩落、家屋損壊、道路陥没、下水管破損などの被害が出る。</p> <p>30 幣舞中学校の校歌が公募の歌詞により完成する。</p>	<p>26 平成15年十勝沖地震(M8.0)発生、釧路町と厚岸町で震度6弱、死者1人、不明1人、負傷者849人</p>
<p>10 1 釧路市廃棄物減量等推進審議会が、ゴミ収集の有料化計画についての意見書を市長に提出する。</p> <p>8 十勝沖地震で一部不通になっていたJR根室線が全線復旧する。</p> <p>10 食品スーパーのマックスバリュが春採SCに開店する。</p> <p>20 緑ヶ岡高校が武佐中跡に移転し、校名を「武修館」に改め、中高一貫校となる計画が発表される。</p> <p>26 西港第4埠頭と国道38号線の交通アクセス円滑化の為、JR根室本線の星ヶ浦部分を高架にすることが正式に決まる。</p>	<p>10 衆議院解散、総選挙へ</p> <p>16 環境省が「知床」を世界自然遺産に推薦</p> <p>19 釧路町議選(定数18)実施</p>
<p>11 4 阿寒町が高校生以上全町民5,690人に合併アンケートを送付する。</p> <p>4 釧路市の合併アンケートで、71.8%が賛成と発表される。</p> <p>7 阿寒町が阿寒高校で合併説明会を行い、全校生徒が参加する。</p> <p>9 衆院選道7区で北村直人6選、仲野博子比例復活で初当選する。</p> <p>13 市議会議長に宮下健吉が選任される。</p> <p>15 「釧路湿原自然再生協議会」が設立される。</p> <p>15 幣舞中へ統合する弥生中で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。</p> <p>16 音別小学校が開校100周年記念式典と祝賀会を行う。</p> <p>18 青陵中学校の校歌が公募の歌詞により完成する。</p> <p>19 釧白工業団地でDME実証プラントの竣工式が行われる。</p> <p>21 末広の立体駐車場ビル「パステルパーク」がオープンする。</p> <p>25 釧路湿原大橋の開通式が行われる。</p> <p>26 阿寒町の合併アンケートで、賛成49.6%、反対33.6%となる。</p> <p>28 鳥取西と昭和地区を結ぶはしどい橋が開通する。</p>	<p>1 北海道暴走族根絶条例施行</p> <p>9 衆院選で民主177、自民237で単独過半数割れながら、与党3党で安定多数</p> <p>19 第2次小泉内閣発足</p> <p>21 釧路町の合併アンケートで反対約68%</p> <p>25 釧路町長、合併協議離脱を表明</p> <p>30 根室管内4町の任意合併協議解散、中標津と羅白の2町で法定合併協</p>
<p>12 12 伊東市長が、釧路市の合併を正式に表明する。</p> <p>15 高野音別町長が合併を前提とした協議の推進を強調する。</p> <p>15 鉄北地区と新富士、鳥取南などを結ぶ鉄北大橋が開通する。</p> <p>15 「道立総合体育館を誘致する会」が解散し、「釧路地域総合体育館建設促進協議会」が設立される。</p> <p>16 中島阿寒町長が合併推進を表明する。</p> <p>25 十勝沖地震で被害を受けた直別駅舎が改築され、供用開始する。</p> <p>26 釧路地域6市町村合併協議会が、翌年3月で解散し、それ迄に新たな合併の枠組みを構築してゆく事を決める。</p> <p>29 阿寒観光ホテルが営業を停止し、施設を鶴雅に譲渡する。</p>	<p>11 鶴居村長、合併の是非判断を翌年3月まで延期を表明</p> <p>15 白糠町長、合併協議継続の意向を表明</p> <p>26 空自先遣隊がイラクへ出発</p> <p>26 米BSE問題で厚労省が米国産牛禁輸決定</p>

平成16年(2004)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>15 阿寒湖畔で13～15日の降雪量88cm、積雪量は184cmに達し、2日間「陸の孤島」になる。</p> <p>18 日本製紙クレインズがアジアリーグの初代王者になる。</p> <p>22 阿寒湖畔で統計上第1位の最深積雪量218cmを記録する。</p> <p>27 「くしろ西森林組合」が道から中核森林組合の認定を受ける。</p> <p>30 市が鶴丘スキー場の今シーズン限りで営業休止の方針を決める。</p>	<p>15 暴風雪により北網・釧根の内陸部で道路の大部分が長期間通行止め</p> <p>21 再度の暴風雪、美幌峠が8日ぶりの開通後5時間で通行止めなどの被害</p>
2	<p>2 雇用関係4機関が移転・開所する「釧路雇用労働センター」が、MOOの2階で業務を始める。</p> <p>19 市動物園が鳥インフルエンザ対策で鳥類の檻に仕切り壁を作る。</p> <p>23 音別町初の認知症高齢者グループホーム「そら」が開所される。</p> <p>24 音別の「キナシベツ湿原を愛する会」と首都圏の大学生らが、アオサギの営巣地を調査する。</p> <p>28 南大通活性化を目指す「釧路の『かお』づくりプロジェクト」の第1回会合が開かれる。</p> <p>29 音別町で第1回「北のビーナス冬まつり」が開催される。</p>	<p>3 陸自本隊、千歳基地からイラクへ出発</p> <p>10 道警裏金疑惑で原田元釧本部長が証言</p> <p>23 暴風雪の厚岸で同僚の車救出作業中にトレーラー突入、太田中教員が2人死亡、5人重軽傷</p> <p>27 京都府丹波町の養鶏場で2万8千羽の鶏が鳥インフルエンザで死亡と発表</p>
3	<p>1 釧路市健康推進課がMOO3階に移転・開所する。</p> <p>4 日栄総合技術専門学校が音別では最後の卒業式を行う。</p> <p>10 阿寒町が温泉排水の下水道使用料徴収率倍増を決める。</p> <p>16 市鶴丘スキー場が最後の営業を終え、33年の歴史に幕を降ろす。</p> <p>17 ゴミ有料化案が市議会で継続審議となり、関連予算が凍結される。</p> <p>19 青陵中へ統合する武佐中で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。</p> <p>24 統合する市内4中学校で「校旗返還式」が行われる。</p> <p>31 「釧路地域6市町村合併協議会」が正式に廃止される。</p>	<p>7 11頭目のBSE感染牛、標茶町で確認</p> <p>16 政府、鳥インフルエンザ緊急対策決定</p>
4	<p>1 阿寒湖畔オンネチセでユーカラ劇の長期公演が始まる。(～5/29)</p> <p>1 音別町が可燃ごみの釧路市最終処分場搬入を始める。</p> <p>6 統合新設の幣舞中と青陵中で開校式が行われる。</p> <p>14 水森かおりの新曲「釧路湿原」が発売され、釧路でサイン会を開く。</p> <p>20 十勝沖地震で崩落した釧路空港ビル天井の改修が終了する。</p> <p>27 十勝沖地震で倒壊した厳島神社の鳥居の復旧工事が完了し、落成式が行われる。</p>	<p>1 平成の大合併で11市が誕生</p> <p>1 商品価格が税込みの総額表示に</p> <p>8 イラクで日本人3人が拉致され、犯人が自衛隊撤退を要求</p> <p>11 鶴居村議会が合併協参加を可決</p> <p>11 鶴居村長選、錠者村長が不出馬表明</p> <p>20 鶴居村長に日野浦正志初当選</p>
5	<p>2 「洲崎町なつかし館『蔵』」が毎日曜のみ開館で仮オープンする。</p> <p>8 「市民活動センター」の運営協議会「わっと」が設立される。</p> <p>10 音別町議会が釧路市を含めた広域合併参加を決める。</p> <p>12 根釧西部森林管理署と阿寒町が「阿寒湖のマリモと水源林の保全に関する森林整備協定」を締結する。</p> <p>13 釧路市が、国の雇用機会増大促進の支援地域に選ばれる。</p> <p>30 釧路ステーションデパートが閉店し、43年間の歴史に幕を閉じる。</p> <p>31 釧路市・白糠町・阿寒町・音別町が合併協議会設立を決める。</p>	<p>11 白糠町長に棚野孝夫3選</p> <p>20 鶴居村長、合併協への当初不参加を表明</p> <p>25 霧多布湿原トラストが道内初の国税庁認定NPO法人に</p>
6	<p>1 「釧路子ども家庭支援センター」が旭児童センター2階に開設される。</p> <p>2 MOO運営の釧路河畔開発公社が特定調停申し立てを決める。</p> <p>4 道教大が釧路市、厚岸・標茶・釧路町と「相互協力協定」を結ぶ。</p> <p>18 MOO2階に屋台村「港の屋台」がオープンする。</p>	<p>7 駐沖繩米海兵隊の一部が矢白別へ移転を打診と判明</p> <p>13 標津町住民投票、7割が「合併しない」</p> <p>25 参院選で初の期日前投票スタート</p>

平成16年(2004)

	<p>22 白糠・音別両町議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>23 阿寒町議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>25 市議会が継続審議になっていたゴミ有料化案を可決する。</p> <p>25 市議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>29 釧路市が「バーコード入札」を開始する。</p> <p>30 釧路地域4市町村合併協議会の設置調印式が行われる。</p>	
7	<p>1 ジョブカフェ北海道・釧路サテライトがMOO2階にオープンする。</p> <p>1 釧路西郵便局が市の事務委託業務を開始する。</p> <p>3 「洲崎町なつかし館『蔵』」が正式にオープンし、イベントを行う。</p> <p>6 公立大学が台湾の明道管理学院と協力協定を締結する。</p> <p>7 第1回釧路地域4市町村合併協議会が開かれる。</p> <p>12 市がゴミ収集有料化の住民説明会を始める。(9月末まで40ヶ所)</p> <p>15 「音別・昔のくらし」をテーマに模型で再現した四部作が完成し、ふれあい図書館に展示される。</p> <p>16 「アメリカ伊能大図里帰りフロア展in釧路」が開催される。(～19日)</p> <p>24 釧路港が「みなとまちづくりモデル港」に選ばれる。</p> <p>26 音別町の日栄総合技術専門学校が閉校式を行う。</p> <p>29 4市町の社会福祉協議会が合併協議会を設立する。</p>	<p>7 鶴居村民アンケート、6割が「自立」</p> <p>11 参院選で15年ぶりに野党が「改選第1党」</p> <p>16 鶴居村が「自立」を正式に表明</p> <p>16 塘路湖で道内初のコイヘルベス発生</p> <p>21 コイヘルベス、達古武・シラルト湖にも</p> <p>21 水産庁、ミンククジラの調査捕鯨を毎年実施に決定</p> <p>28 厚岸・浜中・標茶・弟子屈町の釧路東部地区合併等研究会解散</p>
8	<p>1 「市民憲章制定40周年の集い」が開催される。</p> <p>3 「世界子どもサミット釧路大会」が開催される。(～7日)</p> <p>4 第2回4市町村合併協議会で、平成17年10月11日新設合併、新庁舎は現市役所などを決定する。</p> <p>6 「くしろ港まつり」と「霧フェスティバル」が初めて同時開催される。</p> <p>13 阿寒町商工会が開発した「エゾシカバーガー」の販売が始まる。</p> <p>15 第30回くしろ千灯祭が行なわれ、この回をもって幕を閉じる。</p> <p>29 「くしろ市民活動センター」がパステルビルにオープンする。</p> <p>30 丸井今井の大通館(旧丸三鶴屋本館)が閉館する。</p> <p>31 台風16号の暴風雨で釧路市内の道路各所が冠水する。</p>	<p>23 斜里町が「知床町」への改称断念、羅臼町・中標津町も「知床市」不採用を申し入れ</p> <p>31 台風16号、九州・中国地方を縦断後、函館付近に再上陸、本道横断後網走沖へ、死者14人・行方不明3人・負傷者260人・住家損壊10,177棟</p>
9	<p>1 東雲小学校の公募歌詞による校歌が完成する。</p> <p>1 湖陵高生物部が春採湖で絶滅危惧種ニホンザリガニを確認する。</p> <p>3 新旧7イベントを結集した「第1回釧路大漁どんぱく」が開幕し、3日間でのべ20万人以上が参加する。(～5日)</p> <p>8 台風18号により、釧路で観測史上第2位の最大瞬間風速37.7m/sを記録し、停電やタン屋根がはがれるなどの被害が出る。</p> <p>13 釧路沿岸ミンククジラ調査捕鯨でこの年初の水揚げがある。</p> <p>20 音別町社協と音別憩の里が、初の合同運動会「ふれあい広場」を開催する。</p>	<p>2 小泉首相、北方領土初の洋上視察</p> <p>8 台風18号、九州横断後列島に沿って日本海北上、広島で60.2m/s、札幌で50.2m/sなど猛烈な風、死者43人、行方不明3人、負傷者1,399人、住家損壊64,993棟</p> <p>14 中標津・羅臼町合併協、新市名「東知床市」に決定</p>
10	<p>8 音別町の「住民投票を求める会」が署名活動を始める。</p> <p>10 桂恋小で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。</p> <p>17 釧路市が「鯨に親しむ市民の集い」を開催する。</p> <p>25 阿寒観光協会と阿寒湖温泉まちづくり協議会が合併する「阿寒観光協会まちづくり推進機構」が設立され、NPO法人を申請する。</p> <p>28 新潟県中越地震に対する支援で市職員を派遣する。</p> <p>31 太平洋炭鉱労働組合が解散し、59年の歴史に幕を閉じる。</p>	<p>1 平成の大合併、この日10市13町誕生</p> <p>13 白糠町庶路ダム完成式</p> <p>18 中標津町議会、合併住民投票条例案可決</p> <p>22 北海道遺産第2次分27件選定</p> <p>23 新潟県中越地震発生、M6.8、死者65人、負傷者4,805人</p>

平成16年(2004)

11	<p>2 釧路沖の調査捕鯨が、ミンククジラ59頭を捕獲して終了する。</p> <p>4 市選管初の女性委員長として岩渕雅子が選出される。</p> <p>10 音別町の「住民投票を求める会」が1,014人分の署名を提出する。</p> <p>10 太平洋炭硯「懐かしの映像展」が開催される。(～14日)</p> <p>11 新「道道釧路空港線」が開通する。</p> <p>12 第5回4市町合併協議会で、新市名を「釧路市」に決定する。</p> <p>14 阿寒町で国交省の「ボランティアホリデイ」のモデル事業が始まる。</p> <p>22 音別町が9会場12回の合併に向けた住民説明会を始める。</p> <p>29 釧路沖の地震で市は震度5弱、負傷7人、停電などの被害が出る。</p>	<p>1 新紙幣流通開始</p> <p>5 鈴木宗男元衆議に実刑判決</p> <p>10 摩周湖上空にオーロラが出現</p> <p>24 白糠町の「住民投票を求める会」、署名活動を開始</p> <p>28 中標津町の住民投票、「合併反対」60.8%</p> <p>29 釧路沖でM7.1の地震発生、釧路町、別海町で震度5強、負傷者52人</p>
12	<p>1 コールマインなど出資の「釧路オートリサイクル」が釧白工業団地で工場起動式を行う。</p> <p>10 音別町議会が住民投票条例案を否決する。</p> <p>13 阿寒町「4市町合併を考える会」が住民投票条例の制定を申し入れる。</p> <p>14 第5回4市町合併協議会で、市議報酬など調整項目の協議を終え、合併協定案が承認される。</p> <p>17 阿寒町長が住民投票実施の考えはないと表明する。</p> <p>20 阿寒町が合併へ向けた5会場の住民説明会を始める。</p> <p>31 NHK紅白歌合戦で、水森かおりが「釧路湿原」を熱唱する。</p>	<p>1 道内合併第1号新「函館市」誕生</p> <p>6 中標津町と羅臼町、合併断念</p> <p>6 釧路沖でM6.9の地震発生、厚岸町で震度5強、負傷者12人</p> <p>8 白糠町議会、合併住民投票条例案可決</p>

平成17年(2005)

月	釧路市 関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>5 明治24年創業の薬局「イワホリ」が自己破産を申請する。</p> <p>6 音別町「住民投票を求める会」が高野武町長の解職を請求する。</p> <p>7 釧路空港駐車場の拡張工事が終わる。(駐車台数208台増)</p> <p>8 阿寒町「4市町合併を考える会」が、住民投票条例制定を請求する署名活動を始める。</p> <p>8 音別町長解職請求に対し、「高野武町長を支える会」が開かれる。</p> <p>18 釧路市青少年科学館が閉館する。</p> <p>26 阿寒町「4市町合併を考える会」が、453名分の署名を提出する。</p> <p>31 釧路市・阿寒町・音別町が合併協議会を設置する。</p>	<p>16 白糠町の住民投票、合併反対55.7%</p> <p>18 釧路沖震源の地震(M6.4)、厚岸で震度5強</p>
2	<p>4 「末広はしご酒大会・冬の陣」が初めて開催される。</p> <p>5 第1回3市町合併協議会で、4市町協定の修正案が了承される。</p> <p>5 「くしろ橋南西ゆめこい倶楽部」が設立される。</p> <p>6 阿寒町の6会場で計7回の「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>7 音別町「住民投票を求める会」が、町長のリコールを断念する。</p> <p>9 釧路市の4会場で「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>11 音別町の2会場で計3回の「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>12 釧路臨港鉄道の開業80周年記念列車が運行される。</p> <p>13 全国中学校アイスホッケー東京大会で、北中が11年ぶり6度目の優勝、統合新設校の青陵中が準優勝する。</p> <p>16 3市町の社会福祉協議会が合併協議会を設立する。</p> <p>22 MOO釧路の特定調停案が金融機関6行と合意に至る。</p> <p>25 第2回合併協議会が開催され、新市建設計画を承認する。</p> <p>28 阿寒町議会が住民投票条例案を否決する。</p>	<p>4 国内初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病による死者を確認</p> <p>11 阿寒町の姉妹都市阿蘇町、合併して「阿蘇市」となる</p> <p>16 地球温暖化防止に向けた京都議定書発効</p>
3	<p>1 釧路保健所が「禁煙・分煙施設認証制度」を始める。</p> <p>3 釧路市長・阿寒町長・音別町長が合併協定書へ調印する。</p> <p>13 阿寒アイヌ工芸共同組合が長編ユーカラ劇を札幌で公演する。</p> <p>15 釧路市・阿寒町・音別町各議会で合併関連議案を可決する。</p> <p>24 桂恋小と白樺台小の各々で「校旗返還式」が行われる。</p> <p>31 中江学園釧路調理師専修学校が閉校する。</p> <p>31 道立釧路病院で最後の外来診療を終え、閉院式が行われる。</p>	<p>18 国泰寺の『日鑑記』、国の重文指定</p> <p>19 道横断自動車道、本別-釧路間着工式</p> <p>25 白糠・音別・阿寒・鶴居4市町村の商工会、「釧路西部商工会広域連携協議会」設立</p>
4	<p>1 釧路市のゴミ処理有料化がスタートする。</p> <p>1 雌阿寒岳火山防災広域通信網が稼働を始める。</p> <p>1 市教委が市立学校敷地内を全面禁煙とする。</p> <p>5 新市議会運営調整会議の初会合が開かれる。</p> <p>6 桂恋小・白樺台小の統合校、東雲小学校で開校式が行われる。</p> <p>10 釧根初の中高一貫教育校となる武修館中学校が開校式を行う。</p> <p>17 市内循環バス「くるりん」の運行が終了する。</p> <p>20 3市町の社会福祉協議会が合併協定書へ調印する。</p> <p>22 釧路地域の「産官学」連携事業として、「釧路ITクラスター推進協会」が設立総会を開く。</p> <p>25 釧路管内西部5農協合併推進委員会で、阿寒農協を除く4農協が合併する方針を決める。</p>	<p>1 ベイオフ全面解禁</p> <p>1 個人情報保護法全面施行</p> <p>6 厚岸産カキから貝毒発見、出荷停止</p> <p>26 厚岸産カキの出荷再開</p>

平成17年(2005)

	29 MOOで「ダチョウバーガー」「エゾシカバーガー」試験販売を始める。	
5	<p>4 釧路市動物園が累計入場者500万人を達成する。</p> <p>9 釧路市が城山小空き教室に「太平洋炭鉱資料室」を開設する。</p> <p>12 MOO再生プランを策定する市民委員会が発足する。</p> <p>16 市長らが札幌の丸井今井本社を訪ね、アーケード建設などの支援策を示し、釧路店存続を要請する。</p> <p>19 クジラのまちづくりに取り組む「釧路くじら協議会」が発足する。</p> <p>23 第3回合併協議会で、現市章の使用などを決める。</p> <p>28 DV被害者支援組織「駆け込みシェルター釧路」が設立される。</p>	<p>9 野付半島と風蓮湖のラムサール条約登録確認書へ根室市・別海町・標津町が調印</p> <p>10 道内生息のタンチョウ、初の千羽超え(1,003羽確認)</p>
6	<p>2 「釧路の百貨店を守る会」が結成され、丸井今井の存続を求める。</p> <p>3 市民有志による「くしろ鯨ブランド研究会」が発足する。</p> <p>12 市が「釧路の捕鯨史を語る会」を開催する。</p> <p>15 幣舞橋の街路灯がオレンジ色のナトリウム灯に交換される。</p> <p>17 白糠町が10月以降、消防事務を委託する事で釧路市と合意する。</p> <p>19 音別町が「分村90周年記念式典」を開催する。</p> <p>20 市長が韓国でのIWC総会に政府代表団の一員として出席する。</p> <p>24 丸井今井が2006年8月の釧路店閉店の方針を表明する。</p>	2 別海町で根室管内初のBSE牛確認
7	<p>4 北西太平洋調査捕鯨船団の母船が釧路に初入港する。</p> <p>9 釧路こども遊学館がオープンする。</p> <p>9 初の野外ジャズフェス「ワンダーカーニバル」が西港で開かれる。</p> <p>13 阿寒湖畔で将棋の王位戦(羽生vs佐藤)対局が行われる。</p> <p>14 阿寒湖畔で火山噴火防災総合訓練が初めて行われる。</p> <p>16 豊漁・安値のため、サンマ流し網漁が初の休漁措置をとる。</p> <p>19 音別町長選と町議補選(欠員1)が告示され、高野町長が無投票で3選される。補選は24日に投票となる。</p> <p>29 「伊能図展」と国土地理院長の講演会が開かれる。</p> <p>30 釧路市民球場で、北海道日本ハムファイターズの公式戦が初めて行われる(対オリックスブルーブス)。</p>	<p>1 道議会が道内15地域の合併を可決</p> <p>8 道知事が3市町合併を決定</p> <p>14 知床、「世界自然遺産」に登録決定</p> <p>29 「山本多助エカシ展」、岡山市を皮切りに道内外4都市で開催</p>
8	<p>1 阿寒湖畔で無料循環バスが10月16日まで運行される。</p> <p>6 港まつりのイベントで、第1回釧路港舟漕ぎ大会が開かれる。</p> <p>19 官報に新「釧路市」の設置が告示される。</p> <p>26 コールマインが修学旅行の高校生を初めて入坑させる。</p> <p>26 阿寒「ほろろん祭り」に釧路・音別からも無料送迎バスを運行する。</p> <p>31 阿寒アイヌ民族文化保存会が愛知万博で古式舞踏を公演する。</p>	<p>3 釧路保健所のアスベスト立入り調査、管内14ヶ所中10ヶ所で飛散対策不十分</p> <p>8 郵政民営化法案参院で否決、衆院解散</p> <p>29 さんま漁業漁獲協定管理委員会、豊漁・安値のため48時間休漁決定</p>
9	<p>2 最終会議となる第4回合併協議会が開かれ、新市の市長職務執行者を中島阿寒町長に決定する。</p> <p>3 水森かおり「釧路湿原」歌碑がMOO横に設置される。</p> <p>3 橋南西ゆめこい倶楽部の「パラソルショップ」が初めて開かれる。</p> <p>7 台風14号により音別で床上浸水、阿寒で崖崩れの被害が出る。</p> <p>11 衆議選道7区で民主党前職仲野博子が選挙区では初当選、鈴木宗男元衆議院議員が道比例で返り咲く。</p> <p>15 音別中学校で町史を学ぶ合併記念公開講座が開かれる。</p> <p>17 「鯨と食文化を語る市民の夕べ」が開催される。</p>	<p>7 台風14号、瀬棚町に再上陸、本道北部を横断(九州上陸、列島に沿い日本海北上、死者26人、行方不明3人)</p> <p>11 第44回衆議院議員選挙、自民党圧勝</p> <p>27 根室のサンマ漁船がイスラエル貨物船に衝突され、乗組員7人が死亡</p> <p>30 釧路西部消防組合が解散式</p>

平成17年(2005)

	<p>27 音別町が新市でのゴミ有料化説明会を始める。(3日まで、8ヶ所)</p> <p>27 阿寒湖がラムサール条約登録を申請する。</p> <p>28 MOO再生市民委員会が市長へ提言書を提出する。</p>	
10	<p>1 「釧路ラーメンフェスティバル ら・フェスタ2005」が開催される。</p> <p>3 連合釧路が伊東市長と政策協定を結び市長選で推薦を決定する。</p> <p>5 野口雨情の歌碑が釧路信金本店前に建立される。</p> <p>6 「音別町に感謝する集い」が町民文化会館で開かれる。</p> <p>7 阿寒町公民館で「感謝する集い」が開かれる。</p> <p>11 釧路市・阿寒町・音別町が合併し、新「釧路市」が発足する。</p>	1 第18回国勢調査実施

Ⅱ 国勢調査における釧路市の人口・世帯数等の推移

(単位：人、世帯、%)

(釧路市ホームページより転記)

調査年	人 口				世 帯			1世帯 当たり 人 員
	総 数	対前回比較		世帯数	対前回比較			
		増減数	増減率		増減数	増減率		
第1回	大正9年	49,124	-	-	9,972	-	-	4.93
第2回	大正14年	57,665	8,541	17.39	11,505	1,533	15.37	5.01
第3回	昭和5年	69,478	11,813	20.49	13,015	1,510	13.12	5.34
第4回	昭和10年	74,681	5,203	7.49	13,591	576	4.43	5.49
第5回	昭和15年	83,179	8,498	11.38	14,848	1,257	9.25	5.60
第6回	昭和22年	83,820	641	0.77	16,517	1,669	11.24	5.07
第7回	昭和25年	120,803	36,983	44.12	23,198	6,681	40.45	5.21
第8回	昭和30年	150,022	29,219	24.19	29,383	6,185	26.66	5.11
第9回	昭和35年	181,528	31,506	21.00	40,103	10,720	36.48	4.53
第10回	昭和40年	202,649	21,121	11.64	51,410	11,307	28.19	3.94
第11回	昭和45年	204,793	2,144	1.06	58,060	6,650	12.94	3.53
第12回	昭和50年	219,180	14,387	7.03	67,125	9,065	15.61	3.27
第13回	昭和55年	227,234	8,054	3.67	74,662	7,537	11.23	3.04
第14回	昭和60年	226,097	△ 1,137	△ 0.50	76,477	1,815	2.43	2.96
第15回	平成2年	216,423	△ 9,674	△ 4.28	78,260	1,783	2.33	2.77
第16回	平成7年	209,680	△ 6,743	△ 3.12	81,634	3,374	4.31	2.57
第17回	平成12年	201,566	△ 8,114	△ 3.87	83,845	2,211	2.71	2.40
第18回	平成17年	190,478	△ 11,088	△ 5.50	82,079	△ 1,766	△ 2.11	2.32
第19回	平成22年	181,169	△ 9,309	△ 4.89	81,015	△ 1,064	△ 1.30	2.24
第20回	平成27年	174,742	△ 6,427	△ 3.55	82,078	1,063	1.31	2.13
第21回	令和2年	165,077	△ 9,665	△ 5.53	80,349	△ 1,729	△ 2.11	2.05

* 第6回の昭和22年は臨時調査

* 調査結果には、合併前の旧釧路市、旧阿寒町、旧音別町の数値を含む

図1 釧路市の人口及び人口増減率の推移

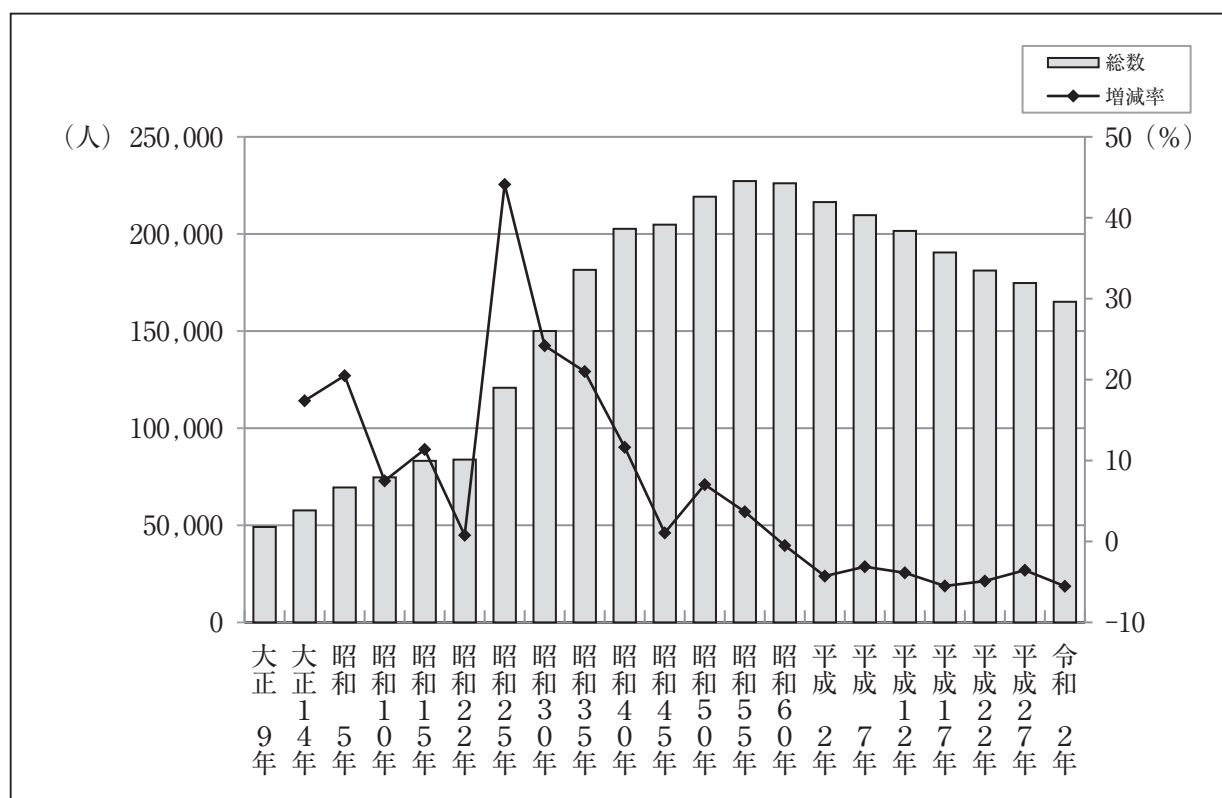
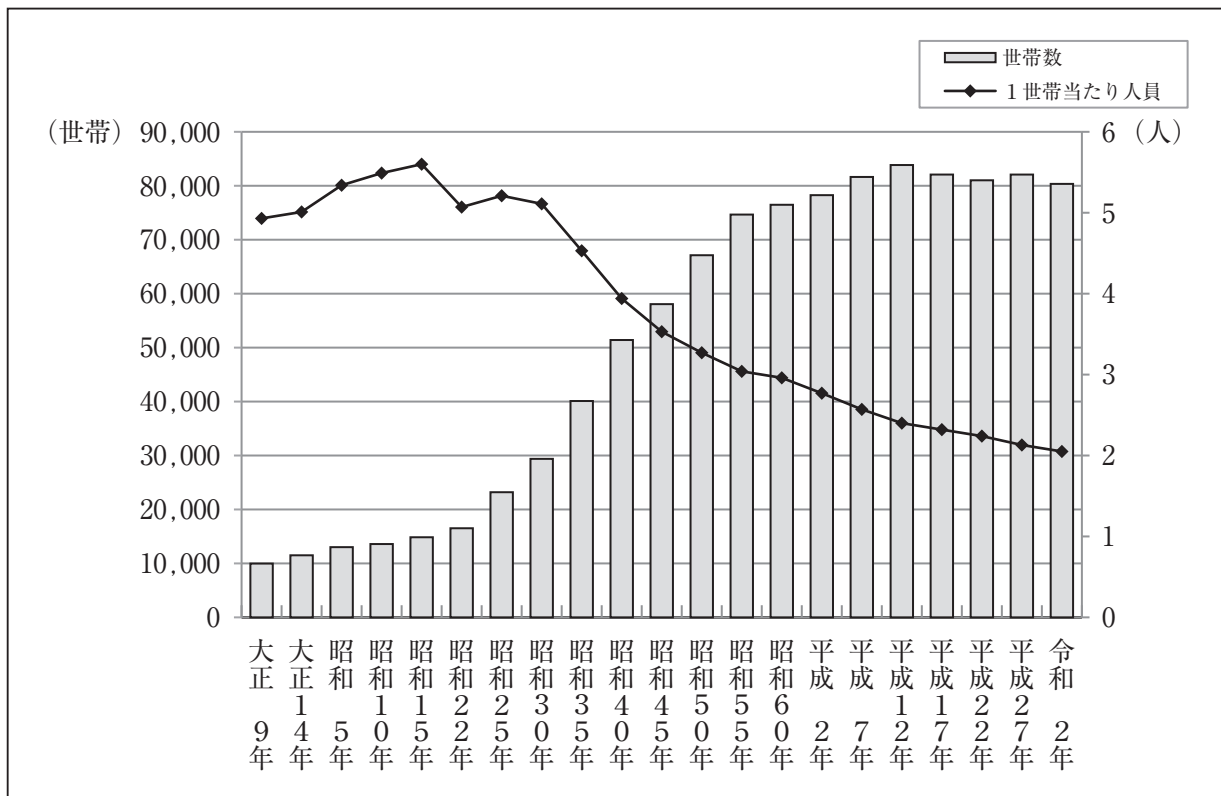


図2 釧路市の世帯数及び1世帯当たり人員の推移



Ⅲ 釧路市の教育機関

1 幼稚園等

市立幼稚園 2園 私立幼稚園 12園 認定こども園 27園 (令和3年度 教育要覧より転記)

幼稚園名	郵便番号・所在地	園長名	電話番号	定員
釧路市立阿寒幼稚園	〒085-0214 阿寒町富士見2-10-1	山崎綾子	66-3152	140
釧路市立マリモ幼稚園	〒085-0467 阿寒町阿寒湖温泉5-5-7	北村美和	67-2507	140
公立計2園				280
第二豊川幼稚園	〒085-0053 豊川町8-19	堀内小夜子	23-6858	130
釧路豊川幼稚園	〒085-0057 愛国西1-18-3	堀内小夜子	37-1732	150
釧路聖母幼稚園	〒085-0047 新川町16-19	山本綾子	25-0697	75
グリー幼稚園	〒085-0044 川端町3-1	笹野貞子	23-1860	80
湖畔幼稚園	〒085-0806 武佐2-35-5	青砥好夫	46-0691	130
愛国フレンド幼稚園	〒085-0061 芦野5-6-5	杉本いずみ	36-4555	200
貝塚幼稚園	〒085-0816 貝塚2-19-3	川嶋厚子	41-3949	80
昭和スポーツ幼稚園	〒084-0908 北園41-4158	若狭良子	51-9493	170
わかばフレンド幼稚園	〒084-0910 昭和中央2-7-13	阿部みつゑ	51-9478	255
みはらフレンド幼稚園	〒085-0065 美原4-5-1	澤田貞幸	36-2694	160
望洋幼稚園	〒085-0811 興津2-21-3	山辺文彰	91-5193	70
仏教釧路幼稚園	〒085-0832 富士見2-2-5	牧野節子	41-5296	70
私立計12園				1,570
釧路市立音別認定こども園	〒088-0116 音別町中園2-165	堀井典代	(01547)6-2163	18
公立認定こども園計1園				18
認定こども園よしの	〒084-0916 大楽毛西2-25-3	香木君江	57-5533	25
釧路あさひ認定こども園	〒085-0011 旭町12-2	酒井恵	25-2301	10
釧路風の子認定こども園	〒084-0905 鳥取南7-2-9	林歩	65-5955	10
釧路おたのしけ認定こども園	〒084-0917 大楽毛4-12-6	波平真弓	57-3997	10
美原認定こども園	〒085-0065 美原4-5-16	鴨田篤子	36-2440	7
ことぶき認定こども園	〒085-0062 寿1-4-4	杉本真奈美	22-5359	5
桂恋認定こども園	〒085-0802 桂恋167	長谷川香代	91-2935	3
双葉認定こども園	〒085-0002 新釧路町3-14	小熊洋美	24-8888	10
かしわ認定こども園	〒085-0812 紫雲台2-30	菅井明美	41-2581	9
あいこう認定こども園	〒085-0057 愛国西1-24-10	富田めぐみ	36-3142	10
釧路頌栄保育園	〒085-0834 弥生2-10-28	鳴海範子	41-1805	10
釧路はるとり保育園	〒085-0806 武佐1-3-5	本間弘美	46-1685	6
釧路共栄保育園	〒085-0036 若竹町4-7	真下浩二	22-4530	10
釧路わかくさ保育園	〒085-0806 武佐4-26-2	菊地広美	46-5674	6
釧路さかえ保育園	〒085-0017 幸町11-1-1	山本久美	65-8008	10
釧路認定こども園	〒085-0058 愛国東2-1-11	松田陽央子	36-7028	3
釧路カトリック幼稚園	〒085-0018 黒金町12-10	井上美和子	23-3993	45
釧路白樺幼稚園	〒085-0804 白樺台3-5-37	横田三香	91-6805	15
釧路桜幼稚園	〒085-0805 桜ヶ岡5-1-24	横田三香	91-6441	65
釧路ひばり幼稚園	〒085-0814 緑ヶ岡5-20-15	小原雅恵	46-4280	35
かすみ幼稚園	〒085-0034 白金町24-6	大嶋春香	23-4590	70
釧路あおば幼稚園	〒084-0923 鶴野東1-8-1	根守君代	53-3810	135
美原つくし幼稚園	〒085-0065 美原1-50-8	森川浩	37-0738	85
ひぶな幼稚園	〒085-0824 柏木11-1	鈴木一宏	41-7418	135
釧路短期大学附属幼稚園	〒085-0814 緑ヶ岡1-10-42	森泉	43-1773	63
釧路ひまわり幼稚園	〒084-0906 鳥取大通2-4	小関互	51-7766	160
私立認定こども園計26園				952

認定こども園の定員は教育部分のみ記載

2 小学校

(令和3年度 教育要覧より転記)

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	備考
城山	085-0826	城山1丁目14番35号	41-1461	大正9.6.22	
湖畔	085-0806	武佐2丁目27番16号	46-1151	大正7.10.7	
桜が丘	085-0805	桜ヶ岡2丁目4番22号	91-6221	昭和24.11.1	
鳥取	084-0907	鳥取北3丁目13番24号	51-3401	明治20.5.13	
共栄	085-0006	双葉町4番17号	23-1695	昭和3.9.26	
朝陽	085-0805	桜ヶ岡5丁目3番52号	91-6504	昭和34.1.20	
光陽	085-0051	光陽町15番17号	23-8461	昭和34.10.26	
清明	085-0814	緑ヶ岡4丁目8番7号	41-8196	昭和36.4.1	
新陽	084-0904	新富士町4丁目6番8号	51-5211	昭和37.7.31	
大楽毛	084-0917	大楽毛4丁目10番11号	57-8014	大正9.4.1	
山花	084-0928	山花14線132番地	56-2111	明治33.5.1	
愛国	085-0057	愛国西1丁目25番3号	36-5680	昭和46.4.1	
鳥取西	084-0907	鳥取北7丁目5番5号	51-0477	昭和49.4.1	
武佐	085-0806	武佐4丁目3番42号	46-1918	昭和53.4.1	
美原	085-0065	美原4丁目2番38号	36-2155	昭和54.4.1	
昭和	084-0910	昭和中央3丁目12番2号	52-1216	昭和54.4.1	
興津	085-0811	興津3丁目10番13号	91-5302	昭和55.4.1	
鶴野	084-0924	鶴野58番5157	51-3371	昭和56.4.1	
芦野	085-0061	芦野1丁目13番1号	37-2151	平成1.4.1	
東雲	085-0804	白樺台3丁目19番24号	91-6808	平成17.4.1	
中央	085-0026	寿1丁目2番16号	23-3396	平成19.4.1	
青葉	085-0047	新川町3番7号	23-2546	平成19.4.1	
釧路	085-0835	浦見2丁目2番38号	41-4231	平成20.4.1	
阿寒	085-0214	阿寒町富士見1丁目17番1号	66-2186	明治34.4.1	
阿寒湖	085-0467	阿寒町阿寒湖温泉6丁目4番1号	67-2529	令和3.4.1	
音別	088-0116	音別町中園2丁目1番地	01547-6-2419	明治34.4.20	

※阿寒湖義務教育学校の前期課程含む(学校名「阿寒湖」)

3 閉校・統合された市内小学校一覧(平成年代以降)

学 校 名	所 在 地	開校年月日	閉校年月日	備 考
(音 別 地 区)				
二俣	音別原野基線151-2	明治39.4.2	平成9.3.23	音別小へ統合
(阿 寒 地 区)				
下徹別	阿寒25線37	大正14.9	平成5.3.31	阿寒小へ統合
布伏内	舌辛原野22線北51-1	明治43.4.1	平成20.3.31	阿寒小へ統合
仁々志別	仁々志別32線89	大正13.9.6	平成28.3.31	阿寒小へ統合
中徹別	徹別原野34線139-1	明治43.4.3	平成28.3.31	阿寒小へ統合
阿寒湖	阿寒湖温泉5-6-1	明治45.6.1	令和3.3.31	阿寒中と統合義務教育学校へ
(釧 路 地 区)				
白樺台	白樺台3-19-24	昭和41.4.6	平成17.3.31	東雲小へ統合
桂恋	桂恋172	明治29.6.27	平成17.3.31	東雲小へ統合
寿	寿1-2-16	明治34.4.26	平成19.3.31	中央小へ統合
旭	川上町8-8	大正5.10.1	平成19.3.31	中央小へ統合
新川	新川町3-7	昭和29.10.1	平成19.3.31	青葉小へ統合
駒場	駒場町3-35	昭和38.3.31	平成19.3.31	青葉小へ統合
日進	浦見2-2-38	明治12.9.16	平成20.3.31	釧路小へ統合
東栄	弥生2-1-33	明治36.5.1	平成20.3.31	釧路小へ統合
柏木	柏木町11-15	昭和29.10.1	平成20.3.31	釧路小へ統合
附属釧路	桜ヶ岡7-12-48	昭和43.4.1	令和3.3.31	附属中と統合義務教育学校へ

4-1 中学校

(令和3年度 教育要覧より転記)

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	備考
北	085-0043	喜多町1番23号	23-3291	昭和24.9.1	
春採	085-0813	春採5丁目1番19号	41-5831	昭和26.4.1	
鳥取	084-0903	昭和町2丁目5番53号	51-2491	昭和22.5.26	
共栄	085-0038	花園町9番40号	23-1691	昭和22.5.1	
景雲	085-0056	東川町16番1号	23-6191	昭和36.4.6	
山花	084-0928	山花14線132番地	56-2111	昭和23.4.1	
大楽毛	084-0917	大楽毛1丁目10番1号	57-3113	昭和53.4.1	
桜が丘	085-0805	桜ヶ岡6丁目27番12号	92-0711	昭和54.4.1	
美原	085-0065	美原4丁目7番1号	37-1171	昭和57.4.1	
鳥取西	084-0907	鳥取北9丁目7番1号	53-0211	昭和58.4.1	
幣舞	085-0822	春湖台1番3号	41-3591	平成16.4.1	
青陵	085-0814	緑ヶ岡6丁目9番42号	46-1161	平成16.4.1	
阿寒	085-0216	阿寒町北新町2丁目4番1号	66-3351	昭和22.5.1	
阿寒湖	085-0467	阿寒町阿寒湖温泉6丁目4番1号	67-2529	昭和22.5.1	
音別	088-0116	音別町中園2丁目2番地	01547-6-2049	昭和22.5.3	

4-2 高等学校

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	備考
北陽	085-0814	緑ヶ岡1丁目11番8号	41-4401	昭和32.4.1	

5 閉校・統合された市内中学校一覧(平成年代以降)

学 校 名	所 在 地	開校年月日	閉校年月日	備 考
(音 別 地 区)				
二俣	音別原野基線151-2	昭和22.5.3	平成8.3.22	音別中へ統合
(阿 寒 地 区)				
布伏内	布伏内富吉町	昭和35.9	平成12.3.19	阿寒中へ統合
仁々志別	仁々志別32線89	昭和22.4.1	平成12.3.31	阿寒中へ統合
阿寒湖	阿寒湖温泉6-4-1	昭和22.5.13	令和3.3.31	阿寒小と統合義務教育学校へ
(釧 路 地 区)				
弥生	弥生1-4-12	昭和22.5.1	平成16.3.31	幣舞中へ統合
東	春湖台1-3	昭和22.5.1	平成16.3.31	幣舞中へ統合
緑陵	緑ヶ岡6-9-42	昭和36.4.6	平成16.3.31	青陵中へ統合
武佐	武佐5-9-1	昭和57.4.1	平成16.3.31	青陵中へ統合
附属釧路	桜ヶ岡7-12-2	昭和44.4.1	令和3.3.31	附属小と統合義務教育学校へ

6 市内の大学、高専、小・中・高等学校・特殊学校(市立小・中・高校を除く)

(令和3年度 教育要覧より転記)

種別	設置者別	学校名	所在地	電話番号	開校年月日
大学	国立	北海道教育大学釧路校	〒085-8580 城山1-15-55	44-3205	昭和24.5.31
大学	公立	釧路公立大学	〒085-8585 芦野4-1-1	37-3211	昭和63.4.14
短大	私立	釧路短期大学	〒085-0814 緑ヶ岡1-10-42	41-0131	昭和39.4.1
高専	国立	釧路工業高等専門学校	〒084-0916 大楽毛西2-32-1	57-8041	昭和40.4.24
高校	道立	北海道釧路湖陵高等学校	〒085-0814 緑ヶ岡3-1-31	43-3131	㊤ 大正2.4.1 ㊦ 大正12.4.1
高校	〃	北海道釧路江南高等学校	〒085-0051 光陽町24-17	22-7987	大正8.4.1
高校	〃	北海道釧路商業高等学校	〒084-0910 昭和中央5-10-1	52-3331	昭和28.4.1
高校	〃	北海道釧路工業高等学校	〒085-0821 鶴ヶ岱3-5-1	41-1285	㊤ 昭和14.4.1 ㊦ 昭和38.4.1
高校	〃	北海道釧路明輝高等学校	〒085-0057 愛国西1-38-7	36-5001	平成19.4.1
高校	〃	北海道阿寒高等学校	〒085-0213 阿寒町仲町2-7-1	66-3333	昭和26.2.9
高校	私立	武修館高等学校	〒085-0806 武佐5-9-1	47-3211	昭和39.4.1
中学校	〃	武修館中学校	〒085-0806 武佐5-9-1	47-3220	平成17.4.1
小学校	国立	北海道教育大学 附属釧路義務教育学校 前期課程	〒085-0805 桜ヶ岡7-12-48	91-6322	昭和43.4.1
中学校	〃	北海道教育大学 附属釧路義務教育学校 後期課程	〒085-0805 桜ヶ岡7-12-2	91-6857	昭和44.4.1
特別支援	道立	北海道釧路鶴野支援学校	〒084-0924 鶴野58-92	57-9011	平成26.4.1
特別支援	〃	北海道釧路養護学校	〒085-0054 暁町11-1	24-7827	昭和54.4.1

7 閉校・統合された高等学校・大学等一覧(平成年代以降)

設置者別	学 校 名	所 在 地	開校年月日	閉校年月日	備 考
市 立	釧路市立星園高等学校 (釧路市立高等家政学院)	武佐4-28-10	昭和25.4.13	平成21.3.31	明輝高校に統合
道 立	北海道釧路北高等学校	愛国西1-38-7	昭和55.4.1	平成21.3.31	明輝高校に統合
道 立	北海道釧路西高等学校	鶴野58-92	昭和58.4.1	平成21.3.31	明輝高校に統合
道 立	北海道聾学校	城山2-4-22	昭和23.7.8	平成26.3.31	

8 専修学校

(令和3年度 教育要覧より転記)

設置者別	学 校 名	所 在 地	電話番号	修業年数
市 立	釧路市立高等看護学院	〒085-0822 春湖台1-18	42-1302	3年
私 立	くしろせんもん学校	〒084-0910 昭和中央2-7-3	51-3195	2年
〃	釧路商科専門学校	〒085-0048 駒場町3-35	22-3337	3年
〃	釧路労災看護専門学校	〒085-0052 中園町13-38	25-9817	3年
〃	釧路理容美容専門学校	〒085-0826 城山1-6-10	41-2295	2年
〃	釧路市医師会看護専門学校	〒085-0834 弥生1-4-12	44-7766	3年
〃	釧路孝仁会看護専門学校	〒085-0062 愛国191-212	39-1230	3年

※休校中は除く

編集後記

- 釧路市ではこれまで「新釧路市史年表」「釧路市年表稿」「新修釧路市史総合的年表」「釧路市統合年表」と空白が生まれないように年表を発刊してきたが、平成18年発刊の「釧路市統合年表」以降は空白となっていた。釧路市の出来事をまとめた年表の発刊を待ち望む市民の声も寄せられる中、この度、空白期間の出来事をまとめた「釧路市平成年表」を発刊することができた。
- 「釧路市平成年表」は、釧路市民の要望に応え、釧路市年表の空白期間を早期に埋めることを最優先に考えて作成したものである。内容に関しては釧路市地域史料調査研究専門委員の皆様を検討いただき精査を重ねてきたが、内容の誤認等についてはご指摘いただきたいと考えている。
- さて、本年表は次の基本的な考えに基づき作成した。
- 1 学術的な価値よりも一般性を重視した
 - 2 釧路市統合年表の内容や表記を踏襲した
 - 3 多様な市民のニーズに対応できるよう、多様なジャンルの出来事を取り上げた
- この年表が、今後編さんが望まれる自治体史のための基礎資料となれば幸いである。また、釧路市の歴史に興味を持つ人々によって、市政、経済、社会、文化芸術、スポーツなどのジャンルごとに内容がより精査され、市民でつくる釧路市年表としてパワーアップすることを願っている。
- 最後に、本年表作成上の課題解決に向けて貴重な助言等の協力をいただいた釧路市地域史料調査研究専門委員の皆様、快く写真資料を提供いただいた皆様、作成にご協力いただいた皆様に心より感謝の意を表する。

釧路市平成年表

2023(令和5)年3月 発行

編集 釧路市教育委員会
協力 釧路市地域史料調査研究専門委員会
・小田島本有 ・河邊由記子 ・齋藤愛美 ・酒井多加志
・佐藤宥紹 ・柴田哲郎 ・宮下弘美
発行 釧路市教育委員会
〒085-0016 北海道釧路市錦町2-4
釧路フィッシャーマンズワーフMOO 4F
電話 0154-31-4579 FAX 0154-22-9096
印刷 藤田印刷株式会社



令和5年3月発行